

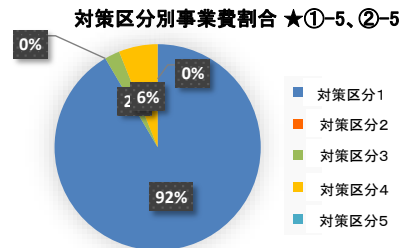
津 市

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧及び令和6年度版森林・林業統計書による）

市町名	市町名	三重県
人口（人）	265,115	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	11.3%	11.6%
森林面積(ha)	41,532.42	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	40,791.91	348,561.87
森林率(%)	58.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	7.9	10.6

- ＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	1	津市林地残材搬出促進事業	24,028,100	24,028,100	24,028,100				
2	3	夏休み森と緑の親子塾開催事業	257,400	257,400			257,400		
3	3	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業	124,096	124,096			124,096		
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	242,000	242,000			242,000		
5	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	886,600	886,600				886,600	
6	4	保育施設における木育環境整備事業	715,000	715,000				715,000	
計			26,253,196	26,253,196	24,028,100	0	623,496	1,601,600	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	27.26ha	19,074,000	19,070,000	特定水源地域の森林の調整伐
災害からライフラインを守る事前伐採事業	伐採220本	10,085,622	5,042,811	ライフラインを寸断する恐れのある立木の伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	・本市の森林面積は、総面積711km²の58.4%にあたる415km²を占めており、人工林率は82%と古くからスギ、ヒノキの造林が盛んに行われている森林が多い。一方で、高速道路や鉄道、海上アクセスなど交通インフラ、大学や短期大学など高等教育機関、大学病院等の医療機関など県都として都市機能が集積されていることから、流域の上流のみならず、下流の市民の方々も森林の恩恵を受けている。 ・上流から下流の市民の生命と財産を守るため、森林に対して直接県民税を投じて災害に強い森林づくりを図るとともに、下流域の市民の方々にターゲットとした森林環境教育事業、木育環境整備事業等を併せて進めていく。
事業実施により期待される効果	・林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が期待できる。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。 ・直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。 ・木育ができる環境整備を行い、木に触れあっていただくことで、木のぬくもりや質感を感じ、木づかいに興味関心を持ってもらう機会となった。
情報発信への取組	・事業実施箇所については、県民税のぼり旗により啓発を行った。 ・県民税の活用についてホームページや広報誌等に掲載した。 ・森林環境教育の参加者の募集方法として、「夏休み森と緑の親子塾」「まると林業体験」は広報津やLINE配信を活用し、広く募集に関する周知を図った。 ・アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。 ・市町交付金事業のパネルやポスターを庁舎内に掲示し、PRを行った。

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	0	0

令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	林地残材搬出促進事業				
事 業 費	24,028,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			24,028,100		

1. 事業の目的

間伐等で発生する林地残材等が豪雨時に河川を閉塞させる流木の発生原因となることを防ぐため、採算の合いにくい林地からの搬出・運搬に関し、間伐施業地から山土場、山土場からチップ工場への搬出経費を支援することにより林地残材の減少を図り、河川等へ流出を防ぐことで流木を出さない災害に強い森林づくりを進める。

また、搬出された林地残材については、津市バイオマス産業都市構想に位置付けられている木質バイオマス事業へ有効活用し、再生可能エネルギーの推進を図る。

2. 事業の実績

【事業内容】

間伐施業地から山土場まで、及び、山土場からチップ工場までの搬出経費の一部を支援する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

津市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者12者

【実施箇所及び箇所数】

中勢森林組合 津市美杉町下之川ほか

大河内林産 津市美杉町奥津地内

woodjob(株) 津市美杉町川上地内ほか

【事業量】

林地残材搬出量 3,952.00 t 中勢森林組合 3,500.00 t

大河内林産 250.00 t

woodjob(株) 202.00 t

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	その他	定額補助	間伐施業地→山土場 上限5,120円/ t 山土場→チップ工場 上限960円/ t	津市内の木質バイオマス発電証明 ガイドライン認定事業者12者

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

間伐材を適正に仕分け及び証明等を行うことができる、木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者を補助対象者としている。

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	林地残材搬出促進事業				
事 業 費	24,028,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			24,028,100		

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

林地残材の減少を図ることにより、河川等に林地残材が流出する危険性が減少し、また、認定事業者や森林所有者の山をきれいにしようとする意識の向上が期待できる。併せて、放置された間伐材等の林地残材の有効利用が図られるとともに、再生可能エネルギーの利用が促進される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

流木を出さない災害に強い森林づくりが目的であるため、事業者には可能な限り、河川や沢に近い箇所を重点的に搬出するようお願いしている。

【新たな対策・視点及び改善点】

より一層多くの業者が本事業に取り組むよう、ホームページやチラシを作成し、事業の周知に努める。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	森林所有者及び下流域の住民
期待する波及効果	林地残材を搬出して整理することにより巡視等が行いやすくなり、森林管理の意欲向上に繋がることが期待できる。このことにより、将来的に森林の有する多面的機能の発揮を促すことができる。

【公的関与の必要性】

林内に残される林地残材を放置することにより想定される林野災害を防止するためには、事業負担の軽減を図る必要があり、地域住民の不安解消という観点においても非常に重要な取り組みである。

また、津市バイマス都市構想におけるバイマスエネルギー原料として有効活用している。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

規制は設けていないが、森林所有者が引き続き適切な管理を行う。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・中・後	県民税の活用及び事業内容について掲載
のぼり設置	実施中	林地残材を搬出している現場に設置した。
パネル展示	実施前・中・後	庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置した。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

森林所有者や事業者から、本事業を行ったことで山がきれいになった、災害を防ぐ為に続けていく必要がある、との意見をいただいている。

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	----	---------	----

事業名	林地残材搬出促進事業
-----	------------

6(1). 写真



写真1

林地残材除去後の森林



写真2

林地残材除去後の森林



写真3

林地残材集積状況

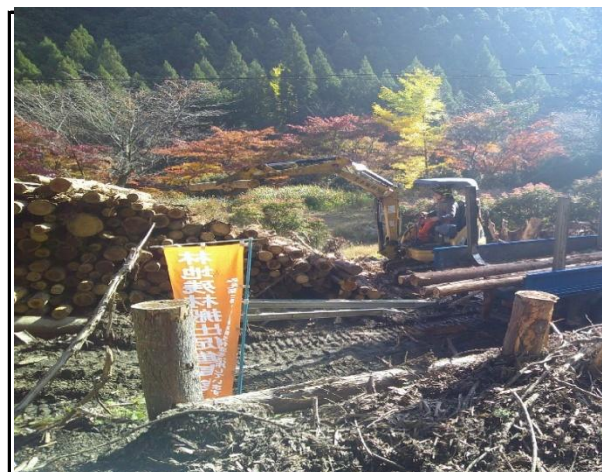


写真4

林地残材の積込状況



写真5

林地残材の搬入状況（チップ工場）



写真6

林地残材の搬入状況（チップ工場）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	----	---------	----

6(2).補助事業者取組一覽

- 217 -

第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	----	---------	----

事業名	津市 森と緑の県民税市町交付金事業
-----	-------------------

6(3).その他

添付資料参照

・県民税ホームページ（1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり 他）

https://www.info.city.tsu.mie.jp/sangyou_shigoto/nourinsuisangyou/1004254/1004256.html

みえ森と緑の県民税

ページ番号1004256 更新日 2026年5月12日

近年の木材価格の低迷などにより採算性の悪化、森林所有者の経営意欲の減退を招き、手入れがされない人工林が増加し、森林の有する多面的機能が十分に発揮されない恐れがあります。一方で、近年は集中豪雨が多発している状況になっています。

そのため、土砂や流木の発生を抑制する災害に強い森林と、そのような森林づくりを県民全体で支える施策として、平成26年4月より「みえ森と緑の県民税」が導入されました。

みえ森と緑の県民税は2つの基本方針に沿って5つの対策を展開しています。

基本方針1 災害に強い森林づくり

防災・減災の観点から整備の急がれる森林について、土砂災害防止機能等を高めるために必要な対策を講じ、災害に強い森林を実現します。

1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり

土砂や流木によって人家や公共施設などに被害が及ばないように、洪水緩和や土砂災害防止機能等の森林の働きを発揮させるために、必要な対策を進めます。

2. 暮らしに身近な森林づくり

生活環境の保全や向上のため、県民の暮らしに関わりの深い森林について必要な対策を進めます。

基本方針2 県民全体で森林を支える社会づくり

住民による森林づくり活動への参加の機会や木と触れ合う機会の提供を進めるとともに、都市空間や生活空間に緑や木材を積極的に取り入れるなど、県民全体で森林を支える社会づくりを進めます。

3. 森を育む人づくり

災害に強い森林づくりを将来に引き継ぎ、また森林や緑を大切に思い、育む人づくりのため、森林環境教育や木育に携わる人材の育成や、教育活動を進めます。

4. 森と人をつなぐ学びの場づくり

未就学児や児童、生徒をはじめ、様々な県民に森林や木材について学び・ふれあう場を提供し、森と県民との関係を深める対策を進めます。

5. 地域に身近な水や緑の環境づくり

地域の身近な水や緑の環境づくりを進めるため、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性を保全する活動支援や、森林や緑と親しむための環境整備など、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深める対策を進めます。

詳しくは、三重県ホームページ(外部リンク)をご覧ください。

[三重県ホームページ\(外部リンク\)](#) 

市町交付金事業

市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開しています。

令和7年度の取り組み

土砂や流木による被害を出さない森林づくり

流域防災機能強化対策事業

土壌浸食のおそれがある溪流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促すため間伐を実施しました。





林地残材搬出促進事業

間伐等で発生する林地残材等について、再生可能エネルギーである木質バイオマスエネルギー利用を図るため林地からの搬出・運搬に関し、間伐施業地から山土場、山土場からチップ工場への搬出経費を支援することで、森林所有者・林業事業者への意識啓発、取組拡大、利用量の増加を図りました。また、林地残材の減少を図り、河川等への流出を防ぐことで流木を出さない森林づくりを行いました。



暮らしに身近な森林づくり

災害からライフラインを守る事前伐採事業

ライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行ったことで、台風等が発生する倒木による配電線の断線に伴う停電に対して、未然に防止策を講じました。



森を育む人づくり

夏休み森と緑の親子塾開催事業

小学生の親子を対象に木工体験や丸太切り体験、皮むき体験を行い、木に触れ合う機会を提供しました。





パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業

森と木の体験広場

丸太切り体験とコースターづくり、木製遊具の設置など、お子さんを中心に直接木の香りや肌ざわりを体感していただきました。



まるごと林業体験

高性能林業機械を使用した搬出間伐の現場見学、木工体験等により、参加者は林業について体験し、あわせて森林整備について理解していただきました。



美里水源の森「林業体験」事業（美里総合支所地域振興課）

平成26年度から平成30年度にかけて市町交付金を活用して整備した美里水源の森をフィールドとして、自然に親しむ市民の憩いの場、青少年の自然・環境体験学習の場として、市内在学の小学生を対象に林業体験（きのこ作り体験、木工体験）を実施しました。



森と人をつなぐ学びの場づくり

子育て支援センターにおける木育環境整備事業

たるみ子育て支援センターに木製ボールプール1基と木製ボールプール1,600個を導入し、0歳から就園前の子どもと保護者が木のぬくもりや質感を学べる場を整備しました。



保育施設における木育環境整備事業

安濃保育園の遊戯室の腰壁材に県産材を活用し、子どもたちが木材に触れる場を提供しました。



令和8年度の計画

土砂や流木による被害を出さない森林づくり

- ・ 流域防災機能強化対策事業
- ・ 林地残材搬出促進事業

暮らしに身近な森林づくり

災害からライフラインを守る事前伐採事業

森を育む人づくり

- ・ 森林環境教育事業(夏休み森と緑の親子塾)
- ・ パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業

森と人をつなぐ学びの場づくり

- ・ 子育て支援センターにおける木育環境整備事業
- ・ 保育施設における木育環境整備事業

このページに関するお問い合わせ

農林水産部 林業振興室 林業振興担当
〒515-2603三重県津市白山町川口892 白山庁舎2階
電話:059-262-7025 ファクス:059-264-1000
お問い合わせは専用フォームをご利用ください。

令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	夏休み森と緑の親子塾開催事業				
事 業 費	257,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			257,400		

1. 事業の目的

市内在住・在学の小学生と保護者を対象に、森林や木材について学び、ふれあう場を提供して、木のぬくもりや良さを知ってもらう。

2. 事業の実績

【事業内容】

木工体験（時計・本立て等）、森林に関する座学、林業体験（丸太切り体験・丸太皮むき体験）

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

三重県木材業者・製材業者会員名簿かつ津市競争入札参加資格者名簿に登録されている業者

【実施個所及び箇所数】

場所：津市木材処理加工施設（津市美杉町上多気地内）

【事業量】

年1回 こどもとその保護者60名が参加

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

三重県木材業者・製材業者会員名簿かつ津市競争入札参加資格者名簿に登録されている業者

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	夏休み森と緑の親子塾開催事業				
事 業 費	257,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			257,400		

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

参加者が森林環境教育を通じて、森林・林業に興味を持ち理解を深めることで、将来的に森林を支える一員として寄与することが期待される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

委託先から、林業に携わっているスタッフにも従事してもらい、木の道具の良い使い方や現場の話を作業をしながら聞くことが出来るようにした。県民税のノベルティや冊子を活用して、座学を設けることで津市の山林や林業について親子で聞いて知ってもらう機会を設けた。

【新たな対策・視点及び改善点】

アンケートの回答を参考に、来年度の事業に取り入れることができるのか検討し、内容や進行過程を改善していく。座学の内容を小学生向けにわかりやすく、聞いてもらう工夫をしていく。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	市内の小学生及び保護者
期待する波及効果	イベントの内容や県民税パンフレットを共有することで、友人、家族にも森林への関心を持ってもらう機会が増えることが考えられる。

【公的関与の必要性】

学校教育だけでなく森林教育として林業事業体と連携し、次世代の子ども達や保護者に津市の森林・林業について、知ってもらうために必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

規制等は設けていない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	実施箇所に設置する。
広報誌掲載	実施前	「広報つ」に県民税の活用及び募集案内を掲載する。
HP掲載	実施前・後	県民税の活用事業、募集案内、実施報告を掲載する。
アンケート実施	実施後	参加者アンケートを実施する。
パネル展示	実施中	サポートセンターからパネルを借り、会場に展示する。
啓発物品配布	実施中	クリアファイル、リーフレット、副読本を配布し、座学に用いた。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

参加した小学生は、「もっと作りたい、木を切りたい」と大いに興味を示していた。また、切った木材を活用して、オリジナリティのある作品も作っている小学生もいた。

保護者は、「街中に住んでいると、木に触れる機会がなくて貴重な体験」、「県民税を利用して、いろんな事業がされているんですね」と県民税事業を知ってもらう機会となった。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	夏休み森と緑の親子塾開催事業
-----	----------------

6(1). 写真



写真1

令和7年度親子塾 集合写真



写真2

木工体験



写真3

木工体験



写真4

木工体験



写真5

座学



写真6

座学

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	夏休み森と緑の親子塾開催事業
-----	----------------

6(1). 写真



写真1
県民税パネルの設置



写真2
丸太切り体験



写真3
丸太切り体験



写真4
丸太の皮むき体験



写真5
丸太の皮むき体験



写真6
参加者配布物

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	夏休み森と緑の親子塾開催事業
-----	----------------

6(3).その他

添付資料参照

・ 開催前 チラシ

・ 開催前 津市広報記事

・ 開催後 アンケート結果

・ 開催後 ホームページ

https://www.info.city.tsu.mie.jp/sangyou_shigoto/nourinsuisangyou/1004254/1004257.html



夏休み森と緑の親子塾のご案内



【開催日時】 令和7年8月24日（日）午前10時～午後3時頃
午前9時30分から受付開始

【場所】 津市美杉町上多気267番地付近（道の駅「美杉」となり）
津市木材処理加工施設

【スケジュール】

◇ 9:30 受付

◇ 10:00 開会

◇ 10:10 木工細工

木工品については、受付の際に先着順で選んでいただきます
マガジンラック、本立て、時計の3種類です。

◇ 12:00 昼休み

◇ 13:00 座学（森林についてのお話）

◇ 13:15 林業体験（丸太切り、皮むき体験）

◇ 15:00 閉会

【持ち物】

- ☐ 昼食、飲み物、タオル、帽子
- ☐ レジャーシート、着替え等
- ☐ 保険証のコピー、暑さ対策グッズ
- ☐ 虫よけスプレー

【注意事項】

- 服装は作業しやすく汚れても良いもの、靴は運動靴等足の甲や指先をカバーできるものでお願いします（危険防止のためサンダル履等はNG）。
- 熱中症予防のため、こまめな水分補給と休憩をとってください。
- 当日は椅子がありませんので、レジャーシートや折りたたみ椅子をご持参いただきますよう、お願いいたします。
- 実施内容は、諸事情により変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

津市役所 農林水産部 林業振興室
住所 津市白山町川口892
電話 059-262-7025

この催しは
**みえ森と緑の県民税
市町交付金**
を活用しています



8月23日（土）～24日（日）の緊急連絡先 080-1577-4637

（案内地図が裏面にあります）

【会場までの案内】

住所：津市美杉町上多気267番地 道の駅「美杉」のとなり



夏休み森と緑の親子塾 開催会場の変更について

夏休み森と緑の親子塾にご参加いただきありがとうございます。
大変申し訳ありませんが、平成29年8月6日(日)にご来場される
皆さまに、より快適にご参加いただくために開催会場を変更させて
いただきます。

ご迷惑をおかけしますが、ご了承いただきますようお願いいたします。

開催場所: 津市美杉町上多気267番地 道の駅美杉 内
美杉の家建設 木材加工処理施設



お問い合わせ先: 津市 農林水産部 林業振興室

電話番号: 059-262-7025

8/5(土)~6(日)の緊急連絡先: 080-1577-4645

Let's unite

つながるつながるつながる

7

2025

広報津

No.463

Tsu City Public Relations

広報

つ!



Pick up

03 政策広報

命の道を切り開く！

災害時の受援・救急ルートを確認

08 特集

津の夏を楽しむイベント＆スポット
なつが好き！

14 7月15日～8月15日は
平和を考える月間

18 子育て応援ナビ

あのう「光れ!しかけ花火」祭り

安濃総合支所地域振興課 ☎268-5511 ☎268-3357

しかけ花火や打ち上げ花火が、盆踊りや夜店にぎわう会場に花を添えます。

なお、本祭は今年をもって終了することになりました。最後を飾る花火が安濃の夜空を彩りますので、ぜひご来場ください。

時 8月15日(金)18時〜21時
※荒天中止、順延なし

所 安濃中央総合公園内
多目的グラウンド



夏休み親子水道教室

上下水道管理課 ☎237-5811 ☎237-5819

施設の見学や実験を通して、水道水ができるまでを学びましょう。

時 7月30日(水)9時30分〜15時30分

所 片田浄水場ほか

対 市内に在住・在学の小学4年生と保護者

定 抽選24組48人

¥500円/組

申 二次元コードから、または、はがきで住所、参加者全員の氏名(ふりがな)、学校名、電話番号を、上下水道管理課(〒514-0073 殿村5)へ

締 7月5日(火)

FINAL

夏休み森と緑の親子塾

林業振興室 ☎262-7025 ☎264-1000

木の皮むき・丸太切りなどの林業体験や、木工作品作りに挑戦しよう!

時 8月24日(日)10時〜15時

所 木材処理加工施設(道の駅美杉隣)

対 市内に在住・在学の小学生と保護者

定 抽選20組(1組3人まで)

持 昼食、飲み物、タオル、暑さ対策グッズ、レジャーシート、健康保険証など

申 二次元コードから、またはファクス、Eメールで、住所、参加者全員の氏名、学校名・学年、電話番号を、林業振興室(☎262-7025@city.tsu.lg.jp)へ

締 7月31日(木)必着



夏休み小学生消防士体験

北消防署 ☎232-13092 ☎232-19425

応急手当や放水体験、消防車の見学など消防のことを学ぶ。夏休みの自由研究にもぴったり!

時 8月9日(土)・10日(日)8時30分〜12時

所 北消防署

対 市内に在住・在学の小学4〜6年生

定 各先着10人

申 7月1日(火)〜14日(月)に電話で北消防署へ

ビーチバレーin御殿場

観光振興課 ☎229-13234 ☎229-13335

夏の津の海恒例!第28回ビーチバレーin御殿場2025の参加チームを募集します。熱戦・接戦を制して、優勝賞品の松阪肉を目指そう。

時 8月17日(日)9時〜

所 御殿場海岸



令和7年度 夏休み森と緑の親子塾アンケート回答集約

回収 39名/60名

Q1「木工細工」はどうでしたか？

よかった	33 人
ふつう	6 人
よくなかった	0 人
無回答	0 人

Q2(木工細工)何がよかった(よくなかった)ですか？

別紙のとおり

Q3「林業体験」はどうでしたか？

よかった	34 人
ふつう	3 人
よくなかった	1 人
無回答	1 人

Q4(林業体験)何がよかった(よくなかった)ですか？

別紙のとおり

Q5「森林の役割や林業」について、理解できましたか？

わかった	28 人
なんとなく	10 人
わからなかった	0 人
無回答	1 人

Q6木やそのはたらきについて、もっと知りたい、学びたいと思いますか？

おもう	30 人
なんとなく	7 人
おもわない	1 人
無回答	1 人

Q7.「森林や林業」をテーマとして、どんな体験や学習をしたいと思いますか？

別紙のとおり

Q8. その他にご意見がありましたらお願いします。

別紙のとおり

2. 何がよかった(よくなかった)ですか？(木工細工)

※記載されていたことをそのまま記載

番号	理 由
1	ある程度、道具もやり方も分かりやすく、助かりました
2	焼き杉、実さいにバーナーを使って出来ていい経験になった
3	ドラえものの時計がかわいく出来て良かった
4	本立てを作りました。丁度良い工程で、子供も楽しみながら取り組みました。
5	自分で好きな物を作るのがたのしかったです
6	時計つくれたから楽しかった
7	夏休みの良い体験ができた
8	事前の作り方の説明がなかったのが不安でしたが、子供達にとっては早速作業にとりかかるので、楽しかったようです。親も勉強になりました。
9	
10	
11	子供たちが考えて道具を使ったり、自分のアイデアで製作できたのが良かったです
12	木目のきれいさを感じられた。作る大きさがわかった
13	やったことがないことができた
14	じかんをかけてたのしめる
15	プラスチックなどゴミにならない木をつかえたから
16	手頃な作品だったので、子供が熱中していた
17	くぎうちができたのが楽しかったです
18	普段の図工とかでは木では工作できないけど、今日は木をつかえたのでたのしかったです。しんせつにいていねいにおしえてもらえたので、本だなができました。ありがとうございます
19	しっかりしたラックが作れてよかったです。サポートしてもらえてありがたかったです
20	彫刻刀を初めて使ったこと
21	作品を作ったりするところでそうぞう力があるのでよかったです
22	
23	もう少しふくざつなものをづくりたかった
24	もうすこしむずかしくてもよかったかも
25	自分の好きなように木をけずれらるのがよかった
26	とても楽しく色々な想像力がきたえられました
27	最初に端材が置いてあるので、好きな物を作ってくださいとご説明頂いたのが良かったです。何年前か、年長だった下の子を連れて参加しましたが、お姉ちゃん達がつけているのに、できる事がなくてかわいそうだったので
28	
29	時計がつくれた。よかった。焼き杉の体験もでき嬉しかった
30	自分なりの作りかたを考えて作っていた(子どもが)
31	
32	部品も道具もそろっていたところ
33	木を作った工作をさせてあげる機会がなかったので(今まで)とてもよい経験になりました
34	切断など危ないことも事前にして頂いて子供たちが安全にできた
35	端材や細工セット等、自由に作れたのが良かった
36	自由につくれる所
37	くぎをうててよかった
38	とけいの作り方を知れよかった
39	普段、鍵や金槌を使ってダイナミックに工作させてあげることはできないので、良き体験でした。学校でも低学年のうちはハサミやノリの工作なので高学年時の工作に繋がったりするのではないかな。うまく行かない時は、またくぎをぬいてやり直したりトライアンドエラーを繰り返しながらできたことは根気強くなったかと思う。最後はスタミナと集中が切れてしまったけど、完成できてよかった

4. 何がよかった(よくなかった)ですか？(林業体験)

※記載されていたことをそのまま記載

番号	意見
1	木の皮むく体験
2	木の皮むく体験
3	木の皮むく体験
4	木材を切るのがこんなに大変だとは…。林業のすごさを感じました。
5	自分の力で、できたのがよかったです
6	まるた切りが楽しかった
7	普段できないまるた体験等できてよかった
8	皮はぎも、丸太切りも普段は出来ない体験でした。貴重な機会を提供して下さいありがとうございます
9	
10	つかれたからよくなかった
11	子供たちが考えて道具を使ったり、自分のアイデアで製作できたのが良かったです
12	切るのもむくのも良かった
13	切るのがよかった
14	木をきったことがなかったからたいけんできたところ
15	木をもらえて何かつくろうと思ったから
16	丸太切りが凄く楽しいを言っていたので
17	皮はぐとときに、シャリシャリとした手ごたえが気持ちよかったです
18	丸太切りのかたいところと切りやすいところがあった。どちらもがんばってのこぎりで切れて良かったです。
19	
20	木の皮はぎ
21	もし木を切るときなどにひつようでよかった
22	
23	まるたがきりごたえがあった
24	かわむきおもしろい
25	木のかわがするするむけて楽しかった
26	丸太切り、皮むき、森林のお話など、親子どちらも知らないことを一緒に体験できたこと
27	組合員の方々が、時々ていねいに教えてくれたり、手伝って頂いたので、助かりました。
28	
29	力がいっぱいあった
30	皮むきはする機会がないので、良い経験だった
31	
32	家ではできない体験
33	実際に体験して、いかに大変か分かった
34	
35	丸太切り
36	サポートが良かった
37	木ざいとふれあえてよかった
38	たのしかった
39	普段はすることができない皮剥きや丸太斬りの体験ができてよかった。体をうまく使えばうまく力が伝わり木が切りやすいこともわかったのではないと思う

7.「森林や林業」をテーマとして、どんな体験や学習をしたいですか？

※記載されていたことをそのまま記載

番号	意見
1	木工細工
2	木工細工
3	木工細工
4	実際に森林で「木」を見ながら学習したいです
5	木がそだつところを学習したいです
6	木をさわる体験したいです(はえている木)
7	
8	
9	
10	ありません
11	木の種類について何によく使われているかなど
12	実際の森林に行く
13	森たんけん
14	森をあるいてしぜんをかんじる。
15	現在木をどういうふうに切っているのか
16	雑木森の役割について、又森林と美杉村の文化的なかわりについて
17	またたくさん工作をしたり、大工さんや林業の方の仕事を見たりしたいです
18	
19	イスを作ってみたい
20	
21	中学生になっても参加できる上の工作教室
22	
23	もう少し大きな木工体験
24	
25	えだうちがやってみたい
26	丸太の重さ予想や木の違い(スギ、ヒノキ、ケヤキ)をみてさわってににおいも感じられる体験
27	
28	自然をつかったキャンプをしたい
29	森からでてきた水についてしりたい
30	ばっさいなど水害などの天災などと関わりがあるなど身近な生活とつなげた内容だとわかりやすいと思った。
31	伐採体験
32	木造建築の仕組み
33	実際に森に入り、間引きなどを体験(見学)してみたい。ニスのぬり方、木の応用方法について知れたらうれしい
34	
35	DIYや、子供向けの造作体験
36	苗植え体験
37	思うことはない
38	木をたてに切って見たいです
39	森林が川谷海にもたらす影響

8. その他に意見

※記載されていたことをそのまま記載

番号	意見
1	
2	
3	
4	大阪から三重に移住してきました。三重の自然尾豊かさは本当にステキだと思います。貴重な体験をありがとうございました！
5	もっと気でさく品をつくりたいです
6	
7	
8	
9	物への気持ちがかわってくると思う
10	ない
11	ありがとうございました
12	
13	
14	ない
15	
16	
17	
18	
19	職人さんに教えてもらえて貴重な体験できてよかったです
20	ありがとうございました
21	
22	
23	
24	
25	
26	とても良い体験させていただきありがとうございました。海の近くに住んでいるせいか、山や森林について考える機会が少なく、本当に楽しく新しく色々と学べました
27	
28	特になし
29	全体的に子どもにつく大人(教えてくれる人)がだれかわかりにくく、勝手にすすめるような感じがしたのでもう少しいいについて教えてもらえると小学生にはいいと思いました
30	
31	
32	
33	木工細工はもう少しやり方を積極的に教えて頂けるとありがたかったかもです
34	
35	とても楽しく貴重な経験になりました。ありがとうございました
36	ありがとうございました
37	もっといろんなものをつくりたい
38	
39	良い体験だと思います。夏季休暇に限らず、このような学校単位でも体験できるとより嬉しいかもしれません

夏休み森と緑の親子塾を開催しました！

ポスト

いいね！ 0

印刷用ページを表示する

登録日：2025年10月14日

令和7年8月24日に津市美杉町上多気地内の津市木材処理加工施設で、令和7年度夏休み森と緑の親子塾を開催しました。次世代を担う子どもたちや保護者の皆さんが、直接木に触れる体験をすることにより、木が持つぬくもりや、森の良さを知ってもらい、森林への興味や関心を持っていただくことを目的としています。

当日は、60人の皆さんにご参加頂きました！



木工細工

美杉町のスギ材を利用して、釘や彫刻刀などを使用しながら、マガジンラック、木製掛時計、本立てを作成しました。

保護者と協力しながら、一生懸命に釘を打ち込んだり、彫刻刀で木を削ったりして、木を細工する楽しさや、材の肌触りや手応えを感じていただけました。





森林環境学習

森林の役割や林業について、パネルの展示と冊子を利用しながら座学を行いました。



丸太切り体験、皮むき体験

午後は丸太切り体験と皮むき体験を行いました。

丸太切りや皮むきは、大人が作業してもかなり労力を使う作業です。子供たちは、一生懸命に最後まで諦めずに作業をしていました。

その分、皮がむけた瞬間や、丸太が切れた瞬間の喜ぶ姿が印象に残りました。

猛暑日の開催となりましたが、皆さんには親子で楽しみながら、林業について学んでいただきました。



夏休み森と緑の親子塾は「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用しています。



このページに対するアンケートにお答えください

このページは見つけやすかったですか？

☐ 見つけやすかった ☐ どちらとも言えない ☐ 見つけにくかった

このページの内容はわかりやすかったですか？

☐ わかりやすかった ☐ どちらとも言えない ☐ わかりにくかった

このページの内容は参考になりましたか？

☐ 参考になった ☐ どちらとも言えない ☐ 参考にならなかった

アンケートを送信

このページに関するお問い合わせ先

農林水産部 林業振興室
電話番号:059-262-7025
ファクス:059-264-1000

お問い合わせフォーム

前のページに戻る

ページの先頭へ

[著作権・免責事項](#)

[個人情報の取り扱い](#)

[アクセシビリティ](#)

[このホームページの使い方](#)

● 津市役所

〒514-8611 三重県津市西丸之内23番1号
(法人番号 7000020242012)

[各部・課の問い合わせ先はこちら](#) [庁舎へのアクセスはこちら](#)

開庁時間: 月曜日から金曜日の8時30分から17時15分まで
(ただし祝・休日、12月29日から1月3日を除く)

令和8年2月2日 月曜日から窓口受付時間を短縮します。
【変更後】8時45分から16時00分まで
短縮する窓口等詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

津市質問チャット

相談窓口

市政へのご意見・ご質問

リンク

総合支所

地域名をクリックすると、総合支所のページに移動します。



All Rights Reserved. Copyright © 2015 Tsu City. [各ページの記事、画像等の無断転載を禁じます]

令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業				
事 業 費	124,096 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			124,096		

1. 事業の目的

「カーボンニュートラルの実現に向けた森林の維持管理・保全及び活用の推進に関するパートナーシップ協定」に基づき、森林が持つ二酸化炭素吸収源としての公益性を啓発し、カーボンニュートラルの実現に資することを目的とする。

2. 事業の実績

【事業内容】

【森と木の体験広場（丸太切り体験、もりのクラフト）】津松菱で10月4日、5日の2日間開催

【まるごと林業体験（間伐体験、木工体験）】白山町内の森林で11月8日に開催

【津市農林水産まつりのブース（パネル展示）】丸之内商店街で11月2日に実施

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

津市、パートナーシップ協定締結者（1者）

【実施個所及び箇所数】

上記【事業内容】のとおり

【事業量】

【森と木の体験広場（丸太切り体験、もりのクラフト）】約845名の参加

【まるごと林業体験（間伐体験、木工体験）】6名の参加

【津市農林水産まつりのブース（パネル展示）】約200名の参加

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	その他	補助事業ではない		協定締結者（1者）

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

協定締結者

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業				
事 業 費	124,096 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			124,096		

4. 事業の効果・工夫						
【事業実施により期待される効果】 CO2吸収力の増加に繋がる森林の公益的機能に対する理解や森林の持つ多様な役割と、木材利用の重要性を理解していただくことが期待できる。イベントを通して、森と緑の県民税の存在や活用方法についても周知することができ、森林整備の必要性や重要性について理解してもらう機会となったと考えられる。 【効果を発揮させるための工夫・取組】 アンケートを実施し、森林の機能や県民税について市民の認知度やイベントの改善点等を集計することで、森林教育の質を高めるための参考としている。 【新たな対策・視点及び改善点】 津市だけのアイデアのみならず、パートナーシップ協定者のアイデアをふんだんに反映させることにより、参加者、来場者がより一層、森林や木材に興味を持つようなイベントにしていける。 【受益者及び、期待する波及効果】 <table border="1"> <tr> <td>受益者</td> <td>イベント参加者</td> </tr> <tr> <td>期待する波及効果</td> <td>イベントの内容や県民税パンフレットを共有することで、友人、家族にも森林への関心を持ってもらう機会が増えることが考えられる。</td> </tr> </table> 【公的関与の必要性】 学校教育だけでなく森林教育としてパートナーシップ協定締結者と連携し、次世代の子ども達や保護者に津市の森林・林業について、知ってもらうために必要である。 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 規制等は設けていない。			受益者	イベント参加者	期待する波及効果	イベントの内容や県民税パンフレットを共有することで、友人、家族にも森林への関心を持ってもらう機会が増えることが考えられる。
受益者	イベント参加者					
期待する波及効果	イベントの内容や県民税パンフレットを共有することで、友人、家族にも森林への関心を持ってもらう機会が増えることが考えられる。					
5. 情報発信						
【内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
のぼり設置	実施中	実施箇所に設置する。				
広報誌掲載	実施前	「広報つ」に募集案内を掲載する。				
アンケート実施	実施後	参加者アンケートを実施する。				
啓発物品配布	実施中	クリアファイル、リーフレット等を配布する。				
チラシ配布	実施前	イベントの開催に係るチラシを配布する。				
6. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
7. その他特記事項（受益者の反応等）						
「県民税を活用して、津市内の山林内でいろいろな事業があるんですね」「子どもが木に触れる機会がなかなかないので、いい体験になりました」など県民税の周知や森林環境教育に繋がった。						

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規・継続の別
------	-------------	-----	----	---------	---------

継続

事業名	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業
-----	------------------------

6(1). 写真 森と木の体験広場



写真1

会場（ピーク時）



写真2

会場



写真3

パネル展示



写真4

丸太切り体験



写真5

丸太切り体験



写真6

アンケート（紙回答とQRコード回答の併用）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業
-----	------------------------

6(1). 写真 森と木の体験広場



写真1
森のクラフト 材料

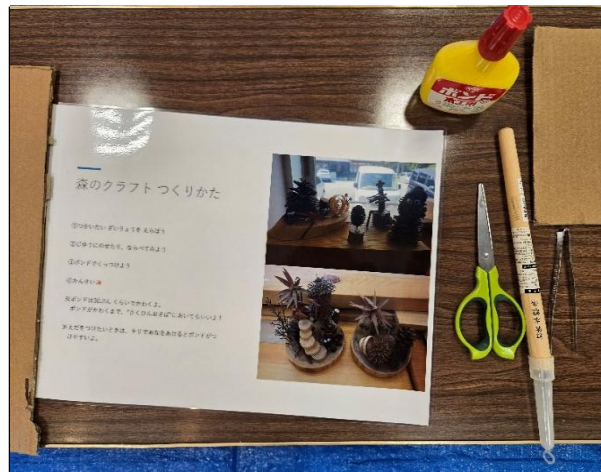


写真2
森のクラフト 道具等



写真3
森のクラフト



写真4
森のクラフト



写真5
森のクラフト 完成



写真6
森のクラフト 完成

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業
-----	------------------------

6(1). 写真 まるごと林業体験



写真1

現場説明



写真2

間伐現場見学



写真3

間伐現場見学



写真4

パネル展示



写真5

座学



写真6

木工作品づくり

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業
-----	------------------------

6(1). 写真 農林水産まつりブース



写真1

ブース



写真2

ブース



写真3

木工作品 完成



写真4

開催中のようす



写真5

木工作品づくり



写真6

木工作品づくり

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業
-----	------------------------

6(3).その他

添付資料参照

【森と木の体験広場】

- ・ 開催前 チラシ
- ・ 開催後 アンケート結果

【まるごと林業体験】

- ・ 開催前 参加者へのチラシ
- ・ 開催前 津市広報記事
- ・ 開催前 参加者募集（津市公式LINE配信）
- ・ 開催後 アンケート結果

【農林水産まつりのブース】

- ・ チラシ

森と木の体験広場

～木の香りと肌触りを体感しよう～ in松菱

10月4日(土)・5日(日) 松菱 6階/催事場 午前10時～午後4時30分

入場無料

◎共催：津市・中勢森林組合



参加費無料 小学生以下限定

木製遊具・木のおもちゃで遊ぼう
ボールプール・キッズスペースなど



参加費無料

親子参加OK!

森のきこり
変身コーナー

参加費無料

参加費無料 各日先着50名様

もりのクラフト(30～60分)

- 午前10時～(先着20名様)
- 午後1時～(先着30名様)



他にも顔出しパネルなど
設置してお待ちしております!!

参加費無料

先着順

丸太切り体験と
コースター作り
●受付:午前10時～



参加費無料

みて! さわって!
森のひみつコーナー

森のクイズや、
森林・林業に関する
パネル展示。

森のおしごと紹介

森林組合で働く人や
重機の動画を
スクリーンで紹介。

参加費無料

親子参加OK!

わたしの脱炭素アクション
撮影コーナー

脱炭素アクションを画用紙に
描いて、画用紙を持って撮影。

※脱炭素アクションとは、地球温暖化の原因となる
温室効果ガスの排出量を減らすための行動や取り組み。

この催しには一部「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用しています。

【お問い合わせ】
中勢森林組合 TEL.059-262-3020



MATSUBISHI

- 251 -

〒514-8580 津市東丸之内4-10
TEL.059-228-1311
営業時間:あさ10時～よる6時30分

令和7年度 森と木の体験広場in松菱アンケート回答集約

紙 36枚
Web 7回答

Q1:どこから来ましたか？

津市内	43 人
三重県内	0 人
県外	0 人
無回答	0 人

Q2:誰と参加しましたか

家族	37 人
知人	1 人
お一人で	5 人
無回答	0 人

Q3:年代は

10代未満	4 人
10代	0
20代	2 人
30代	23 人
40代	9 人
50代	2 人
60代以上	3 人

Q4:何に参加されましたか？

もりのクラフト	20 人	森のきこり変身コーナー	8 人
丸太切り体験	32 人	つ乃めぐみ顔出しパネル	4 人
木製コースター作り	27 人	わたしの脱炭素	8 人
キッズバイク・木製遊具	6 人	アクションコーナー	
森のおしごと紹介			

Q5:何がよかった(楽しかった)ですか？

別紙①のとおり

Q6:「パネル展示」は見ましたか？

見た	33 人
見ていない	7 人
気づかなかった	3 人
無回答	0 人

Q7:「森を育てる事や木を使うことが環境にも良いこと」がわかりましたか？

わかった	31 人
なんとなく	10 人
わからなかった	1 人
無回答	1 人

Q8:次回もまた参加したいと思いますか？

思う	38 人
なんとなく	5 人
思わない	0 人
無回答	0 人

Q8. その他にご意見がありましたらお願いします。

別紙②のとおり

森と木の体験広場in松菱 アンケート結果(別紙①)

4. 何がよかった(楽しかった)ですか？

番号	意見
1	丸太切りが楽しかった。
2	子どもが楽しく遊んでいる所を見れて良かった。
3	丸太切り。
4	森のクラフト、木のボールプール。
5	丸太。
6	丸太切りは子供が楽しんでました。
7	丸太切り。
8	木製コースター作り、キッズバイク。
9	クラフト、オモチャ。
10	コースターづくり。
11	木のプール子供が楽しんでいました。
12	コースターづくり。
13	一緒に物づくりが出来た、なかなかできない。
14	クラフトがとても良かった。
15	のこぎりで木をきること。
16	ボールプールがお気に入りでした。鉛筆のお土産が嬉しいです。
17	もりのクラフト。
18	丸太切り体験は子供と一緒に参加しました、普段なかなかない経験で親子とも新鮮でおもしろかった。
19	丸太切り、コースター。
20	クラフト作りと丸太切り体験、スタッフの方がとても親切でした。
21	4歳の子供も丸太切りさせてもらって楽しかった。きこり変身コーナーも本格的なグッズで楽しかった。
22	
23	木のボールプール。
24	丸太切り。
25	木のオモチャ。脱炭素について学べた。
26	思ったより硬かった、鋸が使った事の無い種類だったので楽しかった。桧を切ってみたかったので良かった。
27	コースターづくり鑪かけ。
28	コースター作りが良かった。
29	
30	もりのクラフト。
31	木製遊具。
32	
33	もりのクラフト、子供が夢中で作っていました。
34	木の香りが良かった。
35	
36	丸太切りがよかった。
以下WEBから回答	
37	コースターづくり
38	丸太切り体験
39	
40	もりのクラフト
41	ぜんぶ！
42	気に触れ合えたこと
43	クラフト体験

森と木の体験広場in松菱 アンケート結果(別紙②)

9.その他にご意見がありましたら、お願いします。

番号	意見
1	
2	
3	
4	
5	メガソーラーは環境に影響がないのか。
6	
7	年長以上が遊びやすい木のおもちゃが充実していると嬉しいと思いました。置いてあるのが年中以下さんが楽しめる物が多い為。
8	
9	
10	ありがとうございました。
11	
12	
13	
14	
15	前回、前々回も来ましたが、いつも楽しく体験させていただいています。
16	
17	
18	
19	
20	
21	つ乃めぐみちゃんの顔をはめる位置が高すぎるのもう少し低くするか台を高くすると嬉しいです。
22	
23	
24	
25	
26	太陽光発電のパネルは再生できないだけでなく毒性のあるものと聞いています。木を育てる場所ではソーラーパネルを使わないで欲しい。田畑もどこでもダメと思いますが
27	紙やすりの他に棒やすりもあればなー。
28	
29	
30	
31	
32	
33	また開催して欲しいです。
34	
35	
36	
以下WEBから回答	
37	楽しく親子で木に触れる機会ありがとうございました。5歳の娘は工作に熱中して、とても楽しかったようです。
38	クラフトが定員超えでできなくて残念だった。
39	
40	
41	とてもイイイベントだと思いました。スタッフの方もみんな優しく子どもも楽しそうでした。次回も楽しみにしています。
42	
43	

まるごと林業体験のご案内

開催日時 令和7年11月8日(土)

午前10時00分～午後3時00分

集合場所 津市白山庁舎

搬出間伐現場の見学



木工体験



○タイムスケジュール

9:30 受付開始(津市白山庁舎入口)

10:00 開会式

10:15 移動

10:45 高性能林業機械を使用した搬出間伐の現場見学

12:15 昼食・休憩(各々でご持参ください。)

13:15 座学

13:30 木工体験

15:00 閉会式・解散

○持ち物

昼食 飲み物 タオル 作業可能な服装(長袖長ズボン) 着替え
長靴等 雨具 手袋 マイナンバー(保険証) 虫よけスプレー など

○当日の注意事項

- ・服装は作業しやすい服装(長袖・長ズボン)をお願いします。
(汚れても良い服装をお願いします。)
- ・実施内容は、諸事情により変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください
- ・雨天状況をみて開催が困難であると判断した場合は、前日までにご連絡いたします。

○お問合せ先

津市 農林水産部 林業振興室

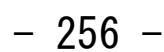
電話 059-262-7025

イベント当日の緊急連絡先 080-1577-4637

(裏面に案内地図)

この事業は
みえ森と緑の県民税
市町交付金
を活用しています





広報 つ!



Pick up

03 政策広報 教訓を力に！津市の雨水対策
～進む安心、確かな効果～

06 特集 津市合併20年の歩み Vol. 5

08 特集 津まつり

10 令和6年度津市の決算

パソコン・スマホ教室 サポーター養成講座



中央公民館 ☎228-2618 ☎229-5150

パソコン・スマホ教室のお手伝いができるサポーターを養成する講座を開講します。自らも楽しく学びながら、サポーターとして必要なスキルを習得します。

とき(全5回)

11月15日(土)・29日(土)、12月14日(日)…10時～11時45分

12月17日(水)…19時～20時(Zoomで実施)

12月21日(日)…9時～15時30分

ところ

中央公民館情報研修室

対象 市内に在住・在勤・在学のパソコン、スマートフォンの基本操作ができる人

定員 抽選12人

費用 500円(資料代)

講師 情報ボランティアみえスタッフ

申し込み 二次元コードから

締め切り 10月24日(金)



市民税課 会計年度任用職員(短期)

市民税課 ☎229-3130 ☎229-3331

任用期間 来年1月8日(木)～3月31日(火)までのうち2カ月程度

勤務時間 8時30分～17時15分 ※土・日曜日、祝・休日を除く

業務内容 書類整理、申告相談の補助など

賃金 日額9,174円(地域手当相当額込み、通勤手当は別途支給、駐車場代なし)

定員 8人程度

申し込み 直接窓口または電話で市民税課へ

申込期間 10月16日(木)～31日(金)

※任用期間や業務内容、執務場所など、詳しくは面談時に説明

まるごと林業体験 参加者募集



林業振興室 ☎262-7025 ☎264-1000

とき 11月8日(土)10時～15時

ところ 市白山庁舎(集合場所)

内容 白山地域内の森林で、高性能林業機械を使用した搬出間伐の現場見学、木工体験

対象 市内に在住・在勤・在学の中学生以上 ※高校生以下は保護者同伴

定員 抽選20人程度

持ち物 昼食、飲み物、軍手、レジャーシート ※動きやすい服装

申し込み 二次元コードから、または、はがき、ファクス、Eメールで、住所、参加者全員の氏名・年齢、電話番号を林業振興室(〒515-2603 白山町川口892、☎262-7025@city.tsu.lg.jp)へ

締め切り 10月20日(月)必着



脳に刺激を！ 健康マージャン大会



中央公民館 ☎228-2618 ☎229-5150

「賭けない・飲まない・吸わない」を合言葉にした健康マージャン大会を開催します。厚生労働省主催の「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」などにも採用された頭脳スポーツであるマージャンをプレイして脳に刺激を与えつつ、楽しく卓を囲み交流することで、人とのつながりを広げてみませんか。

とき 11月11日(火)13時～17時

ところ 中央公民館ホール

対象 20歳以上のマージャン経験者

定員 40人

申し込み 二次元コードから、または直接中央公民館窓口(返信用はがき持参)へ

締め切り 10月24日(金)必着



まるごと林業体験の参加者募集

令和7年11月8日土曜日に、中学生以上を対象にまるごと林業体験を行います。詳しくは下記ページをご覧ください。

[詳しくはこちら](#)

[林業振興室（電話）](#)

令和7年度 まるごと林業体験アンケート結果
回収 6/6

1.「高性能林業機械の現場見学」はいかがでしたか？

よかった 6人

3.「木工体験」はいかがでしたか？

よかった 5人
無回答 1人

5.「森林や林業」について、もっと知りたいと思いますか？

おもう 6人

令和7年度 まるごと林業体験アンケート結果

高性能林業機械の現場見学

何がよかった(よくなかった)ですか？

番号	理 由
1	市役所の方達がわかりやすく教えてくれて良かった。
2	近代的な作業を知れました。
3	普段見られないので良かった。
4	木が一瞬で切れるところが良かった。
5	子供の頃(40年前)の木こりのような林業とまったく別物の仕事内容に変わっていたと知って、林業のイメージが変わった。
6	林業の業いがわかって自分達の生活が森林の循環から成り立っていることを理解する機会であって良かったです。木を使うことが大切なこともわかって良かったです。

木工体験

何がよかった(よくなかった)ですか？

番号	理 由
1	困っていると助けてくれてとてもうれしかったです。
2	家で使える
3	人の温かみ
4	
5	クギ打ちがとても奥深いものだ知らなくて、他人がやっているのを簡単そうと思っていたが、ちがっていたのがよかった。
6	楽しくできました。自分で最後まで釘を打って完成できたことがうれしいです。もちろんお手伝いしていただきありがとうございました。

令和7年度 まるごと林業体験アンケート結果

「森林・林業」についてをテーマにとして、どんな体験や学習をしたいですか？

番号	理 由
1	今回の体験や学習で十分良かった。
2	チェーンソーによる倒木体験(危険が伴うのでムリかな?)
3	木材の搬出
4	チェーンソーを使ってみたい。
5	苗のうえ方とかも気になりました。
6	森林浴又何かの作成できるといいですね～

その他、ご意見

番号	理 由
1	
2	
3	楽しかったです。
4	楽しかったです。
5	
6	説明もしっかりわかりやすくしていただき実際働いている様子と一緒に体験出来て良かったです。

■ まるごと林業体験を開催しました！

ポスト

いいね！ 0

印刷用ページを表示する

登録日：2025年11月10日

令和7年11月8日に津市白山町元取地内の森林でまるごと林業体験を開催しました。

まるごと林業体験は、木の伐採、集材、利用などの林業体験をすることにより、参加者の皆さんが森林や林業について理解を深めたり、興味を持っていただくことを目的としています。



高性能林業機械の現場見学

高性能林業機械を使用した搬出間伐の現場見学をしました。

はじめに、間伐の意義や高性能林業機械の説明を受け、その後、実際にハーベスタによる造材をしているところを見学いただきました。

現代の林業では主流となっている高性能林業機械は、日常的には見ることのない珍しい機械なので、参加者の皆さん、非常に興味を持っていただきました。

高性能機械の見学





間伐施業地の見学



座学と木工体験

白山公民館で座学を聞いていただいた後、津市産材の杉を使用した木工作品づくりを体験していただきました。使い慣れない道具で苦戦される場面もありましたが、みなさん和気あいあいと個性ある作品を作成しました。

座学のように



木工作品づくり



その他

まるごと林業体験は「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」を活用しています。

[みえ森と緑の県民税\(PDF／2MB\)](#)

このページに対するアンケートにお答えください

このページは見つけやすかったですか？

☐ 見つけやすかった ☐ どちらとも言えない ☐ 見つけにくかった

このページの内容はわかりやすかったですか？

☐ わかりやすかった ☐ どちらとも言えない ☐ わかりにくかった

このページの内容は参考になりましたか？

☐ 参考になった ☐ どちらとも言えない ☐ 参考にならなかった

アンケートを送信

このページに関するお問い合わせ先

農林水産部 林業振興室

電話番号:059-262-7025

ファクス:059-264-1000

[お問い合わせフォーム](#)

[前のページに戻る](#)

[ページの先頭へ](#)

[著作権・免責事項](#)

[個人情報の取り扱い](#)

[アクセシビリティ](#)

[このホームページの使い方](#)

● 津市役所

〒514-8611 三重県津市西丸之内23番1号

(法人番号 7000020242012)

[各部・課の問い合わせ先はこちら](#) [庁舎へのアクセスはこちら](#)

開庁時間: 月曜日から金曜日の8時30分から17時15分まで

(ただし祝・休日、12月29日から1月3日を除く)

令和8年2月2日 月曜日から窓口受付時間を短縮します。

【変更後】8時45分から16時00分まで

短縮する窓口等詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

津市質問チャット

相談窓口

市政へのご意見・ご質問

リンク

総合支所

地域名をクリックすると、総合支所のページに移動します。



All Rights Reserved. Copyright © 2015 Tsu City. [各ページの記事、画像等の無断転載を禁じます]

街は劇場、通りはステージ。

[とき]

令和7年

11月1日(土)

午前10時～午後4時

[ところ]

フェニックス通り

津市まん中広場

丸之内商店街

(荒天中止)

[内容]

高虎座演目

10:00～ 子ども唐人
10:15～ ダンススタジオB-BOX
10:35～ 津・高虎太鼓(華乃津会)
11:15～ 三重大学応援団
11:35～ キッズダンス
11:50～ shinystar27
12:05～ Mighty Girls
12:20～ O2(アイドルグループ)①
12:35～ 津夢時風ミュージックスクール
13:15～ 勢州津高虎隊(三重ドリームクラブ)
13:25～ RYO NUMBER
13:35～ チアドラゴンズダンスレッスン教室
13:45～ 津・高虎太鼓(少年隊)
14:25～ ぶらむソーダ
14:35～ 津西高校(ダンス部・オリジナルソング部)
15:05～ O2(アイドルグループ)②
15:20～ 津・高虎太鼓

※高虎座の演目は、多少前後する場合があります。
雨天の場合、高虎座は中止する場合があります。

にぎわい市

(フリーマーケットなど)

おこしなして市場

(一志・白山・美杉地域の物産品販売)

津ぎょうざPR・販売コーナー

PR体験コーナー

- NPQ法人三重ドリームクラブによる「よい試着」体験(当日受付先着順)
- 安濃津ガイド会
- 津城復元の会
- スマイルカレンダープロジェクト
- 建設政策課
- O2(アイドルグループ)物品販売

ヴィアティン三重バレーボール
(バレーボール体験)

夢屋台

津西高校生による出店

第62回

高虎座

同時開催

第17回

津市民緑と花の市

農林水産まつり

津西高校生による出店

小麦・乳・卵不使用!米粉でヘルシー♪

津西 x c
adeau

緑茶フレーバー

ほうじ茶フレーバー



アレルギーのある方も安心して食べられる、やさしいおいしさ!
株菅尾製茶さんの協力のもと、「地元の味」を楽しめる洋菓子店cadeau(カドー)さんとのコラボスイーツができました! スーパーボールすくいもやってるよ!

津うキャラたちも遊びにくるよ★



津うキャラ スタンプラリー

中心市街地の商店街に設置されたスタンプを集めて景品をゲットしよう!

台紙は本部デントにて午前10時から配布

景品は先着300名

協賛: 井村屋グループ株式会社
株式会社富士珈琲

同時開催 第41回 津市民緑と花の市

[と き] 午前10時～午後4時
[と ころ] フェニックス通り

花苗の販売
花苗、庭木、園芸用品などの販売

キッズイベントコーナー
オリジナル鉢植え作り(先着100名)
緑化推進塗り絵コーナー

緑の相談室
専門家による庭木の育て方等の無料相談(午後1時～午後3時)

同時開催 第17回 農林水産まつり

地元の物産盛りだくさん!
午前9時30分～午後3時

●市内産農林水産物
及び加工品販売
津市で採れた安全で新鮮な野菜や米、茶、海産物をはじめ、材料の良さを生かした加工品などが出品されます。

●各種イベント
あおさ汁の振舞い ※無くなり次第終了
(①10:30～、②13:30～)
木工教室 ※各回先着20人
(①9:30～、②13:00～) など

本市と友好都市提携を結ぶ北海道
上富良野町のブース出店もあります★

先着順で割引券の配布も行います!
みんな来てな～!

公式Instagram

主催: 高虎座運営協議会 TEL.059-229-3169
津市農林水産物利用促進協議会(農林水産まつり) TEL.059-229-3172
津市都市政策課(津市民緑と花の市) TEL.059-229-3290

後援: 津市
※天候または感染症等の状況により、予告なく中止または内容の変更を行うことがあります。会場周辺の駐車場が混雑しますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。



高虎座の
情報はここから
アクセス!!

高虎楽座 たのしまっぷ

食事・喫茶・食品

ファッション

暮らしの品・その他

おこしなして市場

- 【一志】
 - 丸大森
 - 長谷川製茶
 - ふるさとの味やへい
- 【美杉】
 - 菅尾製茶
 - 美杉の浜
 - 伊勢地製茶
 - 藤田こんにやく

夢屋台

ホテル津センターパレス
津センターパレス

- 津市中央公民館
- 津市まん中こども館
- 津市まん中広場

協賛企業ブース

PR・体験コーナー

にぎわい市(一般)

- 津センターパレス 駐車場(入庫後30分無料、以降有料)・駐輪場(無料)

にぎわい市(飲食)

- シロキヤパーキング
- 堀川クリーニング

津のバクバクパンマルシェ

- ヴィアティン男子バレー

松菱イベント情報

6階・7階催事場

11月5日(水)~17日(月) 北海道物産展

高虎楽座

フェニックス通り

緑と花の市

注意 フェニックス通りは当日の7時~18時の間、高虎楽座会場となる区間が車両通行止めとなりますのでご協力ください。

協賛者様一覧

(順不同・敬称略)

- 株式会社ZTV
- 日本土建株式会社
- 津商工会議所女性会
- 三重リコピー株式会社
- ミフジ株式会社
- 4partner株式会社
- 株式会社栄屋理化
- 菊山鋼材株式会社
- 津市商業団体連合会
- 丸之内本町3丁目自治会
- 株式会社藤川工務店
- 株式会社池田硝子
- 丸之内1丁目・東丸之内1丁目自治会
- 株式会社辻工務店
- 福島商店
- 泰平防災株式会社
- 株式会社エリイ
- 株式会社津松菱
- オートバックス津店・河芸店
- 角屋食堂
- まはる整体
- インテリアハウスマツダ株式会社
- 株式会社中部都市建築設計事務所
- 株式会社キヒラ工房
- Healing M
- 東海土建株式会社
- 藤田医科大学 七葉記念病院
- 社会福祉法人正寿会
- 株式会社西出
- 日本生命保険相互会社 津支社
- 株式会社大弘通信システム
- 有限会社ライズ
- 三重水熱工業株式会社
- 株式会社片岡工務店
- 有限会社暁自動車工作所
- セコ塗装店
- 三重つくし診療所リハビリセンター
- カフェ&bar ねこ屋
- 明治安田生命保険相互会社 津支社

ご協賛ありがとうございました。高虎楽座は、上記協賛者様をはじめ、地元の商業団体・商店街・企業等が力をあわせて運営しています。

商店街にはステキなお店がいっぱい。お気に入りのお店を見つけよう!

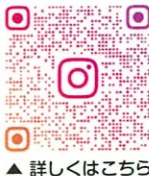
公園空間活用実験 「ふらっと大門・丸之内@観音公園」開催中!

【とき】10月25日(土)~11月3日(月・祝)
午前10時~午後3時(最終日は午後7時まで)

【ところ】観音公園・入江公園

- インクルーシブ遊具やミニバスレック、バスケットボール場などいろいろな遊びを体験
- スタンプラリーでオリジナルグッズをプレゼント
- キッチンカーや販売ブースが毎日出店
- 日替わりで楽しいイベントを実施(土日祝)

実施主体:エリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」事務局 TEL 059-229-3183



▲ 詳しくはこちら

津のバクバクパンマルシェ

出店者名(店名)

- COVOPAIN
- ブーランジェリー ラ・パルム・ドール
- サンドウィッチ&カフェ PEER
- カメイザンのカフェ
- パン工房 杏
- BRIXTON (ブリクストン)
- ベーグルファンズ
- カフェAnge (アンジュ)

午前10時~売り切れ次第終了します!



ヴィアティン三重 バレーボール体験

大人も子供も楽しめる
バレーボール体験イベント!
選手たちと一緒に楽しもう!
ぜひこの機会にご参加ください!

体験コーナー 午後1時~午後4時

物品販売 午前10時~午後4時



アイドルグループの O₂が出演

名古屋市を拠点に活動する女性アイドルグループが高虎座のステージに出演!
爽やか全開の7人組O₂が青春を届けます!

ステージ(予定) 12:20~12:35
15:05~15:20

物品販売/場所 PR・体験コーナー(フェニックス通り)

メンバーの南みゆさんは津市出身!様々な雑誌に登場し、活躍のフィールドを広げています!



令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	美里水源の森「林業体験」事業				
事 業 費	242,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			242,000		

1. 事業の目的

美里水源の森の水源涵養林等を活かしながら、自然や環境保全を学べる場として市内の小学生を対象に、野外体験や林業体験を通して自然や森林・林業の魅力を感じてもらい、森林に対する理解を深める。

2. 事業の実績

【事業内容】

平成26年度から平成30年度にかけて市町交付金を活用して整備した美里水源の森をフィールドとして自然に親しむ市民の憩いの場、青少年の自然・環境体験学習の場として、市内在学の小学生を対象に、林業体験（きのこ作り体験、木工体験）を実施。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

特定非営利活動法人 美里水源の森を育む会

【実施個所及び箇所数】

美里水源の森「林業体験」：1回 「きのこ作り体験」及び「木工体験」3月8日開催

【事業量】

美里水源の森「林業体験」：1回 市内在学の小学生と保護者20組48名

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	その他	補助事業ではない		特定非営利活動法人 美里水源の森を育む会

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

見積合わせ

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
4	美里水源の森「林業体験」事業				
事 業 費	242,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			242,000		

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

きのこ作り体験：体験を通じて、森のはたらきや、森と人との関わり、林業や産業への理解を深めることができた。

木工体験：体験を通じて、木材に触れ木材と生活の関わりについて考えることができた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

市内の小学校すべてに案内（別添チラシを配布）を行い、幅広く参加者を募集している。

【新たな対策・視点及び改善点】

美里水源の森の自然環境に触れることができるような森林環境教育を今後も実施する。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	イベント参加者
期待する波及効果	森林・林業に対する理解を深める効果（参加者の家族への波及効果が期待できる。）

【公的関与の必要性】

森林の公益的価値や機能を学ぶ森林環境教育は、人材育成だけでなく、国土の2/3を占める森林を身近で大切な資産であり、守り育てることの大切さを理解していただく上で、非常に重要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

体験学習の開催であり、該当しない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施前	市内の小学4、5年生の児童の保護者へチラシを配布し、イベント開催の周知を図る。
のぼり設置	実施中	のぼりを設置し、県民税事業を啓発する。
パネル展示	実施後	市町交付金事業のパネルを庁舎（白山）に掲示し、PRを行っている。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

参加者からは、普段できない体験で楽しかった。また機会があれば、ぜひ参加したい。との声をいただいている。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	美里水源の森「林業体験」事業
-----	----------------

6(1). 写真



写真1

木工体験



写真2

木工体験



写真3

きのこ作り体験



写真4

きのこ作り体験

写真5

写真6

写真5

写真6

第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	美里水源の森「林業体験」事業
-----	----------------

6(3).その他

・ イベントチラシ



津市美里水源の森

「きのこ作り及び木工体験」参加者募集

目 的 水源涵養林等を活かして森林のはたらき、大切さを知るとともに、木に触れ合い、森林や樹木等の学習を深める。

きのこづくりと木工体験を通じて、森と人の関わりや林業をはじめとする産業への理解を深める。

日 時 令和 8 年 3 月 8 日(日) 10時～15時
開始：10時から (受付：午前9時30分～)

場 所 津市美里水源の森(津市美里町南長野地内)

対 象 市内小学生の子と保護者

募集数 親子15組(先着順)

内 容 シイタケ菌打ち及び木工工作体験等をする。

持ち物 弁当・飲み物・カップ等の雨具(小雨決行)

参加費 無料。

申 込 参加を希望される方は、住所、氏名、学年(年齢)、電話番号、を電話、FAX、メールにて、令和 8 年 2 月 6 日(金)までに、下記の美里総合支所地域振興課へご連絡ください。

- その他**
- 1 マスクの使用は、各自の判断とします。
 - 2 森の中(屋外)での活動となりますので、動きやすく汚れてもよい服装、靴をお願いします。また十分な防寒対策をお願いします。
 - 3 安全確保については各自の責任をお願いします。
 - 4 当日、天候や諸事情により急遽、中止する場合があります。
中止の場合は、当日の8時までに連絡します。
 - 5 時間及び内容については変更する場合がありますのでご了承ください。

主 催 特定非営利活動法人 美里水源の森を育む会
後 援 津市教育委員会

申込先 美里総合支所地域振興課 (〒514-2192 津市美里町三郷 48-1)
TEL 059-279-8115 FAX 059-279-8125
e-mail: 279-8111@city.tsu.lg.jp





令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続 の別	継続
番 号	事 業 名				
5	子育て支援センターにおける木育環境整備事業				
事 業 費	886,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			886,600		

1. 事業の目的

たるみ子育て交流館（たるみ子育て支援センター）に木製遊具を導入し、みえ森林教育ステーション整備支援事業と連携して、0歳から就学前の子どもと保護者が木のぬくもりや質感を学べる場を創出することを図る。

2. 事業の実績

【事業内容】

たるみ子育て交流館（たるみ子育て支援センター）に木製遊具を導入する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

津市

【実施個所及び箇所数】

たるみ子育て交流館（たるみ子育て支援センター）

【事業量】

木製ボールプール枠1基、木製ボール1,600個

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

木製ボールプールは、みえ森づくりサポートセンターが森林教育の一環として貸出を行っている「もりぼーる」を参考にしたもので、全身運動やバランス感覚を育むことができる木育に適切な物品であり、使用する木材は共に三重県産材であるため。

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続 の別	継続
番 号	事 業 名				
5	子育て支援センターにおける木育環境整備事業				
事 業 費	886,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			886,600		

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

たるみ子育て交流館（たるみ子育て支援センター）において親子で木に触れ合っていただくことで、木のぬくもりや質感を感じ、木に興味をもっていただくことが期待できる。また、みえ森林教育ステーション整備支援事業の認定を受けて、来場者の親子を対象に、木育活動が継続的に行われることが期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

みえ森林教育ステーションに認定されている芸濃子育て支援センターで10月に、安濃子育て支援センターで11月に、たるみ子育て支援センター（たるみ子育て交流館）で12月に、桜橋子育て支援センターで2月に、それぞれ木育を目的として、みえ森づくりサポートセンターから大型遊具を借用し、1週間程度の木育週間を設け、親子で木に触れながら遊べるイベントを開催。より多くの方に利用いただくことができた。また、日々の運営の中で実施している手遊び、読み聞かせの時間に、木や森等をテーマとしたものを定期的実施することで、本事業で導入した遊具等と合わせて、木に対して興味を持ってもらえるよう継続して取り組む。

【新たな対策・視点及び改善点】

これまで、森林教育ステーションに認定された安濃子育て支援センター、桜橋子育て支援センター、芸濃子育て支援センターに加え、たるみ子育て交流館（たるみ子育て支援センター）でもみえ森林教育ステーション整備支援事業の認定を受け、四つの施設で木育を実施する環境づくりを行い、より多くの未就学児と保護者を対象とした木育を進めていく。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	たるみ子育て交流館（たるみ子育て支援センター）を利用する親子（不特定） 参考：R7年の利用者数（月平均）1473.7人
期待する波及効果	子育て支援センターでの木育により個々の家庭への波及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

導入した物品については市のHPに掲載することで周知を図り、また日々の手遊びの時間や、毎月のイベントなどでも県民税を活用し導入された物品として紹介することで、利用率向上を目指している。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

導入した物品には県民税のシールを貼り、森林教育ステーションに設置しており、転用や目的外使用は想定されない。また森林教育ステーションとしての活動として、年に1回の木育イベント、日々の手遊び等の時間に木や森等をテーマとしたものを定期的実施することとしている。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	木製品を導入後、HPで導入したことをPR
ロゴマーク掲示	実施後	木製品に県民税のシールや焼印を掲示
パネル展示	実施前・中・後	市庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置する。
その他	実施後	日々の手遊び時間やイベント開催時に木製品導入について県民税を活用した取組であることをアナウンスした。

令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続 の別	継続
番 号	事 業 名				
5	子育て支援センターにおける木育環境整備事業				
事 業 費	886,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			886,600		
6. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
7. その他特記事項（受益者の反応等）					
利用者の声：「木のコーナーは落ちつきますね」「木のおもちゃは、木の温もりが感じられていいですね。手触りもいいですね」「森林浴をしているようで癒されます」等					

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	----	---------	----

事業名	子育て支援センターにおける木育環境整備事業
-----	-----------------------

6(1). 写真



写真1

木製ボールプール



写真2

木製ボール



写真3

ボールプール枠に貼り付けた県民税のシール



写真4

みえ森づくりサポートセンターから借用した木製すべり台での木育ウィーク



写真5

「お山のともだち」のリサイクルシアター



写真6

県民税ポスター掲示

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
事業名	子育て支援センターにおける木育環境整備事業				

6(3).その他

- ・津市HPにて県民税を活用した木製本棚・遊具の導入について掲載（以下の2つのページにて）
子育て支援センターにでかけてみませんか

https://www.info.city.tsu.mie.jp/kosodateouen/manabi_asobiba/1010370/1002712.html

子育て支援センターからのお知らせ・イベント情報（数か月のみ）

https://www.info.city.tsu.mie.jp/kosodateouen/manabi_asobiba/1010370/1002670.html

【掲載例（子育て支援センターにでかけてみませんか）】

お知らせ(施設の開設情報など)

たるみ子育て支援センター(たるみ子育て交流館)に、木製ボールプールを設置しました！

たるみ子育て支援センター(たるみ子育て交流館)に「みえ森と緑の県民税」を活用し、「森と人をつなぐ学びの場づくり」の一環として、木製のボールプールを設置しました。



ボールは、大小さまざまな「卵型」の木を使用しています。

たくさんの木のボールに包まれて、親子で温かな質感や心地よい香りを感じてみませんか？

当施設は「みえ森林教育ステーション」として、木の温もりに触れる体験を大切にしています。

これからも様々な木育活動を通じて、お子様の健やかな成長をサポートしていきます。ぜひ親子で遊びに来てください！

【掲載例（子育て支援センターからのお知らせ・イベント情報）】

たるみ子育て支援センター



「みえ森林教育ステーション認定施設」として、三重県産の木材を使用した床やおもちゃを設置しています。

また、「みえ森と緑の県民税」を活用し、木製ボールプールを設置しています。

(お問い合わせ)たるみ子育て支援センター 電話:224-8801

令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
6	保育施設における木育環境整備事業				
事 業 費	715,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			715,000		

1. 事業の目的

津市安濃保育園を県産材を活用した木のぬくもりのある施設として改修し、こどもたちに木材に触れる場を提供するとともに、森や緑の重要性を学び実感することができる木育の場を創出することを図る。

2. 事業の実績

【事業内容】

津市安濃保育園の遊戯室の破損した壁紙を改修するにあたり、使用する腰壁材に県産材を活用し木質化を図る。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

津市安濃保育園

【実施個所及び箇所数】

津市安濃保育園

【事業量】

津市安濃保育園遊戯室の腰壁パネル（25㎡）

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

津市競争入札参加資格者名簿（建設工事用）より内装仕上工事を希望し、安芸ブロックに本店を有する業者を選定したうえで、見積合わせを執行。

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	--	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
6	保育施設における木育環境整備事業				
事 業 費	715,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			715,000		

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

津市安濃保育園において、児童が遊戯室で木の壁に触れ、木のぬくもりや質感を感じることで、木に興味や関心を持つ機会を創出した。また、木のおもちゃに触れる遊びを通じた木育の機会を設けたことで、児童の森林への親しみを深めることができた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

県産材を使用した遊戯室内で、木のおもちゃに触れる遊びを通じた木育の機会を設けた。

【新たな対策・視点及び改善点】

公立保育施設が率先して木質化に取り組むことは、児童のみならず、彼らを通じて保護者や地域住民に木と触れ合う機会を提供し、地域全体へ木材利用の魅力を波及させる効果が期待できる。また、幼少期から木と触れ合う機会を創出することで、将来の森林保全や環境問題に関心を持つ、持続可能な社会の担い手を育成することにつながる。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	園児 1 5 3 人、保育所関係者 2 3 人
期待する波及効果	木育を通じて森林に対する理解を深める効果 (家族への波及効果も期待できる。)

【公的関与の必要性】

公立保育施設が率先して木質化に取り組むことは、児童のみならず、彼らを通じて保護者や地域住民に木と触れ合う機会を提供し、地域全体へ木材利用の魅力を波及させる効果が期待できる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

腰壁材に県産材を活用していることから、転用や目的外使用は想定されない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施後	木質化した腰壁に県民税のシールを掲示
パネル展示	実施後	施設や市庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置する
その他	実施後	園にて児童に対して木のおもちゃでの遊びを通じた木育を実施する

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

保育所関係者からは「見栄えが良くなり、木のいい匂いもするので子供たちも木のぬくもりを感じています。」「来園された保護者と幼児も木の壁に興味を持って、写真を撮ったり、触れていったりしていくことが多いです」「木の色味のおかげで、前より部屋の雰囲気がとても温かみが出て、雰囲気が良くなった」等

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	----	---------	----

事業名	保育施設における木育環境整備事業
-----	------------------

6(1). 写真



写真1

遊戯室にて木のおもちゃに触れる遊びを通じた木育を実施



写真2

遊戯室にて木のおもちゃに触れる遊びを通じた木育を実施



写真3

遊戯室にて木のおもちゃに触れる遊びを通じた木育を実施



写真4

遊戯室にて木のおもちゃに触れる遊びを通じた木育を実施

写真5

写真6

写真5

写真6





松 阪 市

令和 7 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和 5 年度版三重県市町要覧による）

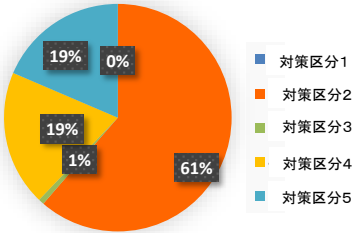
市町名	松阪市	三重県
人口（人）	152,234	1,742,703
年少人口割合（％）＊１	11.4%	11.6%
森林面積(ha)	42,729	372,030.08
民有林面積(ha)＊２	41,341.14	348,561.87
森林率(%)	68.5%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊３	14.3	10.6

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 7 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5
1	2	里山の森林安全安心対策事業	15,298,800	15,199,900		15,199,900			
2	3	松阪の木魅力発信活動事業	617,000	200,000			200,000		
3	4	森林環境学習事業	2,773,100	2,773,100				2,773,100	
4	4	保育園木育推進事業	3,189,527	2,000,000				2,000,000	
5	5	都市公園整備事業	5,526,400	4,600,000					4,600,000
計			27,404,827	24,773,000	0	15,199,900	200,000	4,773,100	4,600,000

3. 令和 7 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	2.2ha	20,179,504	10,000,000	予備調査・事前伐採・立木補償
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
松阪市ではみえ森と緑の県民税市町交付金の活用主旨に則り「災害につよい森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を目指しつつ川上から川下まで普く当該交付金を有効に活用すべく 5 つの事業を実施した。 1. 里山の森林安全安心対策事業…民家裏、重要施設付近、幹線道路沿線等において懸案となっている支障木を伐採し、住民の安全安心を確保する目的で実施。 2. 松阪の木魅力発信活動事業…松阪地域の林業、木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」が開催する、学校等における木育や森林教育イベントの活動補助等を実施。 3. 森林環境学習事業…松阪市内小学校を対象に森林環境教育を実施。 4. 保育園木育推進事業…市内の保育園の備品を木質化し、森林や木材について学び、幼少期より木との関係を深める。 5. 都市公園整備事業…都市公園内に地域産材を使用した東屋を設置し、利用者に木の持つ「温かみ」「やすらげる空間」を提供すると共に、森林、緑、水辺の自然と親しむ環境整備を実施。
事業実施により期待される効果
里山の森林安全安心対策事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施したことにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がった。森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場における環境学習に加え当該事業を実施したことにより、飛躍的に森林の公益的機能の理解が定着すると好評を得ている。
情報発信への取組
森林整備・都市公園整備遂行にあたり、県民税の P R チラシ及び啓発品配布や松阪市 H P により積極的な啓発を行っている。 森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上において、情報を発信し、また、事業実施後に S N S (インスタグラム) において情報発信した。 松阪の木魅力発信活動事業については、事業実施後に S N S (インスタグラム) において情報発信した。

令和7年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税(千円)
1	⑦ その他（森林整備）	154,049	130,439
2	④ 公有林整備（財産区有林含む）	15,827	15,827
3	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	38,942	38,942
4	⑥ 林道・林専道の整備等	6,978	6,978
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	215,796	192,186

令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	里山の森林安全安心対策事業				
事 業 費	15,298,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			15,199,900		98,900

1. 事業の目的

集落や公共施設周辺の森林で、森林の持つ公益的機能が発揮されない状態にある森林を対象に、森林所有者や地域の自治会等と連携し、集落の安全と安心を確保することを目的に森林整備を行う。

2. 事業の実績

【事業内容】

該当地域において、関係者と連携して現地調査を行い、森林の境界確認・測量及び間伐等の森林整備を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施箇所及び箇所数】

森林整備箇所22箇所

【事業量】

支障木伐採22箇所（525本）

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林所有者、認定林業事業体及び市の3者において、長期にわたる森林の機能向上を図るべく「災害に強い森林づくり協定」を締結しているため。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	里山の森林安全安心対策事業				
事 業 費	15,298,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			15,199,900		98,900

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】
集落周辺の森林が整備されたことにより、地域住民の生活環境の向上や道路の安全性が確保される。又、地域の自主防災組織や自治会長と連携することにより、地域の里山の在り方を見直す良いきっかけとなり、継続的な取組が可能となる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】
森林所有者の自助努力の底上げを促すべく、アンケート調査等を行うなどPDCAサイクルの構築に繋がっている。

【新たな対策・視点及び改善点】
事業実施前、実施時にチラシを配布、ポスター掲示により、みえ森と緑の県民税市町交付金事業のPRと森林、林業の啓発を行う。事業実施後は関係者へのアンケート調査を実施し、事業のフィードバックを行う。またHP等を活用し幅広く情報発信を行う。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	受益戸数約50戸、市道・国県道・公共施設等の受益約20件
期待する波及効果	地域の里山の在り方を見直すきっかけとなる。

【公的関与の必要性】
地域の懸案箇所整備が中心であり、官民協働の横断的な調整が必要であることから公的関与が不可欠である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
森林所有者との協定により、適切な維持管理と転用等制限を担保している。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
その他	実施後	標柱を設置し、みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
ポスター掲示	実施前・中・後	森林のはたらきや当該交付金の主旨説明とPR
HP掲載	実施中・後	松阪市HPに掲載し、みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
その他	実施前・中	施工看板にみえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
アンケート実施	実施後	

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

平成26年度から継続実施。平成26年度～令和7年度の実績168箇所

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山の森林安全安心対策事業
-----	---------------

6(1). 写真

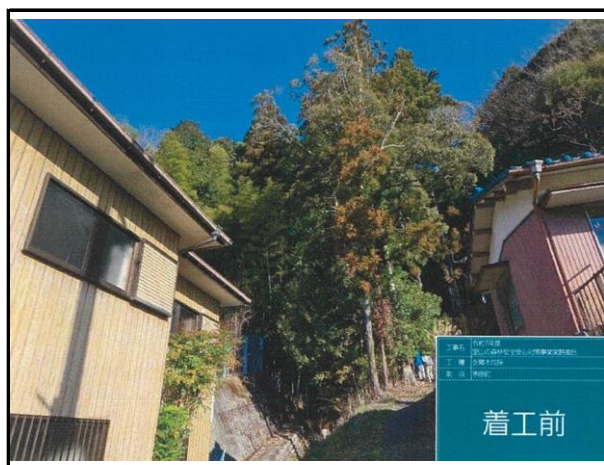


写真1

支障木伐採（着手前）松阪市茅原町地内
人家裏にて生育した木が枯れ、危険な状態であった



写真2

支障木伐採（完成）松阪市茅原町地内
事業実施により危険が解消された



写真3

支障木伐採（完成）松阪市飯高町赤桶地内
事業実施により危険が解消された



写真4

支障木伐採（施工状況）松阪市阪内町地内



写真5

支障木伐採（施工状況）松阪市飯高町赤桶地内



写真6

みえ森と緑の県民税市町交付金事業PR用標柱設置状況

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
事業名	里山の森林安全安心対策事業				

6(3).その他

🌲 アンケートご協力のお願い 🌲

「みえ森と緑の県民税」は、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるために、平成26年4月から三重県が導入した税金です。

松阪市では、この税を活用して、里山の森林安全安心対策事業を実施しました。

今後の事業実施の参考にするため、この事業の感想と、森林に対する想いを聞かせてください。

里山の森林安全安心対策事業の感想を聞かせてください。

- ① この事業を実施していることを知っていた
 ・知っていた ☒ 事業実施時に知った ・知らなかった
- ② この事業にこの税を使っていることを知っていた
 ・知っていた ☒ 事業実施時に知った ・知らなかった
- ③ 台風等の自然災害での被害の心配が軽減された

そう思う ⇄ そう思わない
 ④ 3 2 1

森林に対する想いを聞かせてください。

- ① 安全、快適に暮らすためには、森林の手入れが大切だと思う

そう思う ⇄ そう思わない
 4 ③ 2 1

- ② 木を使うことは、森林の手入れにつながると思う

そう思う ⇄ そう思わない
 4 ③ 2 1

- ③ これからは身近な森林（里山）や竹林の手入れをしようと思う（手入れに参加しようと思う）

そう思う ⇄ そう思わない
 4 3 ② 1

- ④ 災害に強い森林づくりのために、これからは幅広い用途で木材利用をしようと思う。

そう思う ⇄ そう思わない
 4 ③ 2 1

- ⑤ みえ森と緑の県民税について、ご意見があればご記入ください

自然災害で被害が軽減されたので
 事業を継続してほしい。



ご協力ありがとうございました。

令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	松阪の木魅力発信活動事業				
事 業 費	617,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			200,000		417,000

1. 事業の目的

松阪地域の林業・木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」が松阪工業高校生（デザイン科）と共同（看板のデザイン・製作ともに）で松阪の木のPR看板をデザイン・作製・設置することにより、木の魅力を学び、林業や製材業等の担い手と関わる機会を創出する。

併せて「松阪地区青和会」と松阪工業高校デザイン科の生徒で、「セーザイゲーム（木に触れ、遊びながら学べる製材教育ボードゲーム）」及びウッドピア見学会を行い、森林や木材について学び、森林教育を推進する。

2. 事業の実績

【事業内容】

◎松阪の木PR看板作製に係るウッドピア松阪の見学会と打合せ

▽日時 令和7年9月16日（火）

▽場所 ウッドピア松阪

◎松阪の木PR看板お披露目会、森林教育イベント（セーザイゲーム）

▽日時 令和7年10月24日（金）

▽場所 ウッドピア松阪（市売製品倉庫前、会議室）

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪地区青和会

【実施個所及び箇所数】

松阪の木PR看板 ウッドピア松阪 1箇所（市売製品倉庫前）

森林教育イベント ウッドピア松阪 1箇所（会議室）

【事業量】

松阪の木のPR看板製作設置1箇所、森林教育一式（セーザイゲーム、市場見学及び説明）

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	活動団体	その他		③1/3以内

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

当該地域の林業・木材産業に携わる若手後継者で構成する団体であり、森林・林業に関する専門的な知識や技術を有しているため。

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	松阪の木魅力発信活動事業				
事 業 費	617,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			200,000		417,000

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

松阪の木のPR看板を市内高校生と共同でデザイン・作製・設置することにより、木と林業・木材産業に携わる人とふれあうことで、森林からの恩恵、木の良さを学ぶと共に地域の林業・木材産業を身近に感じていただくきっかけの場を提供できた。「セーザイゲーム（木に触れ、遊びながら学べる製材教育ボードゲーム）」を市内高校生と行い、木材の目利き、競り、木取り等について学び、製材教育及び森林教育を推進する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

「木の力、松阪の地から。」と言う一つの言葉を題材にして看板のデザインを学校で学んだこと生かして自由に行ってもらった上で、セーザイゲームを実施し、実際の木材の競り等を体験し、林材業を学んでもらったことにより、森林や木材の関心がより深まった。

【新たな対策・視点及び改善点】

松阪の木PR看板のデザインを松阪工業高校デザイン科の生徒全員に実施してもらった。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	対象者約5,000人【イベント参加者、原木製品市（せり）の参加者】
期待する波及効果	原木製品市（せり）の参加者及びイベント関係者への波及効果が期待できる。

【公的関与の必要性】

林業・木材産業団体、市内学校等と協働、推進していく事を鑑みると公的関与の必要性大である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	事業実施時にのぼりを設置し、当該交付金活用事業であることをPR
その他	実施後	インスタグラムの掲載により、当該交付金活用事業であることをPR
その他	実施中	みえ森と緑の探検隊（FM三重ラジオ）に出演し、当該交付金活用事業である
啓発物品配布	実施中	啓発物品を配布し、当該交付金活用事業であることをPR
HP掲載	実施後	当該交付金活用事業であることをPR

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	松阪の木魅力発信活動事業
-----	--------------

6(1). 写真



写真1

松阪の木PR看板お披露目会



写真2

松阪の木PR看板お披露目会



写真3

松阪の木PR看板お披露目会



写真4

松阪の木PR看板お披露目会



写真5

セーザイゲーム



写真6

セーザイゲーム

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	松阪の木魅力発信活動事業
-----	--------------

6(1). 写真



写真1

セーザイゲーム



写真2

木材製品市場見学



写真3

原木市場見学



写真4



写真5



写真6

第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	松阪の木魅力発信活動事業
-----	--------------

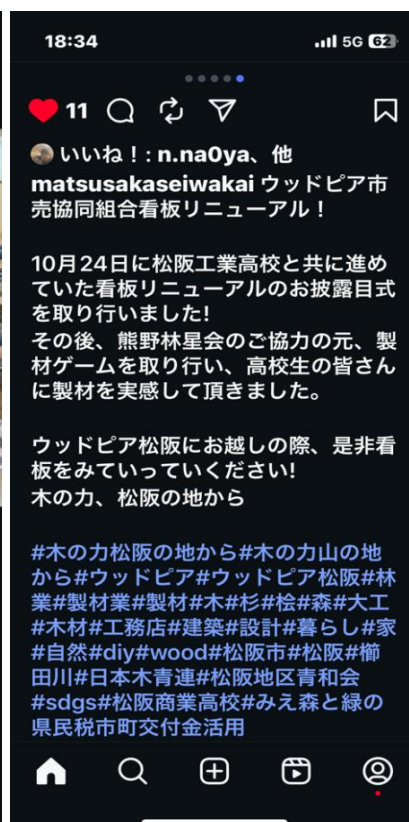
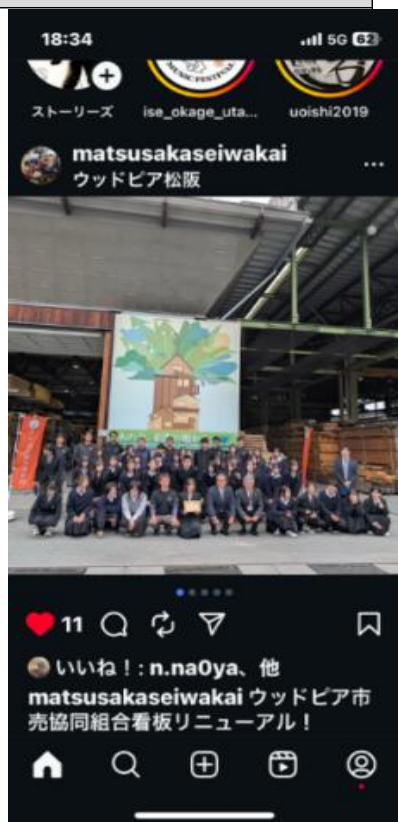
6(2).補助事業者取組一覧

補助事業者名	補助金額	取組概要
松阪地区青和会	200,000円	松阪地域の林業・木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」が松阪工業高校生（デザイン科）と共同（看板のデザイン・製作ともに）で松阪の木のPR看板をデザイン・作製・設置することにより、木の魅力を学び、林業や製材業等の担い手と関わる機会を創出する。 併せて「松阪地区青和会」と松阪工業高校デザイン科の生徒で、「セーザイゲーム（木に触れ、遊びながら学べる製材教育ボードゲーム）」及びウッドピア見学会を行い、森林や木材について学び、森林教育を推進する。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
事業名	松阪の木魅力発信活動事業				

6(3).その他

インスタグラム投稿状況



令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	森林環境学習事業				
事 業 費	2,773,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,773,100		

1. 事業の目的

市内小学校の児童を対象に体験型の学習を通して、地域の環境保全等につながることや森林及び木材について学び、森林環境教育を実施する。

また、松阪地域の木材を使用して小学校の内装の一部を木質化し、その空間を体感してもらう機会とし、木育の推進を行う。

2. 事業の実績

【事業内容】

市内小学生を対象に森林環境保全や森林整備についての森林環境教育を実施する。また、その小学校で松阪産の木材を使用し、教室等の木質化を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施個所及び箇所数】

市内小学校1校（松阪市立中川小学校）

【事業量】

森林環境学習及び、小学校の木質化：1校

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林・林業に携わる関係者による組織であり、森林・林業に精通し、又、恒常的に小学生を対象とした森林に纏わる学習イベントを開催するなど、適切な教育を実施することができるため。

令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	森林環境学習事業				
事 業 費	2,773,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,773,100		

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】
 森林環境学習を実施することにより、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。また、理解や興味を持ったところで、木質化された教室等で学ぶことにより、さらに木材とのふれあいも進むなどの相乗効果が期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】
 森林環境学習、製材工場・バイオマス工場等見学、木工教室等複合的なアプローチで事業を実施することにより、効率的な木育及び森林教育に繋がる。

【新たな対策・視点及び改善点】
 平成26年度から継続実施で平成26年度～令和7年度の実績は22校であるが、事業開始から10年が経過するも、いまだ市内の約半数の学校で事業実施に至っておらず、次世代の担い手育成に繋がる学習・体験ができていない学校が存在する現状であるため、今後当県民税の周知及びPRを行いたい。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	中川小学校4年生(児童97名)
期待する波及効果	学習終了後も校舎を木質化することにより学校全体への波及効果が見込める。

【公的関与の必要性】
 市内小学校と協働し、当市における環境側面のカリキュラムとの相乗効果をはかりながら、森林環境を推進していく事を鑑みると公的関与の必要性大である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
 木質化を行った構造物については、実施した施設にて適正な管理を行うこととしている。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
その他	実施中	報道機関（新聞社）への情報提供を行い、みえ森と緑の県民税を活用した取り組みであることを周知。
のぼり設置	実施中	学習実施時にのぼりを設置し、当該交付金活用事業であることをPR。
その他	実施前	森林のはたらきをテーマとした絵本を作製し、市内小学校・保育園・幼稚園に配布。
アンケート実施	実施後	対象児童全員に実施。
その他	実施後	インスタグラムの掲載により、当該交付金活用事業であることをPR。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

環境学習実施後のアンケートでは「森のはたらきは大切」など、木工やノコギリ体験は高評価を得た。
 平成26年度から継続実施で平成26年度～令和7年度の実績は22校。

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境学習事業
-----	----------

6(1). 写真



写真1

森林環境教育実施状況（中川小学校）



写真2

森林環境教育実施状況（中川小学校）



写真3

森林環境教育実施状況（中川小学校）



写真4

森林環境教育実施状況（中川小学校）



写真5

森林環境教育実施状況（中川小学校）



写真6

森林環境教育実施状況（中川小学校）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境学習事業
-----	----------

6(1). 写真

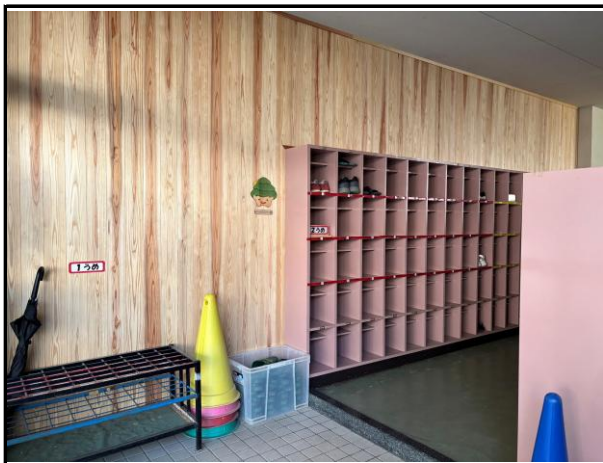


写真1

学校木質化状況（中川小学校）



写真2

学校木質化状況（中川小学校）

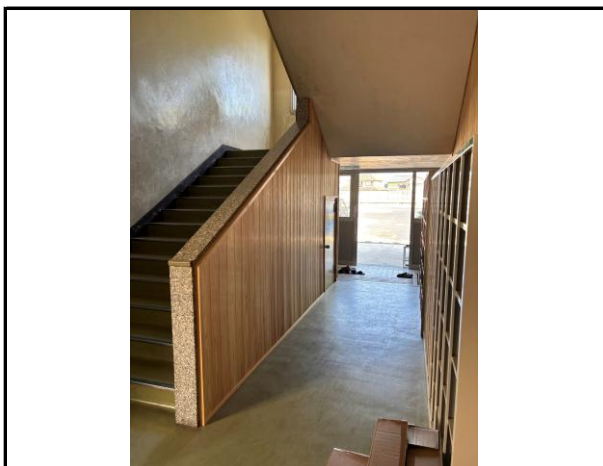


写真3

学校木質化状況（中川小学校）

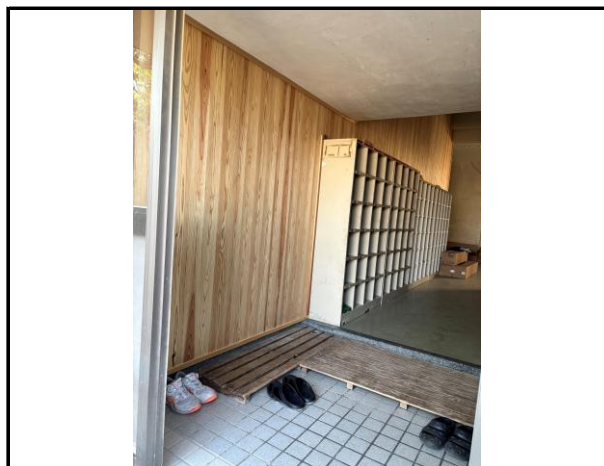


写真4

学校木質化状況（中川小学校）

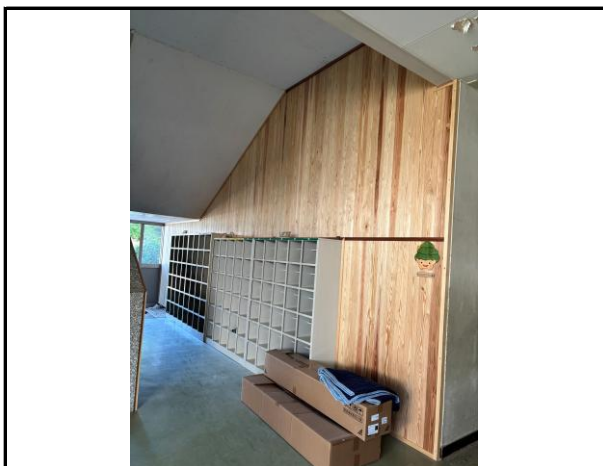


写真5

学校木質化状況（中川小学校）



写真6

学校木質化状況（中川小学校）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境学習事業				

6(3).その他

Instagram投稿状況



19:26 4G 41%

< 投稿
wpmokkyo

wpmokkyo
三重県 松阪市

2 2 0 0 0

wpmokkyo 森林環境学習^^中川小学校さんありがとうございます♪
#みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業
#みえ森と緑の県民税

🏠 🔍 + 📷 🌐



19:26 5G 40%

< 投稿
wpmokkyo

wpmokkyo
三重県 松阪市

2 2 0 0 0

wpmokkyo 森林環境学習^^中川小学校さんありがとうございます♪
#みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業
#みえ森と緑の県民税

🏠 🔍 + 📷 🌐

令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	保育園木育推進事業				
事 業 費	3,189,527 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		1,189,527

1. 事業の目的

市内の公立保育園・こども園の備品を木質化し、木材と市民の関係を深める。

2. 事業の実績

【事業内容】

市内の公立保育園・こども園の備品を市産材で木質化する。また、森林環境学習の一環として、みえ森と緑の県民税市町交付金事業にて作製した、児童及び園児向けの森林環境学習用絵本の読み聞かせ等を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施個所及び箇所数】

公立こども園1園

【事業量】

松阪市立三雲北こども園への木育推進のための木製備品導入一式

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	定額補助		②一般競争入札により決定 ③物品購入

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札を実施する事により公平性の担保と経費削減に繋がることから

令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	保育園木育推進事業				
事 業 費	3,189,527 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		1,189,527

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

園児たちが市産材で木質化された備品に触れることで、木材とのふれあいが進む。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

木製備品を導入するだけでなく、空間整備と併せて森林環境学習用絵本の読み聞かせを行うことで、幼少期からの木育を推進する。

【新たな対策・視点及び改善点】

森林環境学習用絵本の読み聞かせによる木育推進のほか、保育園だよりなど等に森のはたらきや交付金事業活用について記載する。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	保育園・こども園19園（園児数約1,486名）
期待する波及効果	保護者への波及効果も期待できる

【公的関与の必要性】

市の管理施設であるため、公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

維持管理は市が主体的に実施する。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
回覧板・掲示板	実施前	園関係者や保護者に対して、園だより掲載や掲示板により、当該交付金事業の活用をPR
その他	実施後	木製備品にシールを貼り付け、当該事業活用の取組であることを周知
HP掲載	実施後	松阪市HPに掲載し、当該交付金活用事業であることをPR

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	保育園木育推進事業
-----	-----------

6(1). 写真



写真1

木製机椅子納品状況

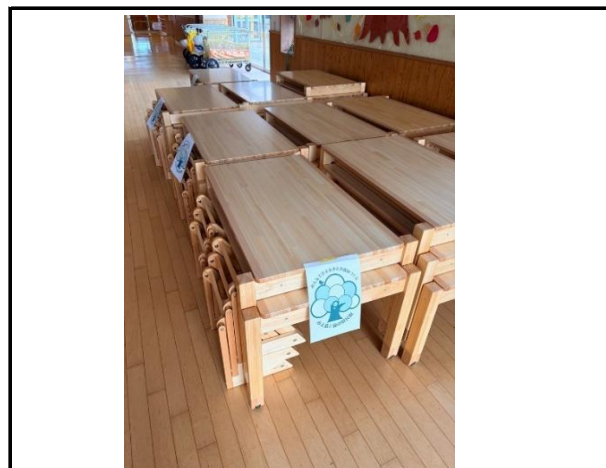


写真2

木製机椅子納品状況



写真3

県民税を活用し、松阪市にて作製した木育用絵本の読み聞かせ状況



写真4

掲示板で「みえ森と緑の県民税」の周知と森林の大切さや必要性を説明

写真5

写真6

写真5

写真6

令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
5	都市公園整備事業費				
事 業 費	5,526,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,600,000		926,400

1. 事業の目的

松阪市総合運動公園は面積の約6割を森林が占め、林内には遊歩道が整備されるなど、市民が自然と親しむことができる憩いの場となっている。

松阪市では当公園を「森林教育」のフィールドとして活用するため、東屋の施設整備をするとともに、森林へ導く遊歩道のマップ及び森林の効果等を示した看板の設置を行い、市民が森林の大切さなどを学びながら、さらに深く自然と親しむことのできる環境づくりに取り組む。

2. 事業の実績

【事業内容】

当公園に市産材を使用した東屋を1棟建設し、森林教育のフィールド整備を行う。（令和8年度より当公園内森林で森林体験活動等を予定。）

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施個所及び箇所数】

松阪市総合運動公園：東屋1棟

【事業量】

東屋1棟建設

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

競争入札により、専門的な技術を有する事業者を選定。これにより、公平性の担保と経費の削減にも繋がる。

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
5	都市公園整備事業費				
事 業 費	5,526,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,600,000		926,400

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

松阪市総合運動公園は、芝生広場・多目的グラウンド・多目的広場・スケートパーク・キャンプパークとたくさんの施設があり、各種大会やイベントが開催され、多くの市民に利用されている。

年間を通して目的を問わず多くの市民等に利用されている芝生広場に市産材を使用した東屋を設置することにより、当公園を「森林教育」のフィールドとして活用するための施設整備や身近な森林へと導く機能を有する施設の整備ができ、森林の大切さを学びながら身近な自然とさらに深く触れ合える環境づくりができる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

スポーツ大会や運動、遠足の目的地など多用途で活用されており、ロゴプレートや啓発看板を設置し森林等の重要性について幅広く周知を行う。

【新たな対策・視点及び改善点】

多くの県民、市民が利用する公園に新たに木製東屋を設置することで、夏場の熱中症対策にもつながり、来園者がゆっくり休憩しながら周辺の緑に触れられる機会の創出につながる。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	公園利用者約50,000名
期待する波及効果	利用者の家族や友人への波及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

市が管理する公園の設備であり、公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外使用については、公共施設であるため想定されない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
その他	実施後	建築後、木製プレートに「ロゴマーク」と「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」を表示したものを設置し、当該交付金活用事業であることをPR
のぼり設置	実施中	東屋施工中にのぼりを設置し、当該交付金活用事業であることをPR
HP掲載	実施後	松阪市HPに掲載し、当該交付金活用事業であることをPR
その他	実施後	森林へ導く遊歩道のマップと森林の効果等を示した看板を設置
チラシ等配布	実施後	当該交付金活用事業であることをPR

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

平成26年度からの継続事業。平成26年度～令和7年度の実績12箇所。

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	都市公園整備事業
-----	----------

6(1). 写真



写真1

施工中 のぼり設置状況



写真2

完成写真①



写真3

完成写真②



写真4

森林の効果等と遊歩道のマップを示した看板



写真5

森林の効果等と遊歩道のマップを示した看板



写真6

木製プレートにロゴマーク等表示

多 気 町

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

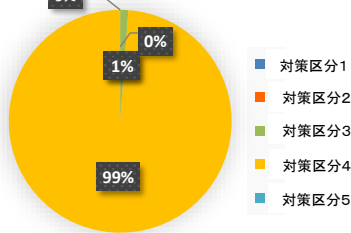
市町名	多気町	三重県
人口（人）	13,538	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	11.8％	11.6％
森林面積(ha)	5,915.33	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	5,915.33	348,561.87
森林率(%)	57.0％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	24.5	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5 基金積立
1	3	木とふれあう教育支援事業	96,800	96,000			96,000		
2	4	木とふれあう環境づくり事業	8,096,000	8,084,000				8,084,000	
				0					
計			8,192,800	8,180,000	0	0	96,000	8,084,000	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	7.83ha	3,100,900	3,000,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業（伐採調査）	0.319ha	21,324,600	10,500,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業（伐採施工）	0.685ha			

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	多気町は、三重県のほぼ中央部に位置し、森林面積は約57％を占めている。地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が実施されるべき人工林等多様な森林構成になっている。しかしながら、森林所有者の高齢化に伴い維持管理が難しい状況であり、森林の荒廃、里山では竹林の増加といった問題がある。そのため、県民税を利用し、地域住民に木に触れる機会を提供し、森林の役割について理解を促すことを目的に事業を実施する。
事業実施により期待される効果	県産木材を利用した木製備品を小学校、保育園に導入・配置したことにより、木に対する関心が高まり、また多くの地域住民が集まる公共野外施設「ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク（花と動物ふれあい広場）」に木製施設を配置したことにより、利用する多くの方に木の素晴らしさを実感してもらうことで、木材への親近感を深め「県民全体で森林を支える社会づくり」に貢献できる。 また、危険木を実践に伐採することにより、「災害に強い森林づくり」を実施することで、より安全・安心した住民生活を送ることができる。
情報発信への取組	多くの地域住民の方に、木製備品の素晴らしさを理解してもらい、また危険木の伐採により安全・安心した生活が送ることができるということを広報誌等で情報発信した。 また、小学校への木製備品の導入配置については、児童だけでなく保護者様への周知のため学校通信等で周知を行った。 保育園の木製備品（書架）の導入後に、森林に関する絵本の読み聞かせを行うことで、未就学児に対して森林への親しみを深めるとともに、その様子を保護者様への通信へ掲載いただくことで、情報発信を行った。

【様式集㉑】第10号様式（その1）（参考資料）

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税（千円）
1	③ 私有林整備	5,570	5,570
2	③ 私有林整備	6,570	6,570
3	⑥ 林道・林専道の整備等	496	496
4	⑩ 専門員の雇用	1,032	1,032
5	⑩ 専門員の雇用	64	64
6	⑦ その他（森林整備）	297	297
7	⑭ 木質バイオマス利用推進	547	547
8			
9			
10			
	合計	14,576	14,576

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	木とふれあう教育支援事業				
事 業 費	96,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			96,000		800

1. 事業の目的				
町内に居住する若年層の町民にとって、森林との関わりは年々希薄になってきており、森林の有する公益的機能やその享受についても把握していないことが懸念される。「県民全体で森林を支える社会づくり」の為に、その第1歩として身近にある緑や木を大切に思う意識づけをする必要がある。 そこで、小学生に身近な樹木を使い森林のことを学び、木工製作等を体験させることで、森林の役割や機能を知り、木の温もりや良さに気づき、木と親しむ機会を提供する。				
2. 事業の実績				
【事業内容】 小学生に対して木に触れてもらう機会を提供するため、森林に関する講義を実施し、併せて木工教室も実施する。 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 多気町 【実施個所及び箇所数】 外城田小学校 【事業量】 木工授業：箸づくり体験 森林教育授業：森林の生態系、食害、災害、植林、森林の多様性について				
3. 事業の実施方法				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】				
実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		外城田小学校
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
みえ森づくりサポートセンターの紹介				

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	木とふれあう教育支援事業				
事 業 費	96,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			96,000		800

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

子供たちに森林・環境の大切さや役割を学んでもらい、自ら県産材に触れて木工工作等を体験することで、県産材を身近に感じ、「ものを作る喜び」を知ってもらうことができる。体験を通して自然の大切さを学び、自然に対する理解を深め、より森林に関心を持つきっかけとなる。

子供たちが保護者の方へ体験したことを話すことで、子供から大人へとの森林への関心にも繋がる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

木工授業では、森について身近に感じてもらうため、木材から自分だけの作品を作ること楽しさや、木材を見る、触れる、香る、木の話の聞くなど五感を感じながら木と親しむ体験を行うよう工夫した。また、作品づくりや過程を保護者の方へ伝えることで、保護者への森林に対する関心も繋がられた。

森林教育授業では、森林の生態系や多様性が自分たちの生活に深いつながりがあること画像や映像を通じて伝え、シカや熊の食害による被害や実際に熊に遭遇した映像を流すことでより関心を持ってもらうよう工夫した。

また、森林整備による森の美しさと災害時の森林の変貌を説明することで、魅力と危険の両方について理解を深めることができた。

【新たな対策・視点及び改善点】

自ら県産材の木材を利用し、作品を制作することで森林に関心を持つことが期待でき、木製備品の導入とも連携した、書籍や授業等で木材に触れて、見て、香る、森林の美しさと危険の話の聞くなど五感を感じながら親しむ体験を設けることができたため、引き続き続けていきたい。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	小学生（10人）
期待する波及効果	利用者及び保護者にも同様に森林に対する理解が広がる。

【公的関与の必要性】

木工工作等を体験することで森林教育活動が継続的に行われる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

なし

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	実施後	広報誌「広報たき12月号」において、事業内容を掲載した。
学校だより等掲載	実施後	外城田小学校10月の学校だよりにおいて木工授業の様子を掲載いただいた。
その他	実施後	中日新聞・夕刊三重へ取材を依頼し、10月28日に中日新聞、10月22日に夕刊三重へ掲載いただいた。
TV（行政チャンネル等）	実施後	松阪ケーブルTVと行政チャンネルにて放送いただいた。 https://www.youtube.com/watch?v=4Pn5sWiDUoE

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

授業を受けた生徒10名より、事業者に対して一人一人感謝の手紙をいただいた。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とふれあう教育支援事業
-----	--------------

6(1). 写真



写真1

木工授業：森林教育（外城田小学校）



写真2

木工授業：森林教育（外城田小学校）



写真3

木工授業：森林教育（外城田小学校）



写真4

木工授業：箸作り体験（外城田小学校）



写真5

木工授業：箸作り体験（外城田小学校）



写真6

木工授業：箸作り体験（外城田小学校）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
事業名	木とふれあう教育支援事業				

6(3).その他

多気町立外城田小学校

2025年10月31日 第16号

学校だより ひとみ輝く

③ 4年防災学習

4年生は、社会科の学習で防災のことにについて学びます。16日には、役場総務課の方からお話、その後、防災倉庫の見学をさせていただきました。学習を進める中で、避難所のことも学び、27日には、実際に避難所設営の体験も行いました。9月に外城田地区防災訓練で実施したものと同一ような装備を体験しました。子どもたちなりに、避難所で自分たちにもできることを考えられた学習となりました。



④ 6年環境学習 ～箸作り～

今回は、森と緑の県民税を活用して森林が作用する環境への影響を宮川森林組合の方から座学で学び、そのあと、箸づくりを体験しました。幅広いお話でしたが、これまで学習をしているので、環境の変化が起きていることは子どもたちにも伝わっていました。後の箸づくりでは、「かな」を使って木を削っていきました。「人は物が作れる、作ったものを使えるのも人」。だからこそ、どんな使って大事にしてほしいというメッセージが心に残りました。



⑤ 後期委員会始動

運動会が終わって、後期がスタートし、委員会のメンバーも入れ替わりしました。自分たちが気持ちよく学校生活を送れるよう当番や仕事をしてくれることでしょう。それぞれの委員会では、イベントやお知らせ等を考えていました。



⑥ 避難訓練

今回は、休み時間に地震が起こり、けが人の対応を想定した訓練と、地震によって危険物を避けて歩く体験を行いました。運動場へ避難した時、けが人がいることは、報告者には伝わらず、あとの反省で振り返りをしました。また、石を敷き詰めた上でゴツゴツ感を、ガラスだったらと想定して枯れ葉や木々を避けてすり足で歩いてみました。避難訓練は、自分のいのちを守る大事なスキルを身につける学習です。いろいろなことを想定しながら、学習していきたいと思います。



⑦ 多気町制 20 周年記念

26日は、多気町制20周年をお祝した記念式典がありました。学校からは4年生の子どもたちが「未来へのメッセージ」と「ステージ発表」に協力しました。メッセージでは、多気町の4年生がそれぞれに思っている多気町への思いが伝わってきました。ステージ発表では、4年生から2人が代表として発表しました。緊張したと思いますが、2人とも立派に発表できました。また、応援にかけつけてくれた4年生の仲間もいて、心強さを感じました。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
2	木とふれあう環境づくり				
事業費	8,096,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			8,084,000		12,000

1. 事業の目的

町内に居住する若年層の町民にとって、森林との関わりは年々希薄になってきており、森林の有する公益的機能やその享受についても把握していないことが懸念される。「県民全体で森林を支える社会づくり」の為にも、その第1歩として身近にある緑や木を大切に思う意識づけをする必要がある。

そこで、未就学児や児童生徒をはじめ、様々な町民に森林や木材についてふれあう場を提供することで、森と町民との関係を深める対策を進める。

2. 事業の実績

【事業内容】

野外公共施設（ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク（花と動物ふれあい広場））に木製コミュニケーションスクエアを配置し、保育園には木製書架1台、木製玩具、小学校には木製机を導入した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

多気町

【実施個所及び箇所数】

野外公共施設：ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク（花と動物ふれあい広場）

保育園：相可保育園、佐奈保育園、津田認定こども園、勢和保育園

小学校：津田小学校、相可小学校、佐奈小学校、外城田小学校、勢和小学校

【事業量】

ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク（花と動物ふれあい広場）：木製コミュニケーションスクエア 1基

相可保育園：書架 1台

相可保育園、佐奈保育園、津田認定こども園、勢和保育園：木製玩具 計4セット

津田小学校、相可小学校、佐奈小学校、外城田小学校、勢和小学校：机・椅子 計96セット

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		
物品購入	製材業者	補助事業ではない		木製玩具4セット

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

県産材木材の取引があり、各施設の要望に応じることができる加工製品化を行っている松阪飯南森林組合に委託した。木製玩具についても県産材木材の取引があり、未就学児に求められる木育に繋がる玩具を製作可能な株式会社誠文社へ発注した。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	木とふれあう環境づくり				
事 業 費	8,096,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			8,084,000		12,000

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】
玩具及び備品に木材を使用することで、利用者が木の温もりや良さに気づき、森林に関心をもつきっかけとなる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】
木製備品を納品した際に、保護者も含めて、広報やインターネットにて情報発信を行うことで、幅広く木材を活用する良さを知ってもらうことができた。
また、より森林を身近に感じてもらうように小学校等で木育授業も併せて実施し、森の多様性について授業を行った。
未就学児においては、書架の導入と同時に森林に関する本の読み聞かせを行うことで、森林への親しみを深める工夫を行った。

【新たな対策・視点及び改善点】
木製備品の導入の際に、森林が自分たちの社会に対して、関係していくかを書籍や授業等で物に触れ、見て、聞くといった五感に触れながら伝えられたため、引き続き続けていきたい。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地域住民、小学生（673人）、保育園児（180人）
期待する波及効果	利用者及び保護者にも同様に森林に対する理解が広がる。

【公的関与の必要性】
導入した木製備品を利用することで森林教育活動が継続的に行われる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
各施設の管理者が定期的に点検を行う。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 （シール・プレート等）	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることがわかるように、導入した備品に県民税のシールや刻印を実施。
広報誌掲載	実施後	広報誌「広報たき5月号」において、事業内容を掲載。
学校だより等掲載	実施後	小学校や保育園の子供たちだけでなく保護者への案内として、学校だよりの掲載、保護者へのお知らせの発信を行った。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

別紙のとおり

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
事業名	木とふれあう環境づくり				

6(1). 写真



写真1

木製コミュニケーションスクエア（花と動物ふれあい広場）



写真2

木製書架（相可保育園）



写真3

木製玩具（認定こども園）



写真4

木製玩具（認定こども園）



写真5

机・椅子（小学校5校）



写真6

机・椅子（小学校5校）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
事業名	木とふれあう環境づくり				

6(3).その他

お知らせ詳細

お知らせ詳細

New 2026/03/26 09:30 ~ 2026/04/26 09:30

県産材を使った絵本棚を整備しました！

多気町こども課からのお知らせです。
三重県では「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日にみえ森と緑の県民税が導入されました。この税を活用した事業の一部として、今回、多気町では相可保育園に県産材を使った木製絵本棚1台を整備しました。

こどもたちに木の温もりを身近に感じてもらい、森林について関心を持ってもらえる学びの場づくりに活用していきます。

添付



対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
事業名	木とふれあう環境づくり				

6(3).その他

勢和小学校だより

明日も行きたくなる勢和小
～楽しく笑って過ごせるように、目標に向かって頑張って、やって、考え、工夫しよう～



発行日：令和8年4月15日 第2号

朝の昇降口は元気な挨拶がいっぱい

先日入学式を終えたばかりの1年生には感心することがあります。それは、上級生を手本に、朝の昇降口でお辞儀をして挨拶する人が多いことです。

入学式で素敵な挨拶をする上級生の話をしたところ、1年生もその姿を手本にしているようで、本校の素敵な伝統になりそうです。



1年生に新しい机を導入 ～森と緑の県民税を活用～



三重県で平成26年から導入された「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるための「みえ森と緑の県民税」を活用し、新1年生のために机が設置されました。

新しい机で1年生が小学校生活を気持ちよくスタートできます。ありがとうございます。

入学式を支えた6年生



4月6日に開催した入学式では、春休み中に6年生が式場を設営したり、1年生教室を飾り付けたりするなど、力を発揮していました。転入した職員が一月に、「自分たちで考えて行動できている」、「真面目で一生懸命に取り組んでいて感心した」などと感想を持つほどでした。まさに学校のリーダーです。

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
事業名	木とふれあう環境づくり				

6(3).その他

Taki's Information

みえ森と緑の県民税交付金 対策事業の取り組みについて

「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」とは、森林づくりを県民みんなの力で担っていく取り組みで、各市町が地域の実情に沿った森林整備等を行います。



多気町での令和7年度の取り組みについてご紹介します

① 流域防災機能強化対策事業




【実施前】 【実施後】

山腹崩壊の発生源となる斜面上部、土壌侵食のおそれがある渓流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を実施し、流域の防災機能の強化を図りました。(串川)

② 災害からライフラインを守る事前伐採事業




【実施前】 【実施後】

台風等の倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採する取組を野中地区の県道松阪度会線にて実施しました。

③ 木と触れ合う環境づくり事業



花と動物ふれあい広場への備品導入
(コミュニケーションスクエア)



保育園への備品導入(木製書架)



小学校への備品導入(机・椅子)

野外公共施設・保育園・小学校に県産材を使った備品を導入しました。

問い合わせ先 農林課 ☎0598(38)1117

60歳以上の多気町にお住まいの方

会 員 募 集 中

健康維持 生きがい
仲間づくり スキマの時間

企業・個人様からのご依頼も受付中

公益社団法人多気町シルバー人材センター
多気町四正田587-1 ☎ 38-3880

就労継続支援事業所 I'm(アイム)
お気軽に相談ください!!

I'm(アイム)は、障害者総合支援法に基づく福祉サービスのひとつである就労継続支援A・B型です。「障がい」に隠れたのびのびとした可能性を、仕事だけでなく休日もサポートさせていただきます。

仁田706-7 ☎0598(37)2566
<http://www.mizuhonosato.or.jp>

- ・就労継続支援事業所 I'm
- ・入会サービス・延べ人数支援
- ・通年リハビリテーション
- ・訪問リハビリテーション
- ・居宅介護支援事業所



公益社団法人多気町
みずほの里

明 和 町

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

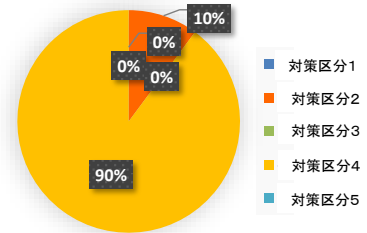
市町名	明和町	三重県
人口（人）	22,215	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	12.9%	11.6%
森林面積(ha)	311.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	311.00	348,561.87
森林率(%)	8.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.2	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	松林整備事業	1,782,000	1,680,000		1,680,000			
2	4	木とのふれあい事業	5,346,000	5,200,000				5,200,000	
3	4	幼児期からの木とのふれあい事業	9,658,000	9,658,000				9,658,000	
計			16,786,000	16,538,000	0	1,680,000	0	14,858,000	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	明和町は三重県の中南部に位置し、総面積41.04平方キロメートルで、民有林面積は310.97ha、保安林は33.87ha（うち防風保安林は18.90ha）存在する。そのうち、マツの面積が210.24haであり、その占める割合は67.6％であり県平均（7.9％）よりかなり高い値となっている。しかし、松くい虫被害等により森林の持つ公益的機能の低下が懸念されることから、本町においては次に挙げる事業を行う。 「災害に強い森林づくり」の推進として、沿岸沿いの防災林の役割及び景観を保持するため、松林の継続的な保護に取り組み、また、地域住民及び観光客の安心と安全を確保する。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」として小学生のみでなく、多くの地域の方に三重県産材の備品に触れていただくことで、森林の大切さや自然環境について考える場を創出する。
事業実施により期待される効果	事業1について、南海トラフ地震発生時に懸念されている津波の影響を緩和する防災林（防風林）としての役割を維持するとともに、キャンプ場、観光地としての景観保持を行い、憩いの場を創る。 事業2について、日常的に使用する机・椅子に県産材を利用することで、木質の良さや温かさを実感してもらう。 事業3について、日常的に使用する遊具等に県産材を利用することで、未就学児に対しても木質の良さや温かさを実感してもらい、その後の森林教育につなげていく。
情報発信への取組	取組内容について町のホームページに掲載するほか、文書や学校だより等に掲載することで関係者への周知を図るとともに、事業2・3においては導入する備品に焼印等でロゴマークを印字すること等で、みえ森と緑の県民税のPRを行った。

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑬ 木造公共建築物の整備等	3,782	3,782
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	3,782	3,782

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	松林整備事業				
事業費	1,782,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,680,000		102,000

1. 事業の目的

町内沿岸部（川尻・大淀地内）にかけて広がる山林・保安林指定箇所において、松くい虫による松林の立ち枯れが発生している。当該地域には、キャンプ場や飲食店もあり多くの利用者が見込まれるため、交付金の活用により松林整備を行うことで、防風林としての役割と景観を保持し、地域住民や観光客の安心と憩いの場を創る。

2. 事業の実績

【事業内容】

当該地域に植生している松林の保全のため、薬剤の地上散布と枯木の伐倒を実施。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

明和町

【実施箇所及び箇所数】

明和町大淀甲及び川尻地内（3区域）

【事業量】

地上散布：9.7ha

伐倒本数：20本

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合 株式会社土屋建設	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門知識を有しており、適切な事業実施が見込めたため。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	松林整備事業				
事 業 費	1,782,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,680,000		102,000

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

南海トラフ地震発生時に懸念されている津波の影響を緩和する防災林（防風林）としての役割を維持する。また、キャンプ場、観光地としての景観保持を行い、憩いの場を創る。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

適宜実施するとともに、必要な個所を選定し効果的に取り組む。

【新たな対策・視点及び改善点】

防災林（防風林）としての機能が低下しないよう、注視しながら取り組む。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	キャンプ場利用客、周辺住民、周辺児童、観光客 等（5,000人見込み）
期待する波及効果	利用者の増加等が見込まれる。

【公的関与の必要性】

保安林及び地区保全森林のため、森林組合等専門知識を有する機関と連携しながら進めていく必要があるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

保安林及び地区保全森林であるため、転用や目的外使用は想定されない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
その他	実施前	取組内容について関係者へ文書により周知。
施工看板に掲示	実施中	施工期間における周辺利用者への周知。
HP掲載	実施後	取組内容について町HPにて掲載。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	松林整備事業
-----	--------

6の（1）. 写真



写真1

・ 薬剤散布写真



写真2

・ 伐倒後写真



写真3

・ 伐倒後状況写真



写真4



写真5



写真6

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	木とのふれあい事業				
事 業 費	5,346,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,200,000		146,000

1. 事業の目的

三重県産材の小学校備品（机・椅子）を購入し、普段の学校生活において使用する中で、児童に木のぬくもりを肌で感じてもらうとともに、森林への理解を深め、木を大切にする心を育む。

2. 事業の実績

【事業内容】

令和8年4月に新設した明和北小学校の新入生へ、三重県産木材を使用した学校備品（机・椅子）を購入する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

明和町

【実施個所及び箇所数】

明和北小学校

【事業量】

木製机・椅子 135組

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

導入事業者は三重県産の中接材を使用して児童用机椅子に加工できる事業者であり、納品の実績があるため。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	木とのふれあい事業				
事 業 費	5,346,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,200,000		146,000

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

日常的に使用する机・椅子に県産材を利用することで、木質の良さや温かさを実感してもらう。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

児童や保護者、学校を訪れた人が関心を示すよう、明和北小学校は各所に木材を使用している。その中でさらに関心を高められるよう、実際に6年間使用する机椅子に県産材を利用している。

【新たな対策・視点及び改善点】

児童に加え保護者や境域現場で働く職員への周知を行い、木材利用に関する情報発信に努める。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	明和北小学校新入生 140名程度
期待する波及効果	日常的に利用する机・椅子に県産材を利用することで、学校に関わる方々に木の良さを感じてもらうことが可能。

【公的関与の必要性】

町立学校施設であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町管理備品として管理を行い、目的外使用や転用は行わない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	導入する机・椅子に焼印等でロゴマークを印字する。
HP掲載	実施後	取組内容について町HPにて掲載。
学校だより等掲載	実施後	学校連絡アプリで配信。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とのふれあい事業
-----	-----------

6の（1）. 写真



写真1

・納品写真



写真2

・ロゴマーク印字写真

写真3

写真4

写真3

写真4

写真5

写真6

写真5

写真6

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
3	幼児期からの木とのふれあい事業				
事 業 費	9,658,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			9,658,000		0

1. 事業の目的

令和8年4月に開園した町立ささふえこども園において、三重県産材木製遊具等を購入し、園児に木のぬくもりを肌で感じてもらうとともに、森林への理解を深め、木を大切に作る心を育む。

2. 事業の実績

【事業内容】

令和8年4月に開園したささふえこども園において、三重県産木材を使用した木製遊具等の備品を購入する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

明和町

【実施個所及び箇所数】

ささふえこども園

【事業量】

木製遊具等一式

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造事業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札により選定。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	幼児期からの木とのふれあい事業				
事 業 費	9,658,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			9,658,000		0

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

日常的に使用する遊具等に県産材を利用することで、未就学児に対しても木質の良さや温かさを実感してもらい、その後の森林教育につなげていく。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

日常的に木製遊具に触れてもらい、木の良さや温かさなどを実感することで木や森林に対する親しみを持ってもらう。

【新たな対策・視点及び改善点】

児童に加え保護者や教育現場で働く職員への周知を行い、木材利用に関する情報発信に努める。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	認定こども園園児約150名
期待する波及効果	日常的に利用する遊具に県産材を利用することで、こども園に関わる方々に木の良さを感じてもらうことが可能。

【公的関与の必要性】

町立こども園であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町管理備品として管理を行い、目的外使用や転用は行わない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	導入する備品に焼印等でロゴマークを印字する。
HP掲載	実施後	取組内容について町HPにて掲載。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	幼児期からの木とのふれあい事業
-----	-----------------

6の（1）. 写真



写真1

・完成写真



写真2

・ロゴマーク印字写真

写真3

写真4

写真3

写真4

写真5

写真6

写真5

写真6

大 台 町

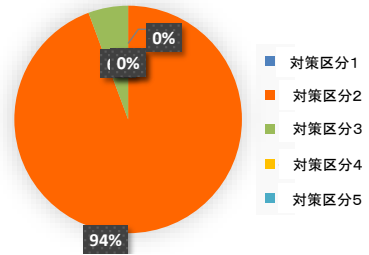
令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧、令和6年度版森林・林業統計書による）

市町名	大台町	三重県
人口（人）	7,984	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	8.7%	11.2%
森林面積(ha)	33,739.64	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	27,920.82	348,212.01
森林率(%)	93.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0	11

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						基金積立
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	集落周辺等危険木伐採事業	12,130,800	12,000,000		12,000,000				
2	3	森林教育事業①	481,800	450,000			450,000			
3	3	森林教育事業②	281,600	270,000			270,000			
				0						
計			12,894,200	12,720,000	0	12,000,000	720,000	0	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	45.33ha	25,037,100	23,190,000	間伐（災害緩衝林及び環境林・特定水源地域）
災害からライフラインを守る事前伐採事業	1.0ha	36,849,387	18,089,000	危険木伐採1,012本
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
・大台町は三重県最高峰の大台ヶ原山を有し、三重県一の森林率を有する自然豊かな地域であり、豊かな生態系や生物多様性を守りながら持続可能な発展を目指している地域として、ユネスコエコパークに登録されています。日本有数の多雨地域で上流域は1,000m級の山々が囲む急峻な地形となっており、過去に集中豪雨で大規模な土砂災害が発生する苦い経験をしました。このような自然災害に備え「みえ森と緑の県民税」を活用した災害に強い森林づくりをし、地域住民の安全を確保し、自然と共生する地域社会を形成します。 ・森を育む人づくりとして、地元学生を対象に森林が持つ生物多様性と自然の循環について学習し自己啓発を促すことにより森林林業の担い手のきっかけづくりを推進し、地元児童に木材と触れ合う機会を作り、森林の大切さを学び自然環境を大切にする心を育む人づくりを推進します。
事業実施により期待される効果
災害に強い森林づくりとして、集落周辺等危険木伐採事業、流域防災機能強化対策事業、災害からライフラインを守る事前伐採事業を実施し、道路沿いや集落裏等の危険木を伐採することで、通学路や生活道路といった地域住民の安全な生活環境を確保し、交通障害や停電被害の減少と孤立集落の発生を予防します。 森を育む人づくりとして森林環境教育を実施し、地域の特色であるユネスコエコパークの自然と共生する社会を、木と触れあい森林の大切さを学び循環する自然環境を大切にする心を育む人づくりをします。
情報発信への取組
全ての事業において、事業実施時にのぼり旗の設置、事業終了後は、広報誌、ホームページへ掲載し情報を発信しました。 森林教育においては、記者クラブへ情報発信を行い、ケーブルテレビや新聞記事で放送や記事が掲載されました。 学校が発信するSNS（インスタグラム）に投稿されました。 どんとこい大台祭りの森林課ブースで県民税のパネル展示と緑の募金活動を実施しました。

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	③ 私有林整備	90,462	90,462
2	⑥ 林道・林専道の整備等	33,000	16,500
3	⑦ その他（森林整備）	1,463	1,463
4	⑦ その他（森林整備）	25,491	25,491
5	⑫ その他（人材育成等）	3,251	3,251
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	153,667	137,167

令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	集落周辺等危険木伐採事業				
事 業 費	12,130,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			12,000,000		130,800

1. 事業の目的

本事業では、対応が難しい集落周辺の危険木の事前伐採を行い、交通障害及び停電被害の減少及び孤立集落の発生を予防し、地域住民の安全を確保する。

2. 事業の実績

【事業内容】

自治会と協議し、通学路や集落裏等、孤立集落が発生しやすいエリアを重点的にリスクの高いエリアを選定し、危険木の事前伐採を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

大台町

【実施個所及び箇所数】

伐採1号（大台町下真手・清滝地内）

伐採2号（大台町下真手地内）

伐採3号（大台町明豆地内）

調査1号（大台町下真手・明豆・清滝地内）

調査2号（大台町下三瀬・上真手・清滝・菅木屋地内）

【事業量】

伐採1号（0.18ha 28本）、伐採2号（0.02ha 51本）、伐採3号（0.04ha 48本）

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林整備・危険木伐採の技術を有する町内の認定事業体を対象とした指名競争入札の結果、宮川森林組合に委託した。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	集落周辺等危険木伐採事業				
事 業 費	12,130,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			12,000,000		130,800

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

集落裏や通学路といった集落周辺の危険木を事前に伐採することで、倒木による交通障害や停電被害の減少が見込まれ、また孤立集落の発生を予防することで、地域住民の安全と安心な生活を確保する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

集落裏や通学路等、孤立集落の発生が見込まれる箇所を、自治会と協議し危険箇所を選定し事業を実施しました。

【新たな対策・視点及び改善点】

本事業では優先度が低く、これまで伐採が進まなかった地域の危険箇所を自治会と共有することで事業効果の向上を狙いました。また伐採を行った結果、これまでは見通しが悪く暗く不安な道路が明るくかつ視認性が良くなり、安心感が持てるようになりました。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	直下の集落（下真手地区：110戸・明豆地区：46戸・清滝地区：30戸）
期待する波及効果	風倒木による交通障害及び停電被害の減少。 通学路の安全確保と孤立集落発生の予防。

【公的関与の必要性】

地域や個人では伐採が困難な道路や電線、住宅などが接近している危険木を伐採することで地域住民の安全と安心を確保するため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

所有者に事業の趣旨について十分説明を行い今後も適切な森林管理を行っていくように指導している。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施前・中・後	施工箇所において、施行中・後にのぼり旗を設置
HP掲載	実施後	県民税の活用及び事業内容と写真を掲載をHPに掲載
広報誌掲載	実施後	県民税の活用及び事業内容と写真を広報誌に掲載

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

昨年強風で折れた枝が車に接触する事故が発生した箇所を優先して伐採を行い安全性が高まった。
台風時の危険性が減ったことと日常の通勤や通学で通る道路が明るくなり安心して通れるようになりました。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	集落周辺等危険木伐採事業
-----	--------------

6(1). 写真



写真1

伐採前（下真手地内）



写真2

伐採後（下真手地内）



写真3

伐採前（下真手地内）



写真4

伐採後（下真手地内）



写真5

伐採前（下真手地内）



写真6

伐採後（下真手地内）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	集落周辺等危険木伐採事業
-----	--------------

6(1). 写真



写真1

伐採前（明豆地内）



写真2

伐採後（明豆地内）



写真3

伐採作業の状況



写真4

伐採作業の状況



写真5

伐採作業の状況



写真6

のぼり設置の状況

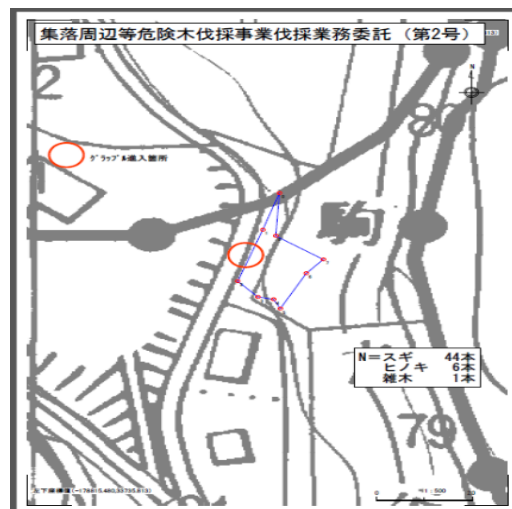
対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
事業名	集落周辺等危険木伐採事業				

6(3).その他

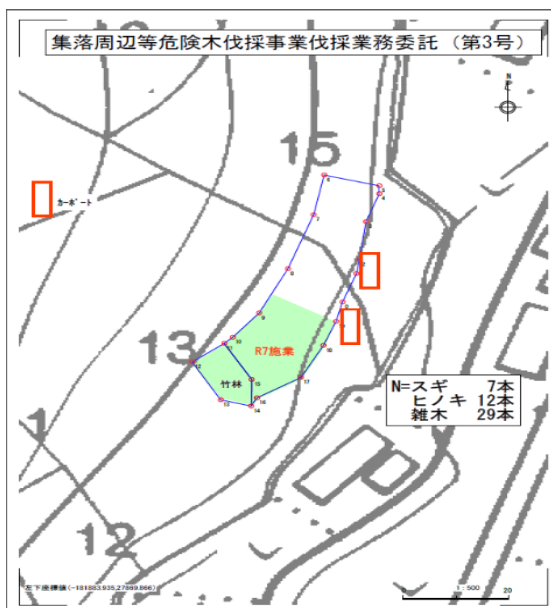
1号箇所（下真手地内1）



2号箇所（下真手地内2）



3号箇所（明豆地内）



令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	森林教育事業①				
事 業 費	481,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			450,000		31,800

1. 事業の目的

地元高校の学生を対象に、森林環境教育についてのワークショップを実施。森林について学びの機会を提供し林業事業者との交流を通じて、森林が持つ生物多様性と自然の循環について学習し自己啓発を促すことにより、森林林業の担い手となるきっかけづくりを推進します。

2. 事業の実績

【事業内容】

森林の利活用を学ぶ体験学習として、キノコ栽培授業を行い、原木となる樹種を新たに植樹し、森林の循環と利活用について学ぶワークショップを行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

大台町

【実施個所及び箇所数】

昂学園 環境技術系列 2年生 7名（3日間に分け開催）

【事業量】

キノコ栽培体験（菌種）シイタケ（原木）コナラ：本伏せ作業、原木玉切り作業、菌打ち作業
植樹体験：キノコの原木となるコナラ（地域性苗木）

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林林業に精通し森林環境学習の経験のある宮川森林組合を選定し委託した。

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	森林教育事業①				
事 業 費	481,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			450,000		31,800

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

昂学園は町外県外から就学している学生が多いため、町の身近な森林で木材を利活用したワークショップを通じて、森林が持つ生物多様性等や水源涵養機能・地球温暖化対策等を学び、自己啓発を形成する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

植栽から本伏せ、玉切り、菌打ちといった樹木から林産物を栽培し森林利活用を学び、森の循環による水源涵養機能や地球温暖化対策に重要な役割を果たす森について、学習する機会を創設した。

【新たな対策・視点及び改善点】

卒業生が林業の現場で働いていることを直接本人から聞くことでより親しみやすくした。
三重県の林業体験と連携させチェーンソー体験やグラップルやプロセッサの体験乗車を実施した。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	昂学園 環境技術系列 2年生
期待する波及効果	生徒の身近にある森林から生まれる木材利用の多様性を学ぶ

【公的関与の必要性】

町内の高校と連携し身近な森林から森の循環（公益機能）や林産物に対する理解を深め、森林と林業を学ぶため

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等でなく転用や目的外使用は想定されていない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
標識・標柱等設置	実施前・中・後	原木キノコ栽培箇所に木製の看板を設置
のぼり設置	実施中	施行中ののぼり旗を設置
HP掲載	実施後	県民税の活用及び事業内容をHPに掲載
TV（行政チャンネル等）	実施後	MCTVによる放送。新聞による記事掲載。
広報誌掲載	実施後	県民税の活用及び事業内容を広報誌に掲載

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

教師：生徒の職場体験や就職相談や町・県と連携して林業を知る良い機会になりました。今後も継続していきたい。

生徒：自然の恵みを活かせる原木シイタケはとても美味しかった。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林教育事業①
-----	---------

6(1). 写真



写真1

本伏せ作業



写真2

植栽体験（防鹿柵設置）



写真3

玉切り作業



写真4

駒菌の接種と穿孔作業



写真5

シイタケの収穫



写真6

集合写真（年3回で開催）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林教育事業①
-----	---------

6(3).その他

三重県と連携し林業体験が開催されました
伐倒見学



チェーンソー体験



プロセッサ、グラップルの試乗体験



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林教育事業①
-----	---------

6(3).その他

新聞記者とケーブルテレビが授業の様子取材



町広報への掲載



昂学園高等学校 森林教育

2月9日と2月16日に菌地内で、県民全体で森林を支える社会づくり、森を育む人づくりを目的に、昂学園高等学校の生徒(環境技術系列2年生)を対象に森林教育実習を開催しました。

参加した生徒は、宮川森林組合の職員に教わりながら、原木の玉切り作業やキノコの菌打ち作業を体験し、森林の多面的価値の理解を深めました。



高校のインスタ（SNS）



令和 7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	森林教育事業②				
事 業 費	281,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			270,000		11,600

1. 事業の目的

地元小学校の体験学習プログラムに地元木材を活用した木工体験を組み込み実施する。
ワークショップを通じて木材と触れ合う機会を作り、森林の大切さを学び自然環境を大切に作る心を育む人づくりを推進する。

2. 事業の実績

【事業内容】

箸づくり体験（地元木材樹種：ヒノキ、ヤマザクラ、タブノキ、ネムノキ、ヒメシャラ、タムシバ、アラカン等）

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

大台町

【実施個所及び箇所数】

宮川小学校（4・5・6年生）14名、三瀬谷小学校（5・6年生）48名

【事業量】

宮川小学校 箸づくり体験2回、三瀬谷小学校 箸づくり体験2回

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林林業に精通し森林環境学習の経験のある宮川森林組合を選定し委託した。

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	森林教育事業②				
事 業 費	281,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			270,000		11,600

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

地元の身近な森林から生まれる木材と触れ合う機会を作り、森林の大切さを学び自然環境を大切にする心を形成する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

宮川小学校の箸づくりは選択課外授業のため年2回目開催。三瀬谷小学校では5年生と6年生でそれぞれ授業を開催しました。多様な樹種から箸づくりを経験し木の違いや特徴を体験させた。町の木であるアラカシを材料に加えた。

【新たな対策・視点及び改善点】

三瀬谷小学校からの要請で外部講師として、理科の授業を別途開催しました。
町の森林や生き物など身近な森林を学ぶ授業を行いました。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	宮川小学校（4・5・6年生）14名、三瀬谷小学校（5・6年生）48名
期待する波及効果	児童の森林や木材への親しみと愛着を深める

【公的関与の必要性】

町内の小学校と連携し身近な森林と環境の保全を学ぶ必要があるため

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等でなく転用や目的外使用は想定されていない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施行中にのぼり旗を設置
HP掲載	実施後	県民税の活用及び事業内容をHPに掲載
広報誌掲載	実施後	県民税の活用及び事業内容を広報誌に掲載
TV（行政チャンネル等）	実施後	MCTVによる放送。新聞による記事掲載。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

教師：もっと町内の自然を学ぶために、外部講師として町職員に派遣依頼し、別途理科の授業を開催しました。

児童：森林の割合が三重県一多くてびっくりした。色々な所で木材が使われているので木を大切にしたい。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林教育事業②
-----	---------

6(1). 写真



写真1

カンナと削り出した箸



写真2

町産の木材



写真3

カンナ作業の様子



写真4

カンナ作業の様子



写真5

集合写真（三瀬谷小学校5年生）



写真6

集合写真（三瀬谷小学校6年生）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林教育事業②
-----	---------

6(1). 写真



写真1

完成したマイ箸



写真2

カンナ作業の様子



写真3

カンナ作業の様子



写真4

カンナ作業の様子



写真5

集合写真（宮川小学校1回目）



写真6

集合写真（宮川小学校2回目）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
事業名	森林教育事業②				

6(3).その他

新聞記者とケーブルテレビが授業の様子を取材



広報への記事を掲載



宮川小学校森林学習

6月9日、宮川小学校の4～6年生7名が、宮川森林組合唐櫃作業所で、みえ森と緑の県民税を活用した森林教育「箸づくり体験」に参加しました。この取組は、森林の大切さを学び自然を大切にすることを目的としています。

児童たちは、身近な木材である杉と桧をカンナで削り、世界に一つだけの自分の箸を作成しました。



三瀬谷小学校 森林教育

1月15日、三瀬谷小学校で、森林について学ぶ特別授業として5、6年生を対象に森林教育を行いました。

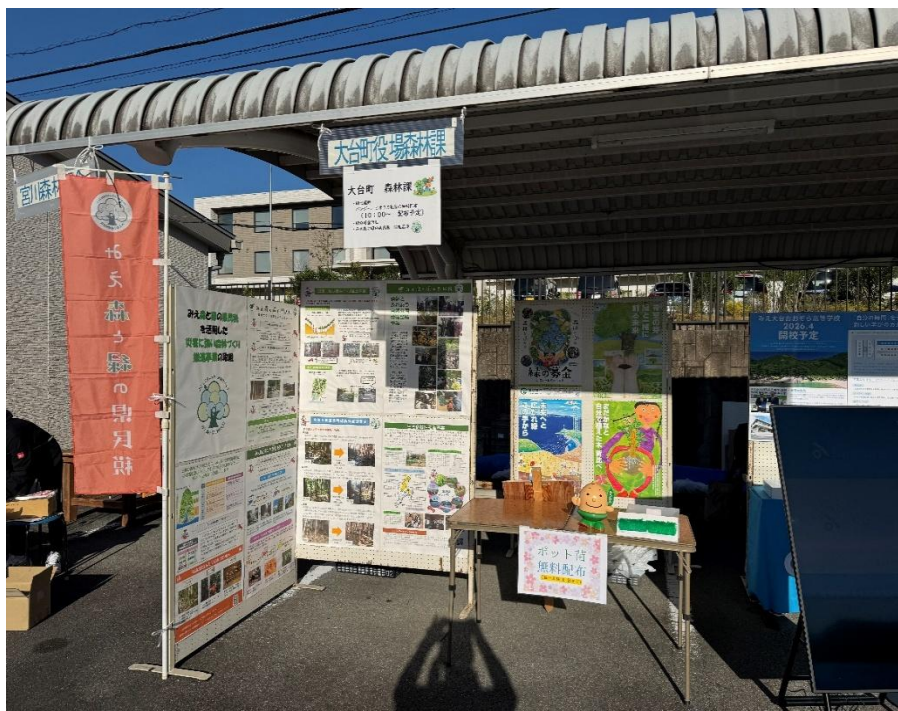
この取組は、地元の木材を活用した箸づくり体験を通して森林の大切さを学び、自然を守る心を育むことを目的に行っています。

参加した児童は、森林のはたらきや、私たちの暮らしと森との関わりについて理解を深め、自分だけのオリジナルの箸を作りました。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
事業名	イベント等での普及啓発活動				

6(3).その他 大台町

どんとこい大台祭りで森林課ブースを設置してみえ森と緑の県民税のパネル展示と緑の募金活動を実施



伊 勢 市

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

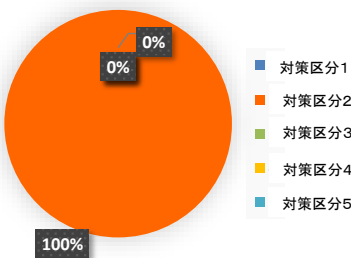
市町名	伊勢市	三重県
人口（人）	117,928	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	11.1％	11.6％
森林面積(ha)	10,959.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	10,959.00	348,561.87
森林率(%)	52.6％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.7	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	森林整備事業	7,975,000	7,975,000		7,975,000				
2	2	危険木除去事業	8,577,800	6,368,000		6,368,000				
				0						
計			16,552,800	14,343,000	0	14,343,000	0	0	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	
①森林整備事業	伊勢市の沿岸部には防風林として松林が広がっているが、近年の病虫害被害により枯れ松が激増し、保安林としての機能が低下し、倒木被害が心配されていることから病虫害被害を未然に防ぎ、地域住民の安全や防風林の機能維持を図る。
②危険木除去事業	市内にある三郷山、音無山等に残存している危険木を除去することで危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安全・安心な環境を提供す
事業実施により期待される効果	
①病虫害被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。	
②三郷山、音無山等にある危険木を除去することで危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安心・安全な環境の提供を図ることが出来た。	
情報発信への取組	
①施工期間中は現地にのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。	
②施工期間中は現地にのぼり旗を設置している。また、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。	

令和7年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	18,850	18,850
2	① 意向調査の準備作業	14,071	14,071
3	⑬ 木造公共建築物の整備等	7,942	7,942
4	⑬ 木造公共建築物の整備等	2,904	2,904
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	43,767	43,767

令和7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	森林整備事業				
事業費	7,975,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			7,975,000		

1. 事業の目的

伊勢市の沿岸部にある防風林は、近年の病虫害被害により枯松が激増し、保安林としての機能が低下している。このまま放置すると倒木被害の心配もあることから、当該交付金を活用して病虫害被害を未然に防止し、地域住民や観光客の安全を図る。

また、以前新たに植樹した松の苗木が育ち、密集状態となっている二見町今一色の防風林下刈を行うことで、森林機能の公益的な向上を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

沿岸部に植生した松の病虫害被害を防止するため、地上散布、樹幹注入、伐倒破碎を行う。
また、密集している防風林の下刈を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

伊勢市

【実施箇所及び箇所数】

5箇所（二見町茶屋、二見町西、二見町今一色、村松町、東大淀町）市有林
※一部自治会管理の私有林あり

【事業量】

地上散布 6.65ha、 樹幹注入 517本、 伐倒破碎 15m³、 下刈 2.3ha、

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知識と資格が必要なため。

令和7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
番号	事業名						
1	森林整備事業						
事業費	7,975,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			7,975,000				

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

病虫害被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

地上散布、樹幹注入、伐倒破碎を一連で施工することにより、病虫害被害を最小限に留めるよう工夫した。

【新たな対策・視点及び改善点】

密集状態となっている松の下刈を実施し、防風林の積極的な機能維持を図った。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	付近住民：2,942世帯 6,119人（R8.3） 観光客：2,849,752人(R7年度)
期待する波及効果	観光客数の低下防止、倒木被害の防止

【公的関与の必要性】

地域住民の安心・安全な暮らしを守るために必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

無断伐採や不法投棄がないよう、地域住民と協力しあって監視体制を強化していきたい。
なお、転用は想定されない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中	施工前、施工中は県民税のPR看板を設置してPRを実施。
のぼり設置	実施前・中	施工前、施工中は県民税ののぼりを設置してPRを実施。
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を財源とした事業であることのPR。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

伐倒破碎、地上散布等を行うことで、倒木被害の防止、害虫の駆除を行うことができ、観光客等の安全を守ることが出来た。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
事業名	森林整備事業(地上散布)				

6(1). 写真



写真1

材料確認



写真2

薬剤調合



写真3

散布状況(東大淀)



写真4

散布状況(村松)



写真5

散布状況(二見町今一色)



写真6

PR状況

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(下刈)
-----	------------

6(1). 写真



写真1

施行前



写真2

施行前



写真3

施行中



写真4

完成



写真5

完成



写真6

PR状況

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(伐倒破碎)
-----	--------------

6(1). 写真



写真1

施行前



写真2

施行中



写真3

完成



写真4

PR状況

写真5

写真6

写真5

写真6

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(樹幹注入)
-----	--------------

6(1). 写真



写真1

材料検収



写真2

材料検収



写真3

施行前



写真4

施行中



写真5

施行中



写真6

完成

令和7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
2	危険木除去事業				
事 業 費	8,577,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,368,000	0	2,209,800

1. 事業の目的

近年の予想できない自然災害等で倒木の恐れがある危険木の除去を行うことにより、危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安全・安心な環境を提供する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

市内にある三郷山、音無山等に残存している危険木の除去を行い、危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安全・安心な環境の提供を図る。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

伊勢市

【実施個所及び箇所数】

- ・三郷山(L=105m)
- ・音無山(N=4本)
- ・磯町 (N=2本)
- ・二見町光の街、辻久留町 (A=1110m²)

【事業量】

- ・三郷山(L=105m)
- ・音無山(N=4本)
- ・磯町 (N=2本)
- ・二見町光の街、辻久留町 (A=1110m²)

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知識と資格が必要なため。

令和7 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
番号	事業名						
2	危険木除去事業						
事業費	8,577,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			6,368,000	0	2,209,800		

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

三郷山、音無山等にある危険木を除去することで危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安全・安心な環境の提供を図ることが出来た。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

散策者数が増える春を迎える前に施工することで散策者の低下を防止した。

【新たな対策・視点及び改善点】

様々な場所に残存している危険木を調査し、除去していきたい。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	三郷山、音無山利用者・地域住民
期待する波及効果	倒木被害の防止により三郷山、音無山の散策者数の低下を防止するとともに、地域住民の安心・安全な暮らしを守る。

【公的関与の必要性】

地域住民の安心・安全な暮らしを守るために必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

無断伐採や不法投棄がないよう、地域住民と協力しあって監視体制を強化していきたい。
なお、転用は想定されない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中	施工前、施工中は県民税のPR看板を設置してPRを実施。
のぼり設置	実施前・中	施工前、施工中は県民税ののぼりを設置してPRを実施。
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を財源とした事業であることのPR。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

危険木の除去を行ったことで危険木による被害が減少し、付近住民等から御礼の言葉をいただいている。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
事業名	危険木除去事業（三郷山）				

6(1). 写真



写真1

施行前



写真2

施工中



写真3

完成



写真4

PR状況

写真5

写真6

写真5

写真6

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木除去事業（三郷山）
-----	--------------

6(1). 写真



写真1

施行前



写真2

施行中



写真3

施行中



写真4

完成



写真5

写真5



写真6

写真6

鳥 羽 市

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

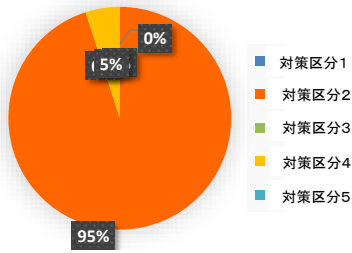
市町名	鳥羽市	三重県
人口（人）	15,746	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	7.9%	11.6%
森林面積(ha)	7,453	372,030
民有林面積(ha)＊2	7,453	348,562
森林率(%)	69%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	11.7	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	危険木伐採事業	2,441,000	2,441,000		2,441,000			
2	2	危険木伐採費補助金事業	5,479,000	5,479,000		5,479,000			
3	2	森林病害虫防除樹幹注入	499,000	499,000		499,000			
4	4	鳥羽東中学校図書室机・椅子等整備事業	440,000	440,000				440,000	
				0					
計			8,859,000	8,859,000	0	8,419,000	0	440,000	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	40本	3,916,000	1,958,000	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある倒木を事前に伐採。
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本市では、人工林率が25％となっており、人工林率が低く、天然率が高いことが特徴である。本市の強みである水産業と森林には密接な関連があり、本市内の森林を整備することで、水源涵養力や土砂流出災害防止などの森林本来の機能を回復させるとともに、森林の土壌に含まれているミネラルなどが川へ流れ込み海に入り、磯焼け防止や藻場再生につながり、海産物の育成などにも好影響が生じる。 しかし、本市では急峻な地形であることや林業経営体が減少していることにより、森林整備が進んでおらず、海産物や市民生活に支障をきたす恐れがある立木が多い。そのため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備をすすめ、市民の生活に支障をきたすことがないようにするとともに、森林の整備を行うことが海の環境改善にもつながる。
事業実施により期待される効果
危険木の伐採を行ったことにより、市民が安心安全な生活を送ることができるようになった。また、危険木伐採（補助金）では、市が施行するまでの間に状況が変化し倒木する可能性がある。補助金事業として町内会が主体となって行うことにより、各町が一番危険と感じている木を最優先でそれぞれ伐採できるため、危険要因を排除できる。 また、伐採木は実施した町内で必要とする人が必要分活用することにより、木が持つ温もりや利便性を感じてもらえることができた。
情報発信への取組
危険木伐採を実施する前に、対象となる町内会に回覧文書を作成し、周知を図った。また、施行後には町内会を通じて、伐採木活用意向を聞き取ってもらい、伐採木を引き取ってもらう人に対して周知を行った。 また、広報誌（R8.6月号予定）および市ホームページにて、県民税に関するページを作成し、紙ベースだけでなくインターネットでも実績の周知を図った。

令和7年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	① 意向調査の準備作業	770	770
2	③ 私有林整備	4,858	4,858
3	⑦ その他（森林整備）	134	134
4	⑩ 専門員の雇用	3,870	3,870
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	9,632	9,632

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	危険木伐採事業				
事 業 費	2,441,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,691,000	750,000	

1. 事業の目的

町内会から提出された危険木伐採要望箇所の現地確認を行い、危険性が高く、市民の生活に支障をきたす恐れのある樹木から伐採を行い、生活環境の保全や暮らしの安全性の向上を図る。

2. 事業の実績

【事業内容】

河内、石鏡、池上、鳥羽三丁目、鳥羽二丁目の5箇所での業務委託を行い、伐採を実施した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

市内造園業者

【実施箇所及び箇所数】

河内、石鏡、池上、鳥羽三丁目、鳥羽二丁目の5箇所

【事業量】

7 本

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	鳥羽市	補助事業ではない	補助額無	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

随意契約・指名競争入札では、鳥羽市内において、危険木等樹木を伐採した実績がある業者を、入札参加資格名簿の中で屋外清掃（剪定・伐採）に登録されている事業者を選定した。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	危険木伐採事業				
事 業 費	2,441,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,691,000	750,000	

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

町内会・自治会から出される要望の中で規模の大きな案件については、市の事業として実施することで地元の負担軽減につながっている。また、町内会・自治会から提出されている伐採要望のため、それぞれの地区において危険度が高い樹木から伐採できることから、各地区における危険要因を排除でき、市民が安全・安心な日常生活を維持することが可能である。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

町内会長・自治会長から申請があり、優先度の高い箇所から選定した。

【新たな対策・視点及び改善点】

今までは、危険木伐採を行う際は、根元からの伐採で統一して行っていたが、根元からの伐採だけでなく、枝払い等も施行方法の一つとして取り入れることにより、根系による表層崩壊防止機能を維持できるように配慮した。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	河内、石鏡、池上、鳥羽三丁目、鳥羽二丁目に居住する市民
期待する波及効果	市民だけでなく、観光客などへ被害を防止できる。

【公的関与の必要性】

危険木伐採は所有者自身だけでは対応できない樹木が多く、市が危険木判定を行ったうえで伐採業務を業者へ委託することにより、公平性をもって要望に応えることが可能である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

伐採した箇所は、個人や市が適切に管理しているため、転用される恐れはない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施行箇所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。
HP掲載	実施後	県民税事業活用ページに事業量を掲載。
回覧板・掲示板	実施前	町内掲示板や回覧文書で、県民税活用事業であることの周知を図る。
広報誌掲載	実施後	広報誌にて県民税の使途について記事を掲載（R8.6月号）。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

大雨や台風時の停電や、土砂崩れの恐れが軽減された。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

6(1). 写真



写真1

鳥羽市 河内町 地内 着工前



写真2

鳥羽市 河内町 地内 着工後



写真3

鳥羽市 石鏡町 地内 着工前



写真4

鳥羽市 石鏡町 地内 着工後

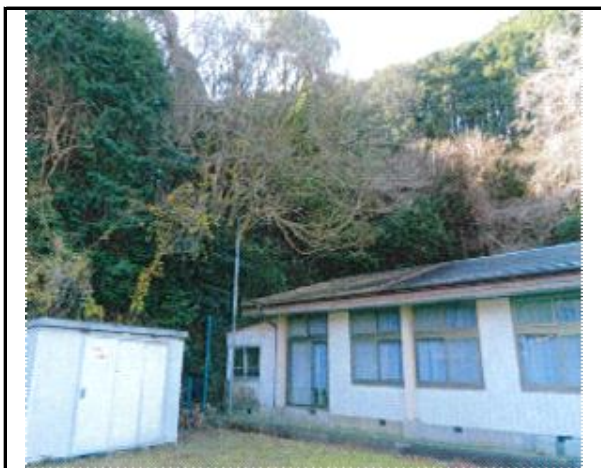


写真5

鳥羽市 池上町 地内 着工前



写真6

鳥羽市 池上町 地内 着工後

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

6(1). 写真



写真7

鳥羽市 鳥羽三丁目 地内 着工前



写真8

鳥羽市 鳥羽三丁目 地内 着工後



写真9

鳥羽市 鳥羽二丁目 地内 着工前



写真10

鳥羽市 鳥羽二丁目 地内 着工後

写真5

写真6

写真11

写真12

【様式集②②】 第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

6(2).補助事業者取組一覧

[illegible]

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	危険木伐採費補助金事業				
事 業 費	5,479,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,479,000		

1. 事業の目的

地域において安全な生活環境を保全するため、町内会・自治会が実施する危険木等の伐採作業に対して、事業費の一部を支援する。

2. 事業の実績

【事業内容】

神島・中之郷・船津・岩崎・屋内・池上・国崎・岩倉・本町・千賀・堅神・11町内会・自治会が実施する危険木等の伐採作業に対して、事業費の一部を支援。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

町内会・自治会

【実施個所及び箇所数】

神島・中之郷・船津・岩崎・屋内・池上・国崎・岩倉・本町・千賀・堅神 11地区

【事業量】

木 139本 枝 15本 幹 1本

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	自治会等	10/10以内	50万円	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

随意契約・指名競争入札では、鳥羽市内において、危険木等樹木を伐採した実績がある業者を、入札参加資格名簿の中で屋外清掃（剪定・伐採）に登録されている事業者を選定した。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	危険木伐採費補助金事業				
事 業 費	5,479,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,479,000		

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

町内会・自治会から提出されている伐採要望のため、それぞれの地区において危険度が高い樹木から伐採できるため、各地区においての危険要因を排除でき、市民が安全・安心な日常生活を維持することが可能である。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

補助金においては、各町内会で優先順位をそれぞれ精査してもらい、各地区で伐採を行う必要性が高いものから申請を提出してもらった。

【新たな対策・視点及び改善点】

今までは、危険木伐採を行う際は、根元からの伐採で統一して行っていたが、根元からの伐採だけでなく、枝払い等も施行方法の一つとして取り入れることにより、根系による多面的機能を維持できるように配慮した。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	神島・中之郷・船津・岩崎・屋内・池上・国崎・岩倉・本町・千賀・堅神に居住する市民
期待する波及効果	市民だけでなく、観光客などへ被害を防止できる。

【公的関与の必要性】

危険木伐採は所有者自身だけでは対応できない樹木が多く、市が危険木判定を行ったうえで伐採業務を業者へ委託することにより、公平性をもって要望に応えることが可能である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

伐採した箇所は、個人や市が適切に管理しているため、転用される恐れはない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施行箇所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。
HP掲載	実施後	県民税事業活用ページに事業量を掲載。
回覧板・掲示板	実施前	町内掲示板や回覧文書で、県民税活用事業であることの周知を図る。
広報誌掲載	実施後	広報誌にて県民税の使途について記事を掲載（R8.6月号）。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

停電や崩落の恐れが軽減された。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業費補助金事業
-----	---------------

6(1). 写真



写真1

鳥羽市 神島町 地内 着工前

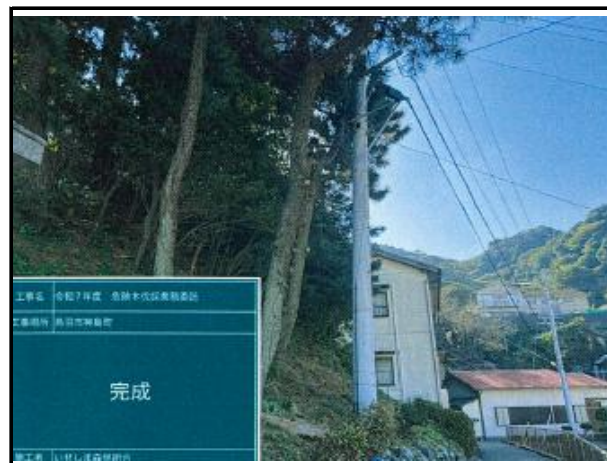


写真2

鳥羽市 神島町 地内 着工後



写真3

鳥羽市 中之郷 地内 着工前

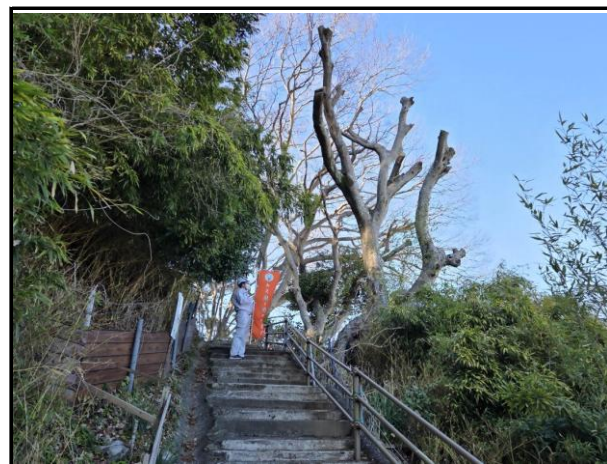


写真4

鳥羽市 中之郷 地内 着工後

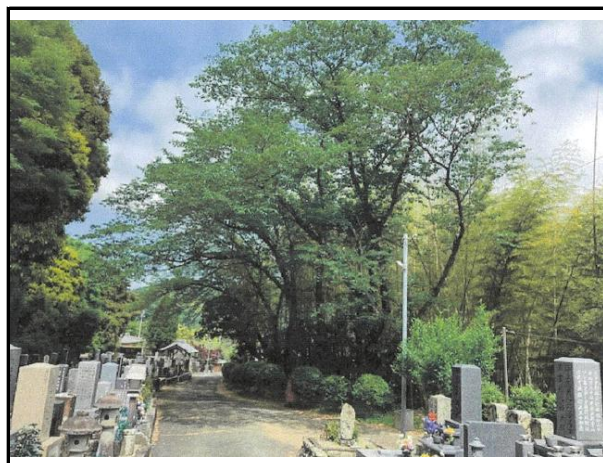


写真5

鳥羽市 船津町 地内 着工前



写真6

鳥羽市 船津町 地内 着工後

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業費補助金事業
-----	---------------

6(1). 写真

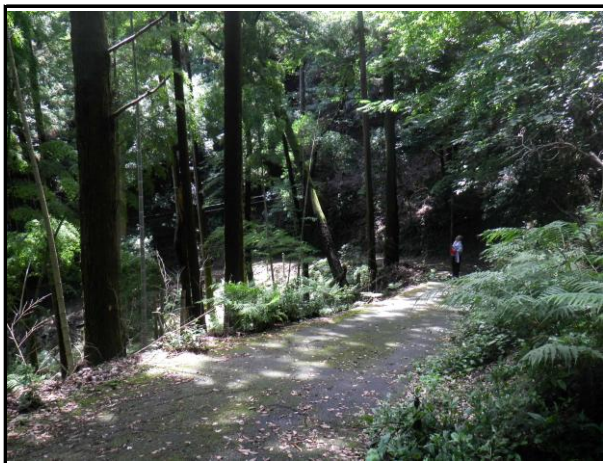


写真7

鳥羽市 岩崎町 地内 着工前

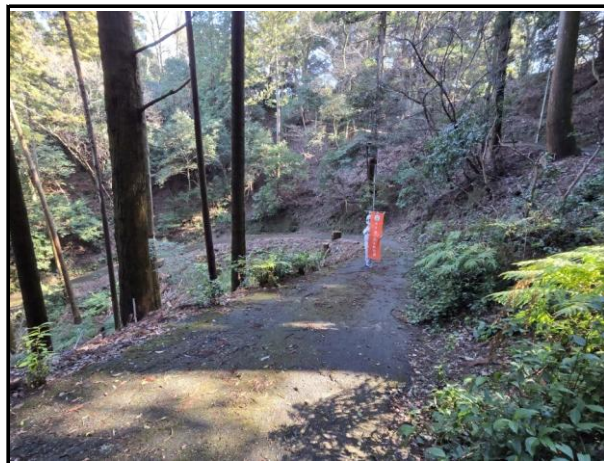


写真8

鳥羽市 岩崎町 地内 着工後



写真9

鳥羽市 屋内町 地内 着工前

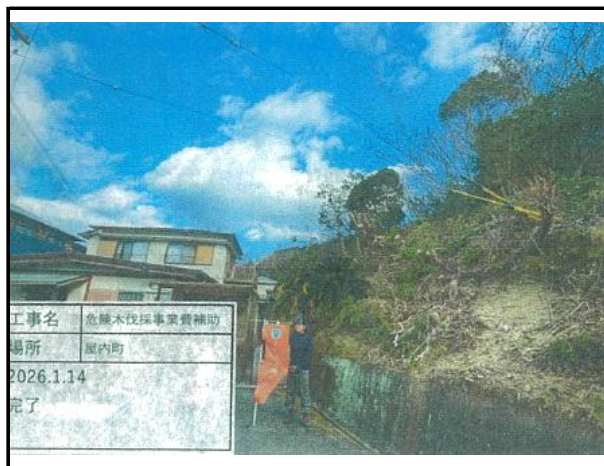


写真10

鳥羽市 屋内町 地内 着工後



写真11

鳥羽市 池上町 地内 着工前



写真12

鳥羽市 池上町 地内 着工後

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業費補助金事業
-----	---------------

6(1). 写真

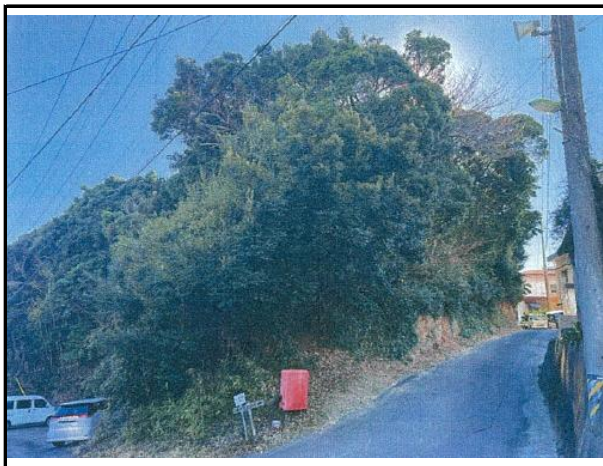


写真13

鳥羽市 国崎町 地内 着工前

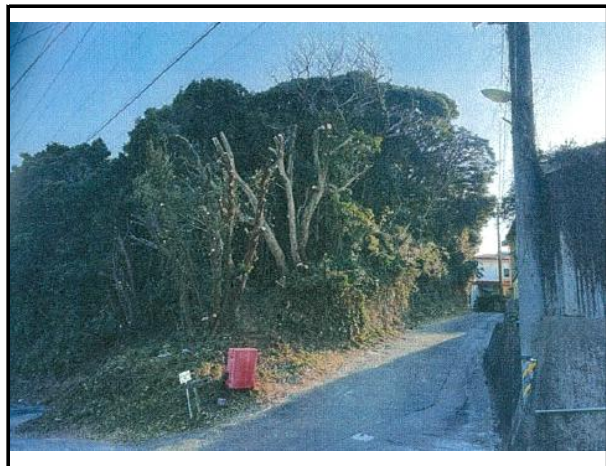


写真14

鳥羽市 国崎町 地内 着工後



写真15

鳥羽市 岩倉町 地内 着工前



写真16

鳥羽市 岩倉町 地内 着工後



写真17

鳥羽市 本町町 地内 着工前

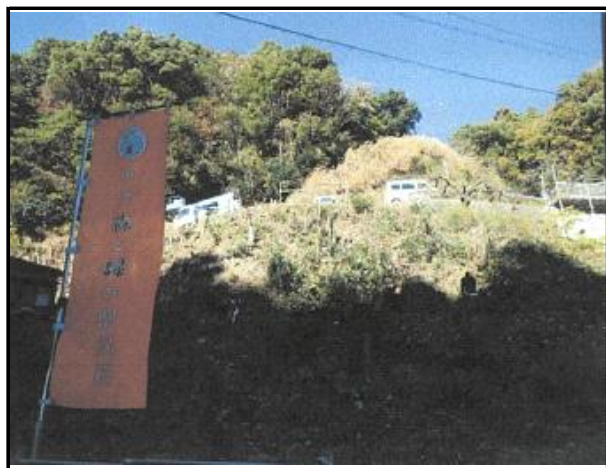


写真18

鳥羽市 本町町 地内 着工後

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業費補助金事業
-----	---------------

6(1). 写真



写真19

鳥羽市 千賀町 地内 着工前

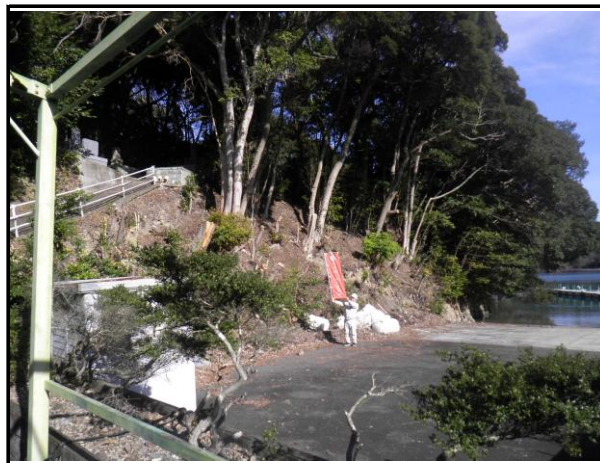


写真20

鳥羽市 千賀町 地内 着工後



写真21

鳥羽市 堅神町 地内 着工前



写真22

鳥羽市 堅神町 地内 着工後



写真23



写真24

【様式集㉔】 第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業費補助金事業
-----	---------------

6(2).補助事業者取組一覧

補助事業者名	補助金額	取組概要
神島町内会	491,000円	神島町八代神社第1鳥居付近 2本伐採
中之郷町内会	499,000円	鳥羽三丁目1476-1 枝5本
船津町内会	500,000円	船津町字上地海道707番4 4本伐採
岩崎町内会	499,000円	鳥羽一丁目332番地 8本伐採
屋内町内会	499,000円	屋内町15番9 50本伐採
池上町内会	499,000円	池上市営住宅16-28から16-23 幹、枝大小10本
国崎町内会	495,000円	国崎町312番地-1 10本伐採
岩倉町内会	499,000円	岩倉町1107-1 20本伐採
本町町内会	500,000円	鳥羽二丁目471・472番地 20本伐採
千賀町内会	499,000円	千賀町地先小浦151-1 5本伐採
堅神町内会	499,000円	堅神町堅神神社 20本伐採

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森林病虫害防除樹幹注入				
事 業 費	499,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			499,000		

1. 事業の目的

神島町の八代神社周辺の松に病原であるマツノザイセンチュウが入り込むと松枯れが発生する恐れがある。そのため、松枯れを引き起こす害虫を駆除し、松の発病を防ぐことを目的とし、薬剤の樹幹注入を実施する。

2. 事業の実績

【事業内容】

神島町内の松に135本の薬剤アンプルを注入した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

市内造園業者

【実施箇所及び箇所数】

神島町1箇所

【事業量】

アンプル数135本

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	鳥羽市	補助事業ではない	設定しない	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

鳥羽市入札参加資格者名簿に登録されており、造園業に登録されている業者のなかから選定した。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	森林病虫害防除樹幹注入				
事 業 費	499,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			499,000		

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

神島地区の松は国の重要有形文化財が秘蔵されている八代神社へと続く階段の両脇にある。該当箇所にはたくさんの観光客が訪れており、松の病虫害対策を行い保全対策を行うことは、松林による良い景観の維持につながるのと同時に、施設利用者に木の良さに関する意識醸成を図ることができる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

今後、景観の維持や意識醸成を図るためにも、病害防除を継続して行う。

【新たな対策・視点及び改善点】

各施設にある松は、観光客が多く訪れる施設内にあり、鳥羽市の財産となっている。それらを維持していくことにより、市民だけでなく観光客など様々な人が木に対する意識を向上させるきっかけになり得る。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	神島航路利用者40,918人
期待する波及効果	町内・島内の住民が木の良さを知る波及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

観光施設内の松であるため、観光資源となる。そのため、市が松の防除を行うことは、景観の維持や観光資源の保護につながる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

事業で実施した箇所について、松枯れが発生しないように、注意を払う。また、神島町の松は市有地内であるため、転用される恐れはない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施行場所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。
HP掲載	実施後	県民税事業活用ページに令和7年度事業量を報告・掲載。
回覧板・掲示板	実施前	町内会・自治期の回覧により、施行箇所・内容の周知を図る。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林病虫害防除樹幹注入
-----	-------------

6(1). 写真



写真1

鳥羽市 神島町 地内 注入状況



写真3



写真5



写真2

鳥羽市 神島町 地内 回収状況



写真4



写真6

【様式集②②】 第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林病虫害防除樹幹注入
-----	-------------

6(2).補助事業者取組一覧

[illegible]

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
4	鳥羽東中学校図書室机・椅子等整備事業				
事 業 費	440,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			440,000		

1. 事業の目的

鳥羽東中学校内の図書室で使用する製品購入を行い、木材利用の推進と森林や緑を大切に思う温かい心を育むことを目的とする。

2. 事業の実績

【事業内容】

令和8年度に完成を目指している鳥羽東中学校内の図書室で使用する机を購入。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

森林組合

【実施個所及び箇所数】

鳥羽東中学校 図書室

【事業量】

図書室用 机1台、図書室用 椅子4脚

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない	—	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

近隣市町の実績がある業者より選定。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
4	鳥羽東中学校図書室机・椅子等整備事業				
事 業 費	440,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			440,000		

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

未来を担う子どもたちに、森林や緑を大切に思う温かい心を育むことが期待される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

木製の椅子や机がどの木から作られているのか、どこで育てられたのかなど、実際に生徒たちがその情報を学べるように、パネル展を実施する。

【新たな対策・視点及び改善点】

生徒が木材の温もりや香りなどの木材の良さに触れ、快適な学校環境・空間を創出することができる。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	鳥羽東中学校 生徒300名程度
期待する波及効果	視覚・触覚的やわらかさや温もりを感じ心理的な落ち着きや安心感の向上が期待される。

【公的関与の必要性】

令和8年度に完成を目指している鳥羽東中学校内の図書室に木製の机や椅子の設置することで、安全性の確保や教育環境の質を保つために公的関与が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

設置した机や椅子は図書室を担当する教員や職員・市が管理するため転用される恐れはない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	事業施工箇所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。
HP掲載	実施後	令和8年度終了時に、実施事業報告ページにて実施内容と事業量の周知を行う。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	鳥羽東中学校図書室机・椅子等整備事業
-----	--------------------

6(1). 写真



写真1

図書室 閲覧用机・椅子

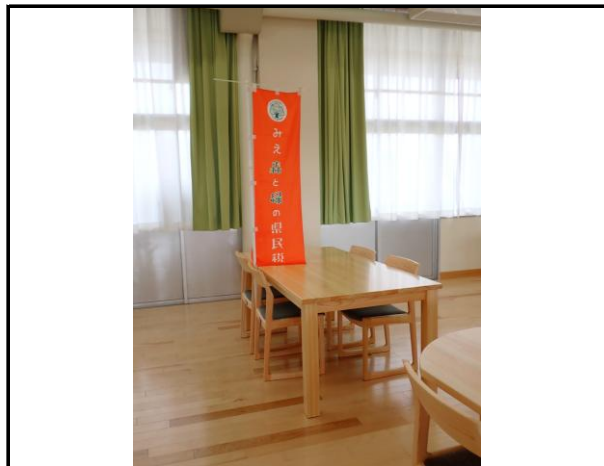


写真2

図書室 閲覧用机・椅子



写真3

図書室 閲覧用机・椅子



写真4

図書室 閲覧用机・椅子



写真5

図書室 閲覧用机・椅子



写真6

【様式集㉔】 第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	鳥羽東中学校図書室机・椅子等整備事業
-----	--------------------

6(2).補助事業者取組一覧

補助事業者名	補助金額	取組概要
森林組合	440,000円	木製閲覧机1台 木製閲覧椅子4脚

志 摩 市

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和7年度版三重県市町要覧による）

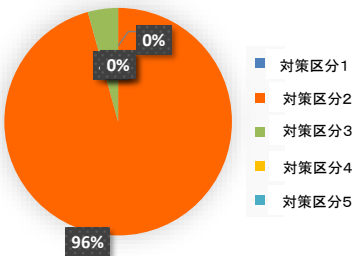
市町名	志摩市	三重県
人口（人）	41,239	1,700,207
年少人口割合（％）＊1	7.7%	11.1%
森林面積(ha)	9,090.91	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	9,088.66	348,212.01
森林率(%)	51.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	7	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	樹木伐採事業	12,414,600	6,560,100		6,560,100				
2	2	松くい虫防除事業	4,821,080	4,776,900		4,776,900				
3	3	森と緑ふれあい事業	509,300	509,000			509,000			
				0						
計			17,744,980	11,846,000	0	11,337,000	509,000	0	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業		3,735,600	3,734,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用が停滞し、森林病害虫の発生や農地や人家付近での獣害被害の増加が課題となっている。 このような状況を背景に、森林の有する多面的な機能に対する市民の理解を深めるため、体験型講習会等を通じ、里山保全の手法体験等を実施し、市民の森林保全意識の醸成を推進する。併せて適切な森林管理を通じて、災害に強い森林整備を推進していく。
事業実施により期待される効果	・体験型講習会等の開催を通じて、森林の多面的な機能に対する市民の関心を高めるとともに、保全手法の普及・啓発を図ることができた。 ・古くから海岸保全林および森林公園として地元住民に親しまれていた松林の適切な保全整備に繋がった。 ・特定水源地域において連携枠を活用した調整伐を実施し、水源涵養機能の維持に向けた森林整備を推進した。
情報発信への取組	事業実施時の工事看板及び備品購入にあたっては、当該備品に県民税活用した旨を記載したプレートを設置し、地元住民への周知を図っている。

令和 7 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	② 意向調査	2,103	2,103
2	③ 私有林整備	4,216	4,216
3	⑦ その他（森林整備）	894	394
4	⑧ 担い手確保	902	902
5	⑩ その他（木材・普及啓発関係）	1,958	1,958
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	10,073	9,573

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	樹木伐採事業				
事 業 費	12,414,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,560,100		5,854,500

1. 事業の目的

道路沿い等の民有林の危険木を除去することで、安全・安心な暮らしの確保につなげることを目的とする。

2. 事業の実績

【事業内容】

支障木の除去が必要と考えられる箇所を選定し、計画に基づき伐採を実施した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

志摩市

【実施箇所及び箇所数】

志摩市浜島町地内 2 箇所 志摩市阿児町地内 2 箇所

【事業量】

志摩市浜島町地内 L=1,724m 志摩市浜島町地内 L=600m
志摩市阿児町地内 L=205m 志摩市阿児町地内 1 箇所

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

市道沿線上であるため、入札を行い業者を決定し、委託業務とし実施した。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	樹木伐採事業				
事 業 費	12,414,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,560,100		5,854,500

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

道路へ侵入する民有地の危険木の除去を実施することで安全・安心な市民生活を保つことができる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

道路へ侵入する民有地の危険木については、市内でも数多くあり、その中においても交通量が多く、多数のカーブにより、見通しが悪い箇所を伐採することにより、交通事故の発生を抑止ができる。

【新たな対策・視点及び改善点】

支障木の伐採事業を進めることと並行して、民地から伸びている支障木の適切な管理等について、市広報誌に喚起文の掲載を行った。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地区住民及び道路利用者
期待する波及効果	危険木を避ける車両が減る事により、事故の発生を防ぐことができる。

【公的関与の必要性】

個人地からの立木の場合は本来であれば個人の管理ではあるが、交通量が多く個人での作業中の危険性が高いため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

土地所有者で管理を行う。また、転用の予定はない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中	「みえ森と緑の県民税市町交付金活用事業」と記載

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	樹木伐採事業
-----	--------

6(1). 写真



写真1

浜島町地内 施工前



写真2

浜島町地内 施工後



写真3

浜島町地内 施工前



写真4

浜島町地内 施工後



写真5

阿児町地内 施工前



写真6

阿児町地内 施工後



伐採箇所終点付近（作業前）



伐採箇所終点付近（作業後）

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	松くい虫防除事業				
事 業 費	4,821,080 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,776,900		44,180

1. 事業の目的

志摩市は、全域が伊勢志摩国立公園内に位置し、松やウバメガシなどの広葉樹が多く植生し、志摩市の景観を形成している。また、海岸沿いには、松林の公園等の景勝地があり、多くの人を訪れるとともに、防風、飛砂防止など地域の暮らしを守る役割も担っている。市内の松林の公園内の松に対し森林病虫害の被害拡大を防ぐ対策を実施し、景観形成の保全を図る。

2. 事業の実績

【事業内容】

- ・阿児町安乗地区（安乗岬園地）松くい虫防除薬剤樹幹注入、枯松伐採
- ・阿児町国府地区（エレコムフォレスト志摩）防除薬剤地上散布
- ・阿児町甲賀地区（阿児の松原）松くい虫防除薬剤樹幹注入、枯松伐採

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

志摩市

【実施箇所及び箇所数】

- 3箇所
- ・阿児町甲賀地区（阿児の松原）
 - ・阿児町国府地区（エレコムフォレスト志摩）
 - ・阿児町安乗地区（安乗岬園地）

【事業量】

防除薬剤地上散布 2.68ha、薬剤樹幹注入松 320本、枯松処理 39本

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

阿児町国府地区（エレコムフォレスト志摩）については、管理業務を委託している業者を選定。
他の地区については、登録業者の中から選定。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	松くい虫防除事業				
事 業 費	4,821,080 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,776,900		44,180

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

松くい虫の被害が食い止められたことにより、住民が広く活用する公園内の安全性が保たれた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

松くい虫被害のまん延防止のため、薬剤の地上散布や樹幹注入、伐倒処理等の防除方法を組み合わせて実施。

【新たな対策・視点及び改善点】

松くい虫被害のまん延防止のため継続的に実施していく。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地区住民及び道路利用者
期待する波及効果	市内の観光地において、松くい虫等の病害虫のまん延防止に寄与

【公的関与の必要性】

松くい虫等の病害虫のまん延防止のため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市等で適切に管理をしていく。また、転用の予定もない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	志摩市ホームページ内にてみえ森と緑の県民税を活用した取組内容を掲載
施工看板に掲示	実施中	施工中の工事看板に「みえ森と緑の県民税市町交付金活用事業」の文言を

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

松くい虫被害の枯松を伐倒した事で、景観の向上や倒木等の危険性が減少したとの意見をいただいた。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	松くい虫防除事業
-----	----------

6(1). 写真



写真1

薬剤樹幹注入（施工状況）



写真2

薬剤樹幹注入（施工中看板）

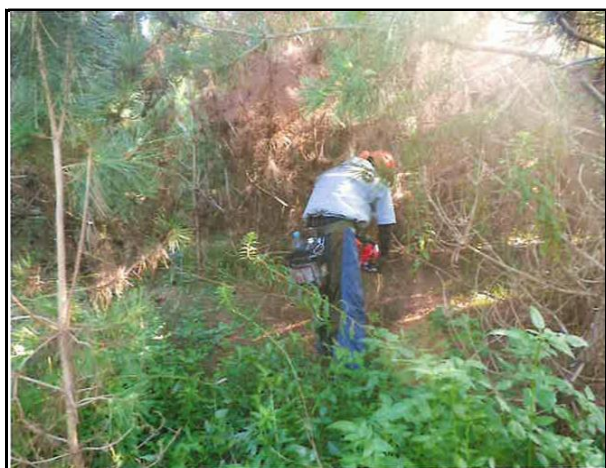


写真3

枯松伐倒処理



写真4

破碎処理



写真5

燻蒸処理



写真6

地上散布

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	森と緑ふれあい事業				
事 業 費	509,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			509,000		300

1. 事業の目的

市内の環境林や公園をフィールドとして、一般の方を対象にしたシイタケの菌打ち体験を開催する。
各種の体験を通して森林を大切に作る人づくりの創出を目的とする。

2. 事業の実績

【事業内容】

市直営の観光農園において、一般の方を対象に、森林・林業に関する講話の他、シイタケの菌打ち体験を実施した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

志摩市

【実施個所及び箇所数】

1 箇所【志摩市観光農園内（志摩市磯部町穴川地内）】

【事業量】

・シイタケ菌打ち体験 参加者 55人

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

事業実施に際し、専門的知識を有する森林組合に委託

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	森と緑ふれあい事業				
事 業 費	509,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			509,000		300

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

里山(森林)について市民が学び体験することにより、森林を守り・育てることの大切さを理解。また、今後、市民による自主的な里山活動が期待される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

事業内で講師から森林の多面的機能や森林保全の必要性についての説明を行い、森林に対する理解を深めるとともに、森林保全意識の醸成に務めた。

【新たな対策・視点及び改善点】

会場内でのパネル展示や事業内において、志摩市の県民税活用事業の紹介等を実施。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	イベント参加者
期待する波及効果	森林保全意識の醸成

【公的関与の必要性】

森林の持つ公益的な機能を広く市民に伝え、森林保全意識の醸成を図る必要があるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備ではないため該当しない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示	実施中	会場内に掲示
ポスター掲示	実施中	会場内に掲示
パネル展示	実施中	会場内に掲示
啓発物品配布	実施中	参加者に配付
HP掲載	実施後	志摩市ホームページ内にて当日の実施状況を掲載。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

6(1). 写真



写真1

ロゴマーク、県民税を活用している旨を記載した看板を設置



写真2

会場内に県民税のぼりを掲出



写真3

市内の森林管理、みえ森と緑の県民税の取組みについてのパネル展示



写真4

啓発グッズ みえ森と緑の県民税ポスター掲示



写真5

事業内で森林についての講和を実施



写真6

事業中の様子

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
事業名	森と緑ふれあい事業				

6(3).その他

志摩市ホームページ

令和7年度森と緑ふれあい事業 シイタケ菌打ち体験

更新日：2026年03月05日

志摩市では、平成26年4月1日に導入されたみえ森と緑の県民税を活用し、森林の持つ多面的な機能について、学び知る場として、「森林にふれあう」「森林の保全」「森林資源の活用」の3つのテーマを定め体験型の講習会を実施しています。

令和7年度は、令和8年1月17日（土曜日）に志摩市磯部町の志摩市観光農園を会場に、シイタケ菌打ち体験会を開催しました。当日は、晴天に恵まれ市内から55名の方が参加しました。

体験会では、いせしま森林組合の職員から、シイタケの原木栽培の仕組みや森林資源を有効に使うことの大切さについて説明を受けました。その後参加者の皆さんはコナラの原木にドリルで穴を開け、空いた穴にシイタケの駒菌をハンマーで打ち込む作業を行いました。参加者の方は、シイタケが大きく順調に成長するようお願いながら、作業に取り組まれていました。

また、会場内では志摩市の森林整備やみえ森と緑の県民税を活用した事業を紹介するパネル展示も併せて行いました。

参加者の皆さんには、作業の合間に展示をご覧いただき、私たちの生活を支える森林を守る活動や、県民税がどのように役立てられているかについて、より深く知っていただく機会となりました。



いせしま森林組合職員から作業についての説明を受けました。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
事業名	森と緑ふれあい事業				

6(3).その他

市広報誌



「募集」「お知らせ」など役立つ情報をお知らせします

お知らせ

第36回人権学習発表会のお知らせ

迫間教育集会所では毎月、磯部小学校、磯部中学校と連携し、小学生および中学生を対象とした人権学習の取り組みを進めています。また、高校生や卒業生も、引き続き人権を学べる場として「つどい」に参加し、活動しています。

この学習は、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、参加する子どもたちが互いの生活や思いを語り合う中で、共に支え合える仲間の大切さや、つながりを深めることをねらいとしています。

そこで、学んできた成果を発表する場として、人権学習発表会を開催します。ぜひお越しください。

とき 令和8年1月17日(土)9時～
ところ 磯部生涯学習センター（多目的ホール）

内容
小学生・中学生人権学習発表会
「つどい」からの発表

問い合わせ 迫間教育集会所
☎ 55-0837 FAX 55-0956

「三重県モルック協会一周年記念大会」開催のお知らせ

初心者も、経験者も大歓迎！今注目のニュースポーツ「モルック」で、世代を超えて楽しくつながりましょう。

とき 令和8年1月24日(土)9時30分～15時

ところ 志摩市ともやま公園 多目的屋内運動場

料金 一般1チーム2,000円

定員 24チーム(1チーム2～4人)

申込期間 12月1日(月)～令和8年1月10日(土)

問い合わせ
三重県モルック協会
mie.molky@gmail.com



申し込みはこちら

最大50万円!! 下水道水酸化補助金制度があります

対象 下水道区域内にある既存住宅(新築、増改築部分は対象外)

※そのほか補助金を受けるための条件があります

※予算には上限があります

申し込み・問い合わせ
下水道課

☎ 44-0225 FAX 44-5261



問い合わせはこちら

シイタケ菌打ち体験参加者募集

市では、みえ森と緑の県民税を活用し、原木にシイタケの菌打ち体験会を開催します。

とき 令和8年1月17日(土)

ところ 志摩市観光農園

定員 先着60人

対象 市内に在住する人

申し込み方法 農林課、各支所窓口にある申込用紙に必要事項を記入し、提出してください。

申込期限 12月26日(金)まで
天候の状況などにより日程を変更することがあります。

くわしくは、農林課までお問い合わせください。

申し込み・問い合わせ 農林課
☎ 44-0288 FAX 44-5263

norin@city.shima.lg.jp

県立志摩病院運営状況報告会

指定管理者制度により運営を行っている県立志摩病院の状況や今後の病院運営などについて、県病院事業庁と地域医療振興協会(指定管理者)からご説明します。併せて、県立志摩病院に対するご意見などをお聞かせください。皆さんの参加をお待ちしています。

とき 12月17日(水)

19時～20時15分

ところ 志摩市商工会館 多目的ホール

問い合わせ
県病院事業庁 県立病院課

☎ 059-224-2350

FAX 059-224-2349

農業塾「なごみ」塾生募集!

農業を中心としたセカンドライフを検討している人や、副収入として農業を実践したい人を対象に、JA出荷の販売農家を育成することを第一の目的とした実践的な研修を実施します。

募集期間 令和8年2月13日(金)まで

料金 年間12,000円(税込)

研修期間 令和8年4月～令和9年3月

そのほか 参加条件などくわしくは、お問い合わせください。

申し込み・問い合わせ

JA伊勢 営農部 橋本

☎ 0596-67-2033

年末年始は第2伊勢道路への迂回にご協力をお願いします

年末年始は、内宮周辺を先頭に伊勢道路(県道伊勢磯部線)の渋滞が予想されます。伊勢方面へはおうむ石トンネル、第2伊勢道路、伊勢二見鳥羽ラインを利用した迂回にご協力ください。なお、くわしい交通規制などは、ホームページ「らくらく伊勢もうで」をご覧ください。

問い合わせ

伊勢地域観光交通対策協議会

事務局・伊勢市都市整備部 交通政策課

☎ 0596-21-5703

FAX 050-1704-1924

koutsu@city.ise.mie.jp

らくらく伊勢もうで 検索



「福祉の就職ガイダンス」開催!

高齢・障がい・児童養護・保育所の各分野について、実際に福祉の現場で働く職員から生の声をお届けします。

とき 12月14日(日)10時～12時

ところ プラザ洞津 2階 明日香の間(津市新町1-6-28)

料金 無料

対象者 仕事を探している人や福祉職場について知りたい人、大学・短大・専門学校生や高校生、教職員など

申し込み方法
二次元コード

問い合わせ
三重県社会福祉協議会

三重県福祉人材センター

☎ 059-227-5160



人権週間

国連総会で世界人権宣言が採択された12月10日は「人権デー」です。このことから、12月4日から10日までの「人権週間」とし、人権啓発活動を特に強化して行っています。

あなたの家庭や職場などでは、人権が尊重されていると感じますか?

人権問題は、自分には関係がないことではありません。この機会に、ぜひ自分にとっても大切な問題であると捉え「人権」について考えてみてください。

問い合わせ 人権市民協働課

☎ 44-0227 FAX 44-5260

22

お知らせ

玉 城 町

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和7年度版三重県市町要覧による）

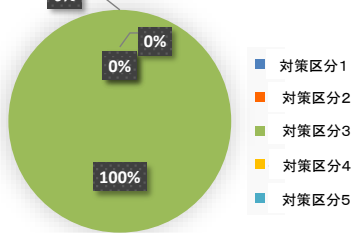
市町名	玉城町	三重県
人口（人）	14,695	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	13.1％	11.6％
森林面積(ha)	1,255.54	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	1,255.29	348,561.87
森林率(％)	30.6％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	26.4	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	3	森林環境教育・木育事業	552,294	552,000			552,000		
2	3	森林環境教育事業（森林教育イベント）	3,000,000	3,000,000			3,000,000		
計			3,552,294	3,552,000	0	0	3,552,000	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本町は、三重県のほぼ中央に位置し、伊勢市、度会町、多気町、明和町に隣接している。総面積は40.91km ² でそのうち、森林面積は1,259.02haで森林率は31％と低く、そのほとんどが民有林で人工林面積は1,133.59haで森林面積の90％を占めている。森林率が低いがゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づかせることで、森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいと考えている。 このため、保育所や小学校で森林環境教育を実施した森はぐくむ人づくりを行ったり、森林をテーマにしたイベントを開催することで、森と人をつなぐ学びの場として、多くの方々に森林の必要性、大切さを周知し、啓発していく。
事業実施により期待される効果	森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらう。 また、木と触れ合える教育環境を児童や園児とその保護者、指導者に感じてもらい、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらう。
情報発信への取組	町の広報誌（広報たまき）へ掲載し、町民に対して積極的に情報提供（PR）した。 対象者はもとより、町民の方からも事業に対する理解の声をいただいた。

令和7年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	③ 私有林整備	7,615	7,615
2	⑦ その他（森林整備）	433	433
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	8,048	8,048

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	森林環境・木育事業				
事業費	552,294 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			552,000		294

1. 事業の目的

教育現場において森林環境教育・木育を実施して、森林に対する深い理解のある人づくりを進めていく。

2. 事業の実績

【事業内容】

玉城町内の保育所及び小学校において森林環境教育・木育を実施した。

小学校では、森に関する授業、木のキーホルダー作りや木のマグネット作り、樹木に関する出版物の寄贈を行った。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

玉城町

【実施個所及び箇所数】

町内の小学校及び保育所

【事業量】

・田丸保育所 41人、外城田保育所 35名、有田保育所 12人、下外城田保育所 10人
 ・田丸小学校 372人、外城田小学校 36名、有田小学校 22人、下外城田小学校 15人 合計 543人

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		小学校
その他	個人	補助事業ではない		保育所

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

・いせしま森林組合（小学校）…伊勢地域の認定林業事業体で玉城町内の森林の特性に精通しているため。
 ・藤川和彦氏、岡田みつよ氏（保育所）…みえ森づくりサポートセンターの森のせんせいに登録されており、森林教育に精通しているため。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	森林環境・木育事業				
事 業 費	552,294 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			552,000		294

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

森林環境教育・木育事業を通じて森林の大切さを学ぶことにより、その理解が深まる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

活用事例集を参考に各保育所、各小学校の先生と打合せを行い事業に取り組んだ。

【新たな対策・視点及び改善点】

これまで小学校で森林環境教育・木育事業を実施した結果、好評であったため、継続的に令和7年度も実施した。町職員が学習中にその場に留まらなければならないという問題があるため、解決できれば今後も行いたい。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	児童543人（小学校445人、保育所98人）
期待する波及効果	保護者への波及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

教育現場と連携して実施する内容であるため、公的に取り組む必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	木育活動中、教室に設置。
啓発物品配布	実施中	児童に対し、啓発を目的に物品を提供した。
広報誌掲載	実施後	町の広報誌（広報たまき）への記載を基本に町民に対して積極的に情報提供（PR）している。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

体験型の学習に興味関心を示していた。木材流通の映像教材には先生方も興味を示していた。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育事業
-----	-------------

7の(1). 写真



写真1
下外城田保育所



写真2
外城田保育所



写真3
有田保育所



写真4
田丸保育所



写真5
下外城田小学校



写真6

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育事業（森林教育イベント）				
事 業 費	3,000,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,000,000		

1. 事業の目的

森林環境教育事業（森林教育イベント）実施して、森林に対する深い理解のある人づくりを進めていく。

2. 事業の実績

【事業内容】

森林・林業の魅力を知ってもらうため、上映会とゲストトークショーを開催した。
『雨とキツツキ』を上映した。また、石原 良純氏、佐塚 ころろ氏をお招きしトークショーを実施した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

玉城町

【実施個所及び箇所数】

玉城町保健福祉会館ふれあいホール

【事業量】

来場者数328名（事前申込数831名）

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	三重エフエム株式会社	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

入札による選定

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	森林環境教育事業（森林教育イベント）				
事 業 費	3,000,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,000,000		

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

森林環境教育事業（森林教育イベント）を通じて森林の大切さを学ぶことにより、その理解が深まる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

上映会とトークショーを実施し、多くの方に関心を持ってもらう。

【新たな対策・視点及び改善点】

「映画とトークショーのつながりがよくわからない」等の意見があったため、木材を使用したワークショップを行うなどの工夫を行う必要がある。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	来場者数328名
期待する波及効果	森林・林業に関する知識向上

【公的関与の必要性】

林業の啓発、発展を促す内容であるため、公的に取り組む必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
啓発物品配布	実施中	来場者に対し、啓発を目的に物品を提供した。
広報誌掲載	実施後	町の広報誌（広報たまき）への記載を基本に町民に対して積極的に情報提供（PR）している。
アンケート実施	実施後	来場者に対してアンケートを実施した。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育事業（森林教育イベント）
-----	--------------------

7の（1）. 写真



写真1

集合写真



写真2

トークショー



写真3

トークショー

写真4



写真5



写真6

写真6

度 会 町

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

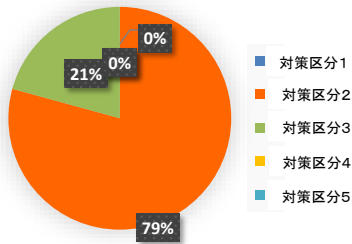
市町名	度会町	三重県
人口（人）	7,580	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	10.7%	11.6%
森林面積(ha)	11,410.44	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	11,410.44	348,561.87
森林率(%)	85%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.2	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	危険木伐採事業	4,620,000	4,610,000		4,610,000			
2	3	森林環境教育推進事業	1,206,700	1,206,000			1,206,000		
				0					
計			5,826,700	5,816,000	0	4,610,000	1,206,000	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	10.45ha	6,270,000	6,200,000	間伐等（環境林・特定水源地域）
災害からライフラインを守る事前伐採事業	589本	7,835,371	3,917,000	伐採施工、立木補償
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本町は、三重県の南東部に位置する内陸地であり、町の西から東に流れる宮川・南から北へ流れる一之瀬川沿いに集落が広がっている。総面積のうち、山林が83.7%を占めており、古くから人工林の整備が進められてきたが、近年の木材価格の低迷や林業後継者不足により、林業経営が厳しい状況下となっている。 本県民税を財源に本町では、第7次度会町総合計画に定める「みらい わたらい わかち愛 ～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～」の将来像を基盤に、地域材で木製品を整備し、地域材の利用を促進するとともに、森林について「学ぶ場」と「ふれあう場」を提供する。また、近年の災害状況を踏まえ、道路・河川・ライフラインに関連した暮らしの安全を守る強靱なまちづくりを進める。
事業実施により期待される効果	下流へ流出する恐れのある木を伐採・撤去することで、道路や下流域への災害の拡大が抑制され、安全性の向上が期待できる。 町内の約8割が森林である当町において、子どもたちへ木育授業・木工体験を行うことで、森林の魅力に触れることをきっかけに、森林に対して興味を持ってもらい、森林の機能・緑の大切さについての理解を深める。
情報発信への取組	【全体】 ・年度当初に実施する事業を町HPに掲載した。年度末に実施した事業の写真を町HPに掲載した。 ・事業の内容を町広報紙に掲載した。 ・事業実施中にのぼり旗を設置して、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることをPRした。 【危険木伐採】 地元地区へ作業前のお知らせと併せて、事業概要を記載したチラシと県民税のパンフレットを渡し、回覧板や掲示板で県民税を活用した取り組みであることを周知した。 【森林環境教育】 ・授業の内容を写真とともに町広報紙に掲載した。 ・授業実施後に受講者・先生・保護者に対してアンケートを実施した。 ・記者提供を行い、中日新聞（R7.10.2）に掲載してもらった。

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	② 意向調査	13,966,700	13,966,700
2	③ 私有林整備	22,870,100	22,870,100
3	① 意向調査の準備作業	277,200	277,200
4	⑦ その他（森林整備）	514,000	514,000
5	⑰ 基金積立（森林整備等）	10,114,000	10,114,000
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	47,742,000	47,742,000

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	危険木伐採事業				
事 業 費	4,620,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,610,000		10,000

1. 事業の目的

林業の低迷や担い手不足により、手入れが不十分な森林が増加している現状等も踏まえ、町道沿いの危険木の伐採を行い、災害時の倒木を未然に防ぐことで、地域に身近な森林の「災害に強い森林づくり」を進め、道路を利用する住民の安全・安心な暮らしを確保する。

2. 事業の実績

【事業内容】

町道田口杣口線沿いの危険木を伐採する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

度会町

【実施箇所及び箇所数】

町道田口杣口線 1箇所

【事業量】

伐採延長 L=250m、N=152本（スギ51本、ヒノキ82本、雑木19本）

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

道路沿い危険木の伐採作業は、道路や住宅・電線などの周辺環境に注意して行う特殊伐採を伴うものであり、高度な伐採技術を要する業者から選定する必要がある。委託先は町近隣業者で、かつ入札指名業者の登録において、委託業務の「施設運営・管理-森林」の項目に登録されている業者であるため選定した。

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

当該道路を利用する住民の安全確保に繋がる。現場にある電線・NTT線の寸断を未然に防ぎ、電力・通信回線を利用する住民の通信サービス確保に繋がる。また、災害時等における通行止めリスクを下げ、住民避難の安全性を向上できる。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	危険木伐採事業				
事 業 費	4,620,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,610,000		10,000

【効果を発揮させるための工夫・取組】

地域住民からの要望により実施しているが、緊急を要する箇所のうち、公共性が高く、波及効果の高い場所を優先しながら計画的に実施している。

【新たな対策・視点及び改善点】

危険木の伐採は暮らしの安全を守るという視点で有効な事業であること。

県民税での実施が浸透するよう情報発信を積極的に行う。

地域住民からの要望も多く、今後も計画的に事業を実施していく。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	田口地区 人口228人（R8.3月末時点）
期待する波及効果	森林の適切な整備、電線・NTT線などのライフラインの保護

【公的関与の必要性】

道路沿い危険木の伐採作業は、道路や住宅・電線などの周辺環境に注意して行う特殊伐採を伴うものであり、高度な伐採技術を要することから、森林所有者による整備が困難なため、町が実施することで災害拡大を抑制する。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施箇所については転用される見込みはなく、所有者や自治会で適切に管理を行ってもらう。

5. 情報発信

【内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・後	年度当初に実施する事業を町HPに掲載した。年度末に実施した事業の写真を町HPに掲載した。
回覧板・掲示板	実施前	地元地区へ作業前のお知らせと併せて、事業概要を記載したチラシと県民税のパンフレットを渡し、回覧板や掲示板で県民税を活用した取り組みであることを周知した。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報紙に掲載した。
のぼり設置	実施中	事業実施中にのぼり旗を設置して、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることをPRした。

6. 写真及びその他資料

別紙のとおり

7. その他特記事項（受益者の反応等）

地元住民の声「道路の見通しもよくなり、整備されることの大切さを実感しています。ありがとうございました。」

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

6(1). 写真



写真1

町道田口杣口線 伐採前①



写真2

町道田口杣口線 伐採後①



写真3

町道田口杣口線 伐採前②



写真4

町道田口杣口線 伐採後②



写真5

町道田口杣口線 伐採前③



写真6

町道田口杣口線 伐採後③

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

6(1). 写真



写真1

町道田口杣口線 伐採作業中①



写真2

町道田口杣口線 伐採作業中②



写真3

町道田口杣口線 伐採作業中③

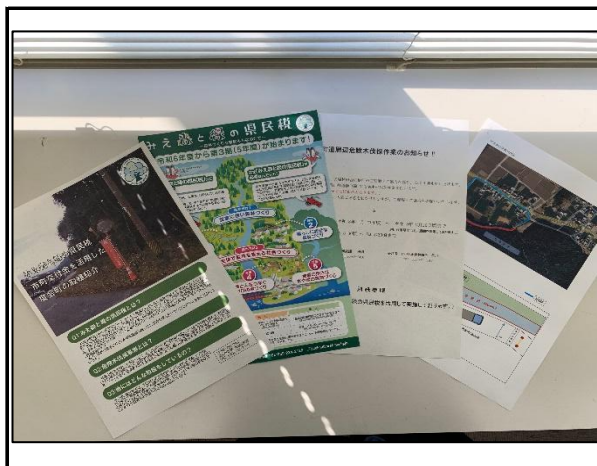


写真4

地元回覧



写真5

写真5



写真6

写真6

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育推進事業				
事 業 費	1,206,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,206,000		700

1. 事業の目的

町や山林の未来を担う子供たちの森林・林業への関心を高め、森林の機能・緑の大切さについての理解を深め、将来の森林の担い手を育成する。

2. 事業の実績

【事業内容】

- (1) 小学3年生を対象に木育授業・木工体験（キーホルダー作り）を実施。（度会小学校）
- (2) 中学2年生を対象に木育授業・木工体験（箸作り）を実施。（度会中学校）
- (3) 保育所の年長児を対象に木育授業・木工体験（箸作り）を実施。（棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所）
- (4) 【新規】小学5年生を対象に木材の話・クップ体験を実施。（度会小学校）

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

度会町

【実施箇所及び箇所数】

- (1) 度会小学校 1箇所
- (2) 度会中学校 1箇所
- (3) 保育所 3箇所（棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所）
- (4) 【新規】度会小学校 1箇所

【事業量】

- (1) 度会小学校 木育授業4回(2クラス2限ずつ)
- (2) 度会中学校 木育授業4回(2クラス2限ずつ)
- (3) 保育所 箸づくり4回(4クラス1限ずつ)
木育授業6回(3クラス2限ずつ)
- (4) 【新規】
度会小学校 木材の話・クップ体験2回（2クラス2限ずつ）
クップ購入3セット

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育推進事業				
事 業 費	1,206,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,206,000		700

3. 事業の実施方法

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者、補助率、負担率等）】

実施方法	主な委託先及び補助対象者等	補助率・負担率等	補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		物品購入も含む

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知見から適切な教育を実施できるためいせしま森林組合を選定。

4. 事業の効果・工夫

【事業実施により期待される効果】

町内の83.6%が森林である当町において、子どもたちへ木育授業・木工体験等を行うことは、森林の魅力に触れ、興味を持ってもらうきっかけとなり、森林の機能・緑の大切さについての理解を深めることができた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

町内の83.6%が森林である当町において、子どもたちへ木育授業・木工体験等を行うことは、森林の魅力に触れ、興味を持ってもらうきっかけとなり、森林の機能・緑の大切さについての理解を深めることができた。

【新たな対策・視点及び改善点】

令和5年度から町内保育所から中学校までを事業の対象としたことで、幼児期から青年前期まで断続的に森や緑について理解を深めるきっかけとなっている。今年度は、小学5年生を対象にクッブ体験を実施し、木材を活用したスポーツを通して木材の良さを五感で感じながら親しんでもらった。

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	(1) 度会小学校 受講者 64名 (R7小学3年生) (2) 度会中学校 受講者 70名 (R7中学2年生) (3) 棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所 受講者 年長児 47人 (4) 度会小学校 受講者 59名 (R7小学5年生) 学校開放の日に見学に来ていた保護者約20名
期待する波及効果	児童、生徒が授業内容を家族に伝えることで、家族にも森林の大切さを知ってもらえる。

【公的関与の必要性】

町が実施することで、住民・関係団体・事業者との架け橋になれる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備ではなく、該当しない。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育推進事業				
事 業 費	1,206,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,206,000		700

5. 情報発信		
【内容】		
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・後	年度当初に、実施する事業を町HPに掲載した。年度末に、実施した授業の写真を町HPに掲載した。
広報誌掲載	実施後	授業の内容を写真とともに町広報紙に掲載した。
アンケート実施	実施後	授業実施後に受講者・先生・保護者に対してアンケートを実施した。
のぼり設置	実施中	事業実施中にのぼり旗を設置して、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることをPRした。
その他	実施後	記者提供を行い、中日新聞（R7.10.2）に掲載してもらった。
その他	実施後	町公式Instagramに事業概要と写真を掲載した。

6. 写真及びその他資料	
別紙のとおり	

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育推進事業				
事 業 費	1,206,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,206,000		700

7. その他特記事項（受益者の反応等）

○クップ体験について

（先生の感想）

素敵な体験をありがとうございました。子ども達が喜ぶ授業で良かったと思います。白熱した様子が見受けられました。自分の家にある木でクップを作れないかな？ペットボトルで出来ないかな？どこに売っているのかな？など、子ども達は授業の後も話していました。

ありがとうございました。

（保護者の感想）

今後もこのような思い出に残る学習の場があると子供たちの成長にもつながると思います。ありがとうございました。

（児童の感想 一部抜粋）

・木はいろんなものに利用することができることをおぼえた。

また木を使ったいろんなあそびや工作がしたいです。

・森の木からクップという面白い遊びができることにびっくりした。（クップは）木からできているから、木の良いにおいがしました。

・クップというスポーツをきいて、「クップってどんなげーむなんだろう」と思いました。実際にやって、すごく楽しかったです。ぼくのおもいでにのこるスポーツでした。家とかにどうぐがあったら、またやってみたいです。

・木のはたらきや木の売ったり買ったりする場所などのことがわかりました。木せいのあそび道具がつみ木以外にもあったことにおどろきました。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育推進事業				
事 業 費	1,206,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,206,000		700

(感想 続き)

- ・木がこんなにすてきなスポーツになるということを知りました。今まで、木に興味がそこまで無かったけど、クップをして、木に興味を持ちました。またクップをしたいです。
- ・森の木から棚や机などいろんな商品に使われてるのが、とてもすごいと思いました。
- ・森林学習で木を切ったあと。魚のようにせりをするのをしれた。
- ・木を使った他の遊びをもっとやってみたいです。
- ・すごく木は大切だなと思いました。また次に木のことを知れるのは3年後とかで、もっといろんなことを知りたいので、楽しみです。
- ・(クップは)木のいいにおいで何回もかぎたくなりました。
- ・わたしも大きい丸太からきれいな木になるまでの仕事をしてみたいと思いました。
- ・木を切ってその木からSDGsでこんなに楽しいスポーツができるなんてはじめて知りました。他にも私たちがなにげなく毎日使っている机やゆかにも使われていました。
- ・クップはいままでやってきたきょうぎの中で一番楽しかったです。また森林組合にいて、木をもっとくわしく知りたいです。
- ・いままでわたしは木は、はえているだけだと思っていました。だけど工夫すればいろんなものになるとわかってわくわくしました。なのでまた木材の授業がしたいです。
- ・初めに、木をばっさいするときに、全部取る(切る)のではなく間の木をとる(切る)ことや、その木を売ったりして、その木で家や家具などを作ることを知りました。
- ・これからも木に感謝しつづけようと思います。
- ・はるまつり(度会町で開催されるイベント)にクップがあったらやりたいと思いました。
- ・楽しかったので、家でも木をみつけて家族とやろうと思いました。

令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育推進事業				
事 業 費	1,206,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,206,000		700

○森林教育

(小学校 先生)

木のおいをかいたり、実際に触ったりする体験はとても貴重なものでした。

(小学校児童)

・森のはたらきをまなびました。木が大雨のさいがいのときにダムのやくめになることがわかりました。また森林学習をしたいとおもいました。チェーンソーを（操作）してみたいなとおもいました。

・山はとてもたくさんのやくわりをもっていることをしりました。ぼくもチェーンソーで木を切ってみたいです。

・もし森がなくなってしまうたら生き物が死んでしまったり、たいへんな環境になると思います。なので森は、たくさんの命を守ったりしているんだとわかりました。

・わたしは森について、考えたことがありませんでした。これからも（は）、森林について調べたいと思いました。

・森のはたらきが3つに分かれていることがわかりました。

・手入れした山は明るくて手入れしてない山は暗いことを知りました。

・（キーホルダーを）弟たちに見せたら欲しいと言われました。

・わたしはチェーンソーで木を切ってみたいです。

・学習で一番分かったのは山を手入れしないとダメみたいなことです。手入れされている山の近くは災害が来ても少しは安全のような話をしてくれた。山がきれいじゃないと海がきれいじゃないと話をしてくれて、勉強になりました。

・わたしは森林学習をしてこれから森を大切にしていきたいな度会町にしたいなと思いました。そして度会町は緑あふれる町だからきれいにして自然あふれる町にしたいなと思ったからこの学習のことを覚えて経験を活かしたいです。私たちの度会町をきれいにしてくれてありがとうございました。

・土砂災害は山のせいだと思ったけど、土砂災害は山のせいではなく、手入れしていないのが悪いんだなあとと思いました。これからも山、木、森林を大切に大事にしないと（、と）と思いました。

・山がきれいだと海もきれいになるんだなと知りました。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

6(1). 写真



写真1

木育授業 小学校 授業風景①



写真2

木育授業 小学校 授業風景②



写真3

木育授業 小学校 授業風景③



写真4

木育授業 小学校 木と触れ合う様子



写真5

木育授業 小学校 キーホルダー作り



写真6

木育授業 小学校 年輪を数えている様子

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

6(1). 写真



写真1

木育授業 中学校 授業風景①



写真2

木育授業 中学校 年輪を数えている様子



写真3

木育授業 中学校 木と触れ合う様子①



写真4

木育授業 中学校 木と触れ合う様子②



写真5

木育授業 中学校 木と触れ合う様子③



写真6

木育授業 中学校 箸づくり

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

6(1). 写真



写真1

木育授業 棚橋保育所 授業風景①



写真2

木育授業 棚橋保育所 授業風景②



写真3

木育授業 棚橋保育所 キーホルダー作り



写真4

木育授業 棚橋保育所 木と触れ合う様子



写真5

木育授業 中之郷保育所 授業風景



写真6

木育授業 中之郷保育所 木と触れ合う様子

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

6(1). 写真



写真1

木育授業 長原保育所 授業風景



写真2

木育授業 長原保育 木と触れ合う様子



写真3

木育授業 箸づくり 授業風景



写真4

木育授業 箸づくり①



写真5

木育授業 箸づくり②



写真6

木育授業 箸づくり③

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

6(1). 写真



写真1

クップ体験 小学校 集合写真①



写真2

クップ体験 小学校 集合写真②



写真3

クップ体験 小学校 木育授業（製材について）①



写真4

クップ体験 小学校 木育授業（製材について）②



写真5

クップ体験 小学校 木育授業（製材について）③



写真6

クップ体験 県民税ロゴ印字

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

6(1). 写真



写真1

クップ体験 小学校①



写真2

クップ体験 小学校②



写真3

クップ体験 小学校③



写真4

クップ体験 小学校④



写真5

クップ体験 小学校⑤



写真6

クップ体験 小学校⑥

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

6(3).その他



投稿

wataraicho_official



wataraicho_official

...



[インサイトを見る](#)

[投稿を宣伝](#)



121



1



wataraicho_official ✂️ 自分だけの“マイ箸”づくりスタート！👧👦

9月2日、「#みえ森と緑の県民税」を活用し、町内保育所の年長児たちが、自分の手のサイズに合った箸作りを体験しました🔪

園児たちは、のこぎりガイドを使って木をカットし、やすりで丁寧に磨きました！
「高さが違う〜！」と苦戦しながらも
「ツルツルになった」「いい感じ♪」と、友達や先生に見せる姿が

とても微笑ましかったです😊
このあと数日かけてオイルを塗り、ついに完成へ！

完成後は、マイ箸を使って「おはし検定」にチャレンジ🏆
達人を目指してがんばってください👧

(投稿者 みらい安心課)

[#いいね度会町](#)[#度会町](#)[#三重県](#)[#伊勢志摩](#)[#みえ森と緑の県民税](#)[#お箸作り](#)

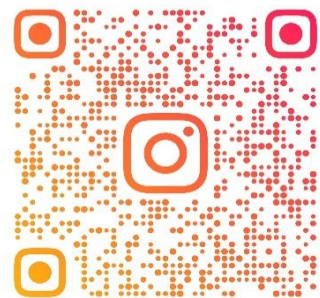
2025年9月3日

SNS投稿(箸づくり)

〇3月31日 時点の状況

いいね数 121 件

閲覧数 14998 回



2025年9月3日にシェアされた投稿
作成者: WATARAICHO_OFFICIAL

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

6(3).その他


[インサイトを見る](#)
[投稿を宣伝](#)

♡ 106 [コメント](#) [リツイート](#) [ブックマーク](#)

wataraicho_official 🌲【令和7年度 みえ森と緑の県民税活用事業】🌲

6月に町内の保育所で行った「みえ森と緑の県民税事業・森林環境教育推進事業」についてご紹介します！

👩🏫🌱 森林環境教育推進事業
町内の保育所に通う年長児を対象に、木育授業や木工体験（キーホルダーづくり）を実施しました。

🌱 実施日程

- ・令和7年6月9日 棚橋保育所
- ・令和7年6月11日 中之郷保育所
- ・令和7年6月13日 長原保育所

この取り組みは、子どもたちが日常的に木の温もりを感じ、町の自然や林業に関心を持ってもらうことを目的に「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しています。

❓ Q: みえ森と緑の県民税とは？

A: 近年、林業の低迷や担い手不足により、整備されていない森林が増えています。それにより、森林が持つ防災機能や水源の確保が低下しています。異常気象の影響で災害のリスクも高まる中、平成26年度から導入されたこの税金は、森林整備や将来にわたる社会づくりに使われています。また、国から譲与される「森林環境譲与税」とは、使途を分けて有効に活用しています。

🌱 これからも町の自然環境を守り育てるために、みんなで協力していきましょう！

<投稿:保健こども課>

#度会町 #いいね度会町 #みえ森と緑の県民税 #住民税 #町民税 #三重県 #伊勢志摩 #林業 #山 #自然 #山林 #森林環境教育

2025年7月14日

SNS投稿(保育所木育授業)

〇3月31日 時点の状況

いいね数 106 件

閲覧数 15,075 回



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

6(3).その他

<
投稿
wataraicho_official

wataraicho_official

5/6

インサイトを見る
投稿を宣伝

135
1

wataraicho_official 1月22日、23日に度会中学校の2年生が、いせしま森林組合の職員による森林教育の出前授業を受け、森林の働きや林業の仕事について学びました🌿✨

この取り組みは、「みえ森と緑の県民税」を活用し、町の自然や林業に関心を持つ人づくりを目的に行われたものです。

中学生たちは、座学を受けたあと、オリジナルのお箸作りに挑戦🔪
木材をカッターナイフで慎重に削ったあと、紙やすりで形を整え自分だけのお箸を作り上げました😊

#いいね度会町 #度会中学校 #三重県 #度会町 #みえ森と緑の県民税

2月2日

SNS投稿(小・中学校木育授業)

〇3月31日 時点の状況

いいね数 106 件

閲覧数 15,075 回



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

6(3).その他

<
投稿
wataraicho_official

wataraicho_official

1.6万・インサイトを見る

投稿を宣伝

145

wataraicho_official 9月26日、度会小学校5年生がスウェーデン発祥のスポーツ「クップ」を体験しました👦👧
クップとは、木の棒を投げて相手コートの的を倒し合うゲームです！
この日は、いせしま森林組合の職員を講師に招き、県産ヒノキで作られたクップを使って体験活動を行いました！クップは、「みえ森と緑の県民税」を活用して作られたものです👏
子どもたちはチームで協力し、楽しみながら森林や木の大切さについても学ぶことができました🌳💚

#いいね度会町#三重県#伊勢志摩#度会町#クップ#森林教育#ヒノキ#度会小学校#みえ森と緑の県民税#いせしま森林組合#木育#環境学習

2025年10月10日

SNS投稿(クップ体験)

〇3月31日 時点の状況

いいね数 145 件

閲覧数 16,579 回



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

6(3).その他

町HPで県民税事業に関する事業概要を紹介

https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=ser&frmId=1696


みらい わたらい わかち愛
～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～

[本文へ](#)
[お問い合わせ](#)
[サイトマップ](#)

文字サイズ
小
中
大
[サイト内検索](#)

[ホーム](#)
[町の概要](#)
[町政情報](#)
[暮らしのガイド](#)
[防災情報](#)
[各課の窓口](#)

ホーム ▶ [検索結果](#) ▶

みえ森と緑の県民税を活用した取り組み

[2026年4月1日] ID:1696 ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [シェア](#) [ツイート](#)

みえ森と緑の県民税市町交付金事業

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日にみえ森と緑の県民税が導入されました。

みえ森と緑の県民税市町交付金事業では、この税を活用し、県内各市町が「2つの基本方針」と「5つの対策」に沿って、さまざまな事業を実施しています。

【基本方針1】 災害に強い森林づくり

- ・対策1 「土砂や流木を出さない森林づくり」
- ・対策2 「暮らしに身近な森林づくり」

【基本方針2】 県民全体で森林を支える社会づくり

- ・対策3 「森を育む人づくり」
- ・対策4 「森と人をつなぐ学びの場づくり」
- ・対策5 「地域の身近な水や緑の環境づくり」

詳しくは三重県ホームページを参照ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/mori/74681015390.htm>

○令和7年度実施事業

- ・危険木伐採事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・流域防災機能強化対策事業

○令和6年度実施事業

- ・流倒木撤去事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・木材とふれあう場づくり推進事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・流域防災機能強化対策事業

○令和5年度実施事業

- ・危険木伐採事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・県産材を活用した木製品整備事業
- ・流域防災機能強化対策事業



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

6(3).その他

町HPで県民税事業に関する事業概要を紹介

https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=ser&frmId=1696

事業紹介

森林環境教育推進事業

森林の機能・緑の大切さについての理解を深めるため、町内の年長児、小学生、中学生を対象に木育授業・木工体験を実施しました。また、令和7年度は新たな取り組みとして小学生を対象に、クップの体験を実施しました。クップとは、木の棒を投げて相手のコートの角材を倒し合うスウェーデン生まれのゲームです。



クップ体験の様子



クップ体験の様子



木育授業



木育授業



木育授業

危険木伐採事業

手入れが不足した森林が増加している現状をふまえ、生活道路沿いの倒木の可能性がある立木を事前に伐採することで、災害時の倒木を未然に防ぎ、森林との共生と道路を利用する住民の安全・安心な暮らしを確保するために実施。



町道田口袖口線（度会町田口地内）



町道田口袖口線（度会町田口地内）



農道原山線（度会町棚橋地内）



農道原山線（度会町棚橋地内）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

6(3).その他

・町広報誌11月号でクッブ体験を紹介

PickUp! わたらいニュース

10/23・28
長原保育所 中之郷保育所

こんなにとれたよ!
園児たちのサツマイモ収穫体験

町内2保育所の園児たちが、地域の皆さんにご協力いただき、サツマイモの収穫を体験しました。

畑に入った園児らは、突然現れた虫やネズミに驚きながらも次々とサツマイモを掘り当て「見て！こんなに長いのとれた」「もう袋に入らない！」と誇らしげに見せてくれました。収穫したサツマイモは、各家庭へ持ち帰りました。

畑を開放していただいた、長原堂農組合と長原老人会の皆さん・長谷川順子さん(市場)、今年も貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



長原保育所




中之郷保育所






9/26

木に触れ合う
森林環境教育でクッブを体験

9月26日、度会小学校5年生60人がスウェーデン発祥のスポーツ「クッブ」を体験しました。クッブとは、木の棒を投げて相手コートの角材を倒し合うゲームです。

この取り組みは、町の自然や林業に関心を持つ人づくりを目的に、『みえ森と緑の県民税』を活用した事業です。

この日は、いせしま森林組合の職員を講師に招き、伐採した木が製品になるまでの工程について学んだ後、県産ヒノキで作られた道具でチームごとに対戦しました。

子どもたちは「あの的を狙おう!」とチームで声を掛け合いながら力を合わせ、角材が倒れると会場には大きな歓声が響き渡りました。

広報わたらい 2025年11月号 4

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

6(3).その他

・町広報誌7月号で保育所木育授業を紹介



5/28

落語で笑って元気に ことぶき学園開講記念公演

5月28日、令和7年度ことぶき学園の開講記念公演が、町民体育館で開催されました。『ことぶき学園』は、高齢者の皆さんに楽しみと生きがいのある生活を求めている場として町教育委員会が開設しており、さまざまな内容の講座を楽しむことができます。

この日は、公益社団法人落語芸術協会所属の真打春風亭柳雀師匠を招き、「落語を楽しもう」と題した公演に町内から90人が参加。柳雀師匠の言葉巧みな話術に観客は引き込まれ、会場全体が笑いの渦に包まれました。参加者は「みんなで一緒に笑うと何倍も楽しい。色んな人にも会えて良い機会でした」と笑顔で話してくれました。



6/9・11・13

徳島保育所 中之島保育所 黒瀬保育所

木を身近に感じる 森林環境教育

町内3保育所で、年長児を対象に、いせしま森林組合の職員を講師に招き、森林環境教育の出前授業が行われました。

この取り組みは、『みえ森と緑の県民税』を活用した事業で、町の自然や林業に関心を持つ人づくりを目的に実施しています。

講義では、園児たちが丸太の年輪を数えたり、木の葉の香りを確かめたりして、実際の木に触れました。その後、スギ・ヒノキ・サクラの木片を使ったオリジナルのキーホルダーやスプーン作りを体験しました。



令和6年度 有害駆除実績

イノシシ	246頭	アナグマ	7匹
シカ	404頭	アライグマ	2匹
サル	48匹	タヌキ	9匹
カラス	11羽	ハクビシン	13匹
カワウ	12羽		

5/25

カラス・カワウの一斉駆除 町猟友会が実施

5月25日、町猟友会（小岸仁実会長）の会員22人の皆さんが、農作物被害・漁業被害の軽減を目的に、町や県の有害鳥獣捕獲許可のもと、カラスやカワウの一斉駆除を実施しました。

その結果、この日はカラス・カワウ合わせて13羽を駆除することができました。

この他、町猟友会の皆さんには、期間を定めてイノシシやシカ、サルなどの駆除にもご協力をいただいています。

5/24

平和を祈念し、故人をしのぶ 戦没者追悼式を実施

5月24日、町中央公民館において戦没者追悼式が実施されました。

参列者から追悼の言葉がささげられ、町出身の戦没者433人の冥福を祈るとともに、世界情勢の安定と恒久平和を祈念しました。また、遺族や町民からは故人をしのび、祭壇への献花を行っていただきました。



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

6(3).その他

- ・町広報誌3月号で小・中学校 木育授業を紹介
- ・町広報誌3月号で令和7年度に実施した
みえ森と緑の県民税事業と税について紹介

度会スクール インフォメーション

Vol. 155

町教育委員会事務局 ☎62-2422
度会小学校 ☎62-0004
度会中学校 ☎62-0194

度会中学校 建設業の魅力を知る！
「一級河川宮川河川局部改良工事」現場見学会

2月5日、度会中学校1年生が、度会中学校近くの宮川で行われている「一級河川宮川河川局部改良工事」の現場見学会に参加しました。

見学会の会場には、さまざまな展示や体験が用意されており、生徒たちは班に分かれて順番に見て回りました。このうち、ドローンの飛行見学では、タッチ操作だけで離陸し、正確に元の位置へ着陸する様子が驚きの声が上がりました。高所作業車「スーパーデッキ」の搭乗体験では、生徒自らがハーネスを装着し地上約12mの高さまで上昇。生徒からは「高い！怖い！」といった声が上がった一方で、日常では味わえない体験に笑顔を見せていました。

見学の最後に、生徒を代表して入山尚陽斗さんから「建設業のことはあまり知らなかったのですが、特に、最新の重機には自動運転機能がついていることに驚きました。この工事が無事に終わることを願っています」とあいさつがあり、感謝の気持ちを述べました。



ドローンを学ぶ様子



スーパーデッキに搭乗する生徒

度会小中学校 木とふれあい、森林について学ぶ ～森林環境教育～

1月22日、23日に度会中学校2年生が、2月19日、26日に度会小学校3年生がいせしま森林組合の職員による森林環境教育の出前授業を受け、森林の働きや林業の仕事について学びました。この取り組みは、「みえ森と緑の県民税」を活用し、町の自然や林業に関心を持つ人づくりを目的に、小学校では平成29年度から、中学校では令和5年度から実施しています。

授業では、小中学校ともに、前半に座学が行われ、森林を適切に管理していくことの重要性について学びました。後半、中学校では木材を使った箸作り挑戦。木材をカッターナイフで慎重に削った後、紙やすりで形を整え自分だけの箸を作り上げました。また、小学校ではサクラ・ヒノキ・スギから好みの木材を選び、紙やすりで表面を磨いた後、好きなイラストや文字を書き込んでオリジナルのキーホルダーを完成させました。

授業を終えた中学2年生の舟瀬光胡さんは、「森を整備することによってSDGsにつながるし、海の豊かさや、土砂災害の阻止などたくさんのことにつながっていくのがわかった。これからは今までよりも木を大切にしていこうと思った」と感想を述べ、森林の働きに関心を寄せていました。

令和7年度みえ森と緑の県民税 市町交付金事業一覧

- ・危険木伐採事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・流域防災機能強化対策事業

みえ森と緑の県民税について 林業の低迷や担い手不足により森林整備が進まず、災害を防ぐ森林の働きが低下しています。そこで、災害リスクを軽減する森林整備などを進めるため、平成26年度に「みえ森と緑の県民税」が導入されました。なお、国から譲与される「森林環境譲与税」とは使途を分けて有効活用しています。




対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

6(3).その他

クッブ体験 感想(一部)

総合学習
～木材を感じながらスポーツを楽しむ～

名前()

クッブを体験して思ったこと、感じたことなど

森の木から、棚や机などいろんな商品に使われているのがとてもすごいと思いました。森の木からクッブという面白い名前でも面白い遊びができたのがとても楽しかったです。さわったときはとてもツルツルでこんなにツルツルするんだなと思いました。ゲームをしているときにおくのピン？みたいなのを先にキングをたおしたらいけないのを知ることになったと思いました。このゲームをやったボウリングのように投げることがとても面白くてとても楽しかったです。

総合学習
～木材を感じながらスポーツを楽しむ～

名前()

クッブを体験して思ったこと、感じたことなど

森林学習で木を切ったあと、魚のようにセリをすることもしれた。クッブを体験して、木が木にあたる音がすごくよかったです。木のおいもよかったです。キングをあてたときはうれしかったです。木でスポーツの道具を作れるのがすごいと思いました。木からキングのしけや、クッブのほう、長方形などいろいろ作れて、とてもすごかったです。木でいろいろな物を作れるんだなと思いました。

総合学習
～木材を感じながらスポーツを楽しむ～

名前()

クッブを体験して思ったこと、感じたことなど

クッブは、とても楽しくておもしろかったです。木を切、てその木からSDGsでこんなに楽しいスポーツができるなんてはじめて知りました。他にも、私たちがなにを毎日使っている机や机にも使われていました。今、世の中地球温暖化でSDGsするのはいいことだと思います。クッブは、本当におもしろかったです。当てるおすのはむずかしいのですが、当たるとカンという音が、とても気持ちよかったです。木のおいにおいもしました。キングをたおせたときはとてもうれしかったです。またこういうことができる機会があればまたやりたいと思いました。

総合学習
～木材を感じながらスポーツを楽しむ～

名前()

クッブを体験して思ったこと、感じたことなど

いろいろなスポーツで、木材は使われていることを改めて知りました。クッブは今までで一番きょうぎの多いゲームで、とても楽しかったです。クッブをやっていると、時々木のにおいがしました。木のにおいは気持ちいいです。音がすごく気持ちよかったです。勝った時や負けたときもあんなに、勝った感じが達成感がありました。また森林学習会には、木を大切にしたいです。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

6(3).その他

木育授業 感想(一部)

感想用紙 

2月19日 森林学習

山から流れてきたわき水が「川」に
いきよう分（ミネラル）になり、海に
いき、海をゆたかにすることが
わかりました。森林は、森をゆた
かにし、海もゆたかにすること
がわかりました。森林は、生活
にしているものだと思います。
ヒノキなどの年りんをかそえる
と何？オということかわかり
ました。森のはたらきが「3つ
に分かれていること」がわかりました。



感想用紙 

2月19日 森林学習

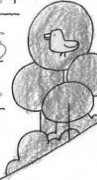
ていれしているやつとていれしていない森が
ぜんぜんちがうことを知りました。ていれ
した山は明るくてていれしていない山は暗い
ことを知りました。木が「育つにはひかり、
水をきゅうしやしないといけないうことをし
ました。日本の重た物のしるいは「90000
るいいることを知りました。タケノコ
のいるところはタケノコがたきと
いたるところでタケノコがたきと思
います。



感想用紙 

2月19日 森林学習

ヒノキの年りんを数えてみたところ40本ぐら
いでした。キーホルダーにネジをつけてく
れありがとうございます。キーホルダー
には糸をたくさんかけました。グループ
の人といっしょにできてたのしかったです。
またキーホルダーを作りたいです。
わたしはチェーンソーで木を切ってみました。
です。にしおかさんひろかわさんあ
りかとうございます。また来てほ
しいです。いせしま森木糸旦合
さんありがとうございます。



感想用紙 

2月26日 森林学習

わたしは、森林学習をしてこれから木
を大切にしてきれいな度会町にしたいな
と思いました。そして、度会町は糸あふれる町
だからきれいにして糸あふれる町にしたいな
と思、だからこの学習のことをおぼえてほしいな
と思いました。本当にありがとうございます。
そして、わたしたちの度会町をきれいに
してくれてありがとうございます。

